

## 臨床実習（Ⅰ・Ⅱ）

責任者・コーディネーター		歯科医療センター長： 口腔顎顔面再建学講座（口腔外科学分野）山田 浩之 教授 総ライター長： 歯科保存学講座（歯周療法学分野）佐々木 大輔 特任教授		
担当講座（分野）		歯学部臨床科目担当教員		
対象学年	5	区分・時間数 (半日を4時間に換算)	講義/演習	実習
期間	通期		前期	— 512.0時間
			後期	— 708.0時間

## 学修方針（講義概要等）

将来、歯科医師として適切な歯科医療を提供するために、岩手医科大学附属病院および内丸メディカルセンター歯科医療センターで診療参加型臨床実習を行う。本実習を通して、歯科臨床に必要な知識・技能・態度を身につける。

## 教育成果（アウトカム）

患者を全人的・全身的に捉えるMultidisciplinary Comprehensive Careを基本とした態度を養うとともに、歯科医師として必要な基本的臨床能力を習得するため、患者の同意を得て、指導医のもとで実際の歯科医療に携わる。指導医の行う歯科治療の介助や見学に加えて、地域医療への参加や介護体験を通して幅広い臨床経験を積む。

（関連するディプロマポリシー：1、2、3、4、5、6、9）

## 到達目標（SBOs）

- 1) 診療の基本  
信頼される安全・安心な歯科医療を提供するために、救急処置法を身に付けるとともに、患者への安全対策に配慮した歯科医療を実践する。
- 2) 基本的診察・診断技能  
患者から詳しく症状を聴取したうえで診察を行い、適切な検査を選択して診断できる技能を身に付ける。
- 3) 症候・病態からの臨床推論  
口腔・顎顔面領域の主な症候・病態から原因疾患を鑑別診断できる基本的能力を身に付ける。
- 4) 診療記録の整理と治療計画立案  
患者から得られた医療情報の取り扱いを理解し、個々の患者の抱える背景を踏まえた治療計画の立案法を身に付ける。
- 5) 基本的治療手技  
安全・安心な歯科医療を提供するために、基本的治療技能を身に付ける。
- 6) 多職種連携、チーム医療、地域医療  
医療チームの一員として介護体験、地域医療に参画する。

## 事前事後学修の具体的内容及び時間

## 【事前学修】

シラバスに記載されている臨床実習内容を確認し、自験症例もしくは各臨床科目の実習で行う項目に沿った知識を教科書等を用いて習得する。必要であれば口腔模型を用いて技能を習得する事前学修を行うこと。各臨床実習内容に対する事前学修の時間は平均30分を要する。

## 【事後学修】

臨床実習後に指導医から得たフィードバックをもとに、不十分だった項目に対して教科書等を用いて事後学修を行うこと。各実習項目に対する事後学修の時間は平均45分を要する。

（事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均45分を要する）

教科書・参考書・推薦図書…予め指定する図書はありません。

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年

### 成績評価方法・基準・配点割合等

#### 1. 実習科目とリクワイアメント

実習科目は17科目とする。リクワイアメントは、総合歯科学200点、その他の科目を各100点とし、17科目合計1800点とする。

[G-1～5]

#### 2. 修了要件

下記の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の要件を満たしていることを臨床実習修了の要件とする。

- (1) 全科目のリクワイアメントを100%以上達成していること。
  - ・前期リクワイアメント：原則として7月末の時点で全科目合計650点を達成すること。
  - ・中期リクワイアメント：原則として12月末の時点で全科目合計1500点を達成すること。  
(上記が達成できない場合は長期休業期間等に補習等を課す場合がある)
- (2) 臨床実習開始日から臨床実習終了日までの臨床実習の全日程において、4/5以上出席していること。
- (3) 臨床実習後臨床能力試験「一斉技能試験」および「臨床実地試験」に合格していること。
- (4) 介護体験実習および地域医療体験実習を修了していること。
- (5) 岩手医科大学附属病院総合安全教育プログラム研修を2回以上受講していること。

#### 3. 評価方法

##### 1) 基礎点

- (1) 修了要件の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)を満たしている場合、基礎点を65点とする。
- (2) 修了要件の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)のいずれか一つを満たしていない場合、基礎点を0点とする。

##### 2) 総合評価点

- (1) 各科目において、臨床実習の到達度評価を行い35点満点で評価する。  
※35点の評価方法は各科目の項に記載する。
- (2) 17科目の総合評価の点数の平均を臨床実習の総合評価点とする。

#### 4. 臨床実習の評価点

- (1) 基礎点に総合評価点を加えた点数を臨床実習の評価点とする。
- (2) 評価点が65点以上を臨床実習修了とする。

### 特記事項・その他 (試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等)

必要に応じてWebClassを使用して資料配布、レポートの提出等を行う(各科目による)。学生の出欠確認およびリクワイアメント進行状況の管理は、e-ログブックシステムを利用する。学生が作成したレポートおよび臨床実習後のフィードバック等は、シラバスに記載されている各指導教員のオフィスアワーを利用して行う。

当該科目に関連する実務教員の有無…有(大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う)

### 授業に使用する機械・器具と使用目的…別に示す。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的

# 臨床実習Ⅰ：総合歯科学

(予防歯科学・歯周病学・歯内治療学・保存修復学・有床義歯補綴学・冠橋義歯補綴学・口腔インプラント学合同)

ライター長：歯科補綴学講座（冠橋義歯・口腔インプラント学分野） 福德 暁宏 講師

## 1. 教育成果（アウトカム）

歯科臨床の全般にわたる口腔診断学を総論的に学び、患者情報の聴取、口腔内外の所見を採取し、正確な診断をして治療計画を立てる知識、技能および態度を修得する。

## 2. 到達目標（SBOs）

- ① 適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者対応できる。
- ② 医療面接の意義と目的を理解し、基本的な面接ができる。
- ③ 適切な病歴聴取（主訴、現病歴、既往歴、現症）ができる。
- ④ 歯式の略語、記号を記入することができる。
- ⑤ 必要な検査を選択し、実施できる。
- ⑥ 口腔内写真の撮影を適切に行える。
- ⑦ 診療録に得られた情報を適切に記録できる。
- ⑧ 得られた情報から適切に診断することができる。
- ⑨ 診断結果と治療方針について説明できる。
- ⑩ CCC 外来の機材、材料、運営方法について説明できる。
- ⑪ グループ学習や個人学習の計画を立案できる。

## コア・カリキュラム番号

D-2-1、D-4-1、D-4-2、D-4-3、E-4-1、E-4-2、E-4-3

## 3. 実習方法

CCC-A 配属の学生を4つのグループ（CCC-A①、CCC-A②、CCC-A③、CCC-A④）に分けて実習を行う。

実習日程	実習場所	実習内容
3/31～4/9	CCC-A①： 臨床第一実習室 CCC-A②③④： CCC-A	CCC-A①：咬合検査、咀嚼機能検査、顎関節検査 支台歯形成 CCC-A②：問診、カルテ記載、スケーリング、PMTC 概形印象採得 CCC-A③：インシデント報告説明、周術期講義 ラバーダム防湿、浸潤麻酔 CCC-A④：器具・機器の説明、滅菌業務 歯周組織検査、スケーリング、PMTC

#### 4. 実習担当者

臨床実習（Ⅰ）・・・3月31日～4月9日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前 午後	福德 暁宏				
	深澤 翔太				
	米澤 悠				
	原 総一郎				
	佐藤 宏明				
	星 美貴				
	佐々木 溪人				
	八戸 勇樹				
	島田 崇史				
	伊藤 凌				
	村井 治				
	鈴木 啓太				
	大石 泰子				
	佐藤 俊郎				
	杉山 由紀子				
	佐藤 華子				
浅野 明子	浅野 明子	浅野 明子	浅野 明子	浅野 明子	
北條 友宣	北條 友宣	北條 友宣	北條 友宣	北條 友宣	

詳細な担当表は別紙参照

# 臨床実習Ⅰ：口腔外科学

ライター長：口腔顎顔面再建学講座（口腔外科学分野） 鈴木 舟 助教、星 勲 助教

## 1. 教育成果（アウトカム）

- ・口腔・顎・顔面領域の疾患を有する患者の情報聴取するための知識、技能、および態度を習得することで、診断をして治療計画を立てることができるようになる。
  - ・口唇・口腔・顎顔面領域の基本的な診察技能についての知識、技能および態度を習得する。
  - ・口腔外科の基本的な手技についての知識、技能および態度を習得する。
- 臨床実習Ⅰでは、臨床実習Ⅱにおいて必要な基礎的知識、技能を習得する。

## 2. 到達目標（SBOs）

### 1) 医療面接

- ① 患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。

### 2) 診察の基本

#### 2-1) バイタルサイン

- ① 血圧、脈拍、体温を測定できる。

#### 2-2) 頭頸部の診察

- ① 顔面の色調の変化、対称性を診察できる。
- ② 下顎の開閉口路の診察ができる。
- ③ 顎関節部の診察ができる。
- ④ 頭頸部の筋肉の診察ができる。
- ⑤ 顎下リンパ節の診察ができる。

#### 2-3) 口唇・口腔内状態の診察

- ① 口唇・口腔の診察ができる。

### 3) 診療録の記載と診断結果・治療方針の説明

- ① 医療面接ならびに診察で得られた情報を診療録に記載できる。
- ② 患者に診断結果と治療方針を説明できる。

### 4) 口腔外科の基本的な手技

- ① 清潔操作を実施できる。
- ② 抜歯（小手術を含む）の器材の準備ができる。
- ③ 手術のための手洗いと滅菌グローブの装着ができる。
- ④ 普通抜歯を実施できる。

## コア・カリキュラム番号

CS-09、CM-01, 02, 03、D-1-2-1、D-2-1-1-2, 3、D-2-2、D-2-3、D-4-1-1, 2、D-4-3-1, 2, 3、D-5-4、E-1-1-2, 4、E-1-2-1、E-1-3-1、E-2-1-1-1, 2, 4, 5, 6, 7、E-2-2-2、E-2-3-2, 4、E-2-5-1、E-3-1-3、E-4-2、E-4-3-1, 2, 4、E-5-3-5

### 3. 実習方法

実習日程	実習場所	実習内容
午前	内丸	オリエンテーション 医療面接と診察 診療録の作成 普通抜歯の器材の準備 抜歯後の注意事項の説明 抜歯後の処方箋の作成、薬剤の説明 抜歯後の経過観察と術後処置 滅菌操作の習得、外来小手術の器材の準備
午後	矢巾	オリエンテーション 病棟と手術室の場所を確認 病棟処置の準備・見学 滅菌手袋の着脱 ガウンの着脱 滅菌操作の習得

### 4. 実習担当者

臨床実習（I）・・・3月31日～4月9日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	星 勲	鈴木 舟	星 勲	鈴木 舟	鈴木 舟
午後	星 勲	鈴木 舟	星 勲	星 勲	鈴木 舟

# 臨床実習 I : 歯科麻酔学

ライター長：口腔顎顔面再建学講座（歯科麻酔学分野） 筑田 真未 講師

## 1. 教育成果（アウトカム）

歯科麻酔学に関する基本的な知識、技術、態度を習得することで、臨床実習 II において効果的に歯科麻酔学臨床実習を行う。

## 2. 到達目標（SB0s）

- ① バイタルサインについて説明できる。
- ② バイタルサインの測定・評価ができる。
- ③ 生体情報モニタの操作ができる。
- ④ 点滴回路を組むことができる。

## コア・カリキュラム番号

D-1-1, D-1-2, D-2-3, E-1-2, E-1-3, E-2-3

## 3. 実習方法

実習日程	実習場所	実習内容
午前	歯科麻酔科外来	バイタルサイン・モニタ講義および実習、点滴回路実習

## 4. 実習担当者

臨床実習（I）・・・3月31日～4月9日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	佐藤 健一 筑田 真未	佐藤 健一 坂野上 和奏	筑田 真未 佐藤 州	佐藤 健一 筑田 真未	佐藤 健一 筑田 真未
午後	佐藤 健一 筑田 真未	佐藤 健一 坂野上 和奏	筑田 真未 佐藤 州	佐藤 健一 筑田 真未	佐藤 健一 筑田 真未

# 臨床実習 I : 歯科放射線学

ライター長：口腔顎顔面再建学講座（歯科放射線学分野） 高橋 徳明 講師

## 1. 教育成果（アウトカム）

画像診断の基本である X 線検査と画像解剖を理解することで、歯科臨床に必要な読影能力の基礎を修得する事が可能となる。

## 2. 到達目標（SB0s）

- ① 放射線検査の種類と特徴を説明できる（パノラマ X 線検査、頭部側方向 X 線検査、後頭前頭方向 X 線検査、Waters' 法、顎関節 X 線検査）。
- ② 放射線検査の撮影法と、正常画像における解剖学的な構造を説明できる。
- ③ 放射線検査の適応症、非適応症を説明できる。

## コア・カリキュラム番号

E-2-5-2, 4

## 3. 実習方法

### 1) 実習内容

- ① パノラマエックス線写真、単純エックス線写真の種類、撮影法を理解し正常解剖像をトレースする。
- ② パノラマエックス線写真、単純エックス線写真の解剖学的構造を教員に説明する。

### 2) 日程

実習日程	実習場所	実習内容
午前 or 午後	歯科放射線学分野 第2臨床実習室 120号室	パノラマエックス線写真、単純エックス線写真のトレースと観察できる構造の解剖学的な名称を記載する。
随時		配当患者の引き継ぎを行う。

## 4. 実習担当者

臨床実習（I）・・・3月31日～4月9日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	高橋 徳明 金森 尚城				
午後	高橋 徳明 金森 尚城				

# 臨床実習Ⅰ：歯科矯正学

ライター長：口腔保健育成学講座（歯科矯正学分野） 菊池 恵美子 助教

## 1. 教育成果（アウトカム）

基本的な知識、態度を習得することで、臨床実習Ⅱにおいて、効果的に歯科矯正学の臨床実習を行うことができる。

## 2. 到達目標（SBOs）

### 1) 診察に必要な基本的知識

- ①矯正歯科治療の診断に必要な医療面接を実施できる。
- ②口腔内および口腔外の診察ができる。

### 2) 臨床実習Ⅱに必要な基本的な知識・技能・態度

- ①器具・器材の準備ができる。
- ②器具の受け渡しが安全にできる。
- ③矯正装置について理解し、説明できる。
- ④頭部エックス線規格写真の計測点について理解し、説明できる。
- ⑤頭部エックス線規格写真の計測平面について理解し、説明できる。
- ⑥頭部エックス線規格写真の計測項目について理解し、説明できる。
- ⑦資料分析を行い、その結果を正しく解説できる。
- ⑧資料から特異的な問題を抽出して指摘できる。
- ⑨Tweedの分析について理解し、説明できる。

## コア・カリキュラム番号

D-2-1, E-2-1-1, E-2-2-4, E-5-4-1, E-5-1

## 3. 実習方法

実習日程	実習場所	実習内容
午前	3階矯正歯科外来 第4セミナー室	オリエンテーション、臨床実習Ⅱに必要な知識の習得・演習
午後		外来見学・演習

### ※集合時間：8:30

集合場所：矯正歯科診療室横の出入り口の前

#### 4. 実習担当者

臨床実習（Ⅰ）・・・3月31日～4月9日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	深澤 慶子 吉田 弘法	浅沼 莞奈 飯塚 康之	菊池 恵美子 浅沼 莞奈	桑島 幸紀	上田 茜
午後	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法

# 臨床実習Ⅰ：小児歯科学

ライター長：口腔保健育成学講座（小児歯科学・障害者歯科学分野）齊藤 桂子 助教

## 1. 教育成果（アウトカム）

小児歯科診療に必要な診査、診断、治療計画の立案、歯科的対応についての基本的な知識、技術、態度を修得する事で、臨床実習Ⅱにおいて効果的に小児歯科学臨床実習を行うことが可能となる。

## 2. 到達目標（SBOs）

- 1) 診査・診断に必要な基本的な知識
  - ① 小児の診査方法を説明できる。
  - ② 採得すべき資料を列挙できる。
  - ③ 診断と治療法を説明できる。
  - ④ 1 口腔 1 単位の小児歯科診療の流れが分かる（治療計画の立案）。
- 2) 外来実習に必要な基本的な知識、技能、態度
  - ① 器具・材料の準備ができる。
  - ② 器具の受け渡しが安全にできる。
  - ③ 小児への歯科的対応法を説明し、実行できる。
  - ④ 小児歯科三角を説明できる。
  - ⑤ ブラッシング指導の概要を説明できる。
  - ⑥ フッ化物塗布法の概要を説明できる。
  - ⑦ 予防填塞法の概要を説明できる。
  - ⑧ 学生用診療録（SOAP の記載）を作成できる。

## コア・カリキュラム番号

C-2-1, 2, 3, 4, 5, 6、D-2-1, 2、D-5-6、E-1-1、E-2-1-2、E-5-5

## 3. 実習方法

実習日程	実習場所	実習内容
1 日 (15 時 30 分まで)	小児歯科外来 歯学部 4F 第二講義室	臨床実習Ⅱについてのオリエンテーション 小児歯科における治療計画立案、歯磨き指導用リーフレット作成、外来見学、臨床実習に最低限の知識の確認

※集合時間：8 時 30 分

持ち物：筆記用具、小児歯科学の教科書、小児歯科学の基礎実習書

リーフレット（小さいパンフレット）の作成を行うので、PC で作成したい人は PC を持参すること（USB 等のメモリーを持参すること）。手書きで作成したい人は、必要な筆記用具等を持参すること。

#### 4. 実習担当者

臨床実習（Ⅰ）・・・3月31日～4月9日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	齊藤 桂子				
午後	齊藤 桂子				

# 臨床実習Ⅰ：障害者歯科学

ライター長：口腔保健育成学講座（小児歯科学・障害者歯科学分野） 菊池 和子 講師

## 1. 教育成果（アウトカム）

障害や障害者歯科についての必要な基礎的知識について理解する。  
実習の手順を理解し、効果的な臨床実習を実現する。

## 2. 到達目標（SBOs）

- ① 主な障害（発達障害、身体障害）の医科学のおよび歯科学的特徴を説明できる。
- ② 治療中の行動調整法について説明できる。

## コア・カリキュラム番号

D-5-8-1～5

## 3. 実習方法

実習日程	実習場所	実習内容
小児歯科学の実習後 15:30～	障がい者歯科外来	・臨床実習概要説明 ・障害者の医科学のおよび歯科的特徴、行動調整法の講義

## 4. 実習担当者

臨床実習（Ⅰ）・・・3月31日～4月9日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午後	熊谷 美保 菊池 和子	熊谷 美保 菊池 和子	熊谷 美保 菊池 和子	熊谷 美保 菊池 和子	菊池 和子

## 5. 実習にあたっての注意事項

- 1) 入室の際は、許可を得てください。
- 2) 外来には、うしろのドアから入室してください。

# 臨床実習Ⅱ：総合歯科学

ライター長：歯科補綴学講座（冠橋義歯・口腔インプラント学分野） 福德 暁宏 講師

## 1. 教育成果（アウトカム）

基礎歯科医学、臨床歯科医学で学んだ知識を整理、統合し、臨床実習を通して歯科医療の実践に必要な知識・技能・態度および思考力を身につける。

## 2. 到達目標（SBOs）

- ① 外来新患者の医療面接を行うことができる。
- ② 顔面および口腔粘膜、歯の診査を行い診断することができる。
- ③ 診療記録の作成ができる。
- ④ 自験患者の診察および診療を行うことができる。
- ⑤ 患者診察の見学時に適切な器具準備、介助を行うことができる。
- ⑥ Case presentation を通してプレゼンテーション力を身につける。
- ⑦ Case presentation を通して症例の概要を説明できる。
- ⑧ 自ら課題を見つけ、自学自習能力や習慣を身につけることができる。

## コア・カリキュラム番号

D-2-1、D-4-1、D-4-2、D-4-3、E-4-1、E-4-2、E-4-3

## 3. 実習内容

### 1) 診療参加型臨床実習

- ① 医療面接実習
  - (1) 新患者を対象として医療面接を行い診療録の作成を行う。
  - (2) 新患者を対象として主訴部を中心に歯、歯周組織、口腔粘膜、顔面について診査し、必要なエックス線検査等を行い診断する。
  - (3) 診療録を記載する際には法律や学内規則を遵守する。
- ② 自験メンテナンス
  - (1) 自験患者の診査所見やエックス線検査所見をカルテに入力する。
  - (2) 自験患者の診査・検査所見から総合的に診断をする。
  - (3) 担当ライターの指導、監督下のもと治療計画に基づいた治療を的確、安全に行う。
  - (4) 介助者および器具準備者として担当ライターあるいは他学生自験患者の診察、治療の介助を行う。

**自験患者の治療および介助の際は、マスク、ルーペまたはゴーグル、キャップを必ず着用すること。**

### 2) Case presentation 実習

担当教員から提示された症例について検討し Presentation を行う。

- ① 発表日時

令和7年9月～12月に開催する。

(詳細な開催日程等は別紙にて通知する。)

4～8名程度の学生でグループを作り、それぞれ1演題の症例を発表する。

## ② 発表方法

- (1) 発表方法は口演発表とし、1日にすべての演題を発表する。
- (2) 口演発表は、1症例につき発表15分、質疑応答10分とする。
- (3) 口演発表は、すべてPC(単写)で行う。
- (4) 質疑は座長の指示に従い評価者および会場の参加者から受けつける。

## ③ 発表概要

- (1) 発表症例は岩手医科大学附属歯科医療センターに通院中もしくは治療を終了した患者の中から、担当教員が指示した症例とする。
- (2) 発表内容は診査、診断、理想的治療計画(期間、治療費等の制約がないもの)と現実的治療計画(実際に患者と決定し治療を行ったもの)の立案、行った治療内容、臨床的ポイント、考察等とする。
- (3) 発表内容は学生自身が自ら考え、調べた内容で行う。
- (4) 発表に際しては、症例の概要を記した配布資料を製作し、参加者に対して配布する(A3サイズ1枚)。

## 4. 実習にあたっての注意事項

- 診療内容計画書に確認印をもらう際には、各担当ライターの予定を事前に確認すること。
- 自験メンテナンス時には、他科配属からの中座を認めているが、必ず事前に配属先の教員から中座の許可を得たうえで、中座願いを作成すること。ただし、配属先の講義などにより、中座できない場合にはメンテナンスのアポイントをへんこうすること。

## 5. 評価

総合歯科学講座のミニマムリクワイアメント(65点)は200点に換算し評価する。

### 1) 診療参加型実習のミニマムリクワイアメントは120点(200点中)とする。

#### ① 医療面接実習のミニマムリクワイアメントは80点とする。

- (1) 医療面接実習のミニマムリクワイアメントは8症例(各10点)とし、1症例毎に担当ライターより技能、態度について指導および評価を受け電子ログブックの承認をもらう。
- (2) ミニマムリクワイアメントのケースが終了した際は、オーバーケースとして取り扱われる。
- (3) ケース承認権のないドクターが初診外来を担当した際は、担当した患者のレポートを製作し、担当チューターから承認をもらう。

#### ② 自験メンテナンスのミニマムリクワイアメントは50点とする。

- (1) 患者診察実習では、診療内容計画書(治療セッション用紙)の提出が必要となる。診察日2日前までに診療当日担当ライター確認が必要となる(確認印をもらう)。
- (2) 自験メンテナンスは、1回につき10点とする。

- (3) 診療当日の担当ライターより知識、技能、態度について評価を受ける。その後、処置内容を記載し、担当ライター確認後、電子ログブックの承認をもらう。

## 2) Case presentation (CP) のミニマムリクワイアメント 70 点とする。

- ミニマムリクワイアメント達成には、以下の 3 項目が必要条件となる。
  - (1) Case presentation を実施する。
  - (2) Case Presentation に出席する。
  - (3) Case presentation 前に各 Society で予演会を行う。
- ミニマムリクワイアメント評価の内訳は発表（50 点：Case Presentation を発表）、予演会（20 点/2 回以上）とする。
- Case presentation 発表の評価は歯学部教員のうち 3 名で行う。
- Case presentation 発表の教員評価点数は、評価者ひとりの評価点数 100 点×3＝300 点満点とし、また、評価は優秀発表 Society 選考時の選考材料となる。
- Case presentation の最終的な評価は、評価者の評価点数を合計したものとす
- 出席については Case presentation 開始前に入室し、終了時まで在室すること。
- CP 評価の詳細は、評価基準に従い行う（別紙）。

## 6. その他

ミニマムリクワイアメントケース 200 点を臨床実習評価点 65 点（/100 点）として換算する。

評価点数の合計時に小数点以下の点数が生じた場合には切り上げとする。

## 7. 評価方法

SBOs	目的	対象	評価者	時期	方法
①～③、⑧	形成的評価	知識、技能、態度	教員	実習期間中	観察記録
④、⑤、⑧	形成的評価	知識、技能、態度	教員	実習期間中	レポート 口頭試問
⑧	形成的評価	知識	教員	実習期間中	観察記録
⑥、⑦	総括的評価	知識	教員	実習後期	実地試験

## 8. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について 35 点満点で評価する。

- 1) オーバーケースの加点はミニマムと同じとする。オーバーケースは加算状況を全体的に評価するが、基本的には最高加算者を 20 点/35 点として比例加算を行うこととする。比例計算で生じた小数点以下は切り上げとする。
- 2) 残り 15 点分の評価に関しては各実習項目における 5 段階評価の状況や総合歯科学の臨床実習の全体をとおした態度について考慮した上加算する。

## 9. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	鈴木 舟 岸光 男		*福德 暁宏 *野尻 俊樹 *佐々木 溪斗 *星 美貴 *八戸 勇樹 原 総一郎	*浅野 明子 *北條 友宣 *東 兼司 金森 尚城	菊池 恵美子 鈴木 啓太	

\*はいずれか1名。

# 臨床実習Ⅱ：予防歯科学

ライター長：口腔医学講座（予防歯科学分野） 大石 泰子 助教

## 1. 教育成果（アウトカム）

保健指導、予防処置並びに周術期の口腔管理に必要な知識、態度と技能を習得することで、患者のニーズにあった歯科保健医療を提供することができる。

## 2. 到達目標（SBOs）

- ① 硬組織検査ができる。
- ② PCR を測定できる。
- ③ セルフ（ホーム）ケア指導ができる。
- ④ 口腔ケアができる。
- ⑤ 機械的歯面清掃ができる。
- ⑥ 周術期における口腔管理の必要性を説明できる。
- ⑦ 社会保障制度について説明できる。
- ⑧ 歯科診療時に必要な感染対策について説明できる。

## コア・カリキュラム番号

C-4-2-5、C-4-2-6、C-4-3-2、C-6-1-3、D-2-4-3、D-5-1-2、D-5-1-3、D-5-1-4  
E-1-1-1、E-1-1-5、E-5-2-1、E-5-2-2、E-5-2-3、E-6-1-1

## 3. 実習内容

予防歯科学分野のケース表に基づき、ミニマムリクワイメントを達成するよう、学生自身が実習を行う。

## 4. 実習にあたっての注意事項

- (ア) 実習はすべてライターの指導のもと行うこと。
- (イ) 事前に臨床実習書をよく読み、基礎的知識を身につけて臨むこと。
- (ウ) 介助に際しては患者、術者に気を配り、診療が円滑に進むように行うこと。
- (エ) 診療にあたっては、患者の年齢を考慮して対応し、コミュニケーションをはかり、患者との信頼関係が得られるように努力すること。
- (オ) 無断で欠席、遅刻はしないこと。
- (カ) レポート提出・口頭試問等は、事前に各ライターから日時の指定を受けること。
- (キ) 配属中に提示された課題について自己学習を行い、課題を提出してもらう。  
課題提出後に、課題内容に関連した試験および解説講義を実施する。  
予防歯科の教科書・講義資料、ノート等を準備すること。

## 5. 評価方法

SB0s	目的	対象	評価者	時期	方法
①～⑥、⑧	形成的評価	技能・態度	教員	実習中	観察記録
⑥	形成的評価	知識	教員	周術期配属中	レポート 口頭試問
⑦⑧	総括的評価	知識	教員	前期および 後期の配属中	客観試験

## 6. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について 35 点満点で評価する。

- 1) 知識（診療内容の理解）
- 2) 技術（コミュニケーションスキル、電子カルテ等からの情報収集）
- 3) 態度（積極性、身だしなみ、患者への配慮、医療関係者としての礼節ある行動）

## 7. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
内丸*	岸 光男 大石 泰子 杉山 由紀子 衣斐 美歩	佐藤 俊郎 佐藤 華子 衣斐 美歩 大石 泰子	杉山 由紀子 佐藤 俊郎 岸 光男 衣斐 美歩	大石 泰子 佐藤 俊郎 岸 光男 衣斐 美歩	佐藤 華子 大石 泰子 岸 光男 衣斐 美歩	岸 光男 佐藤 俊郎 衣斐 美歩 大石 泰子 佐藤 華子 杉山 由紀子
矢巾*	佐藤 俊郎 佐藤 華子	杉山 由紀子	大石 泰子	杉山 由紀子 佐藤 華子	佐藤 俊郎	

※内丸（歯科医療センター2階）にて配属実習を実施する。

※矢巾（附属病院4階）にて総合歯科と合同で配属実習を実施する。

# 臨床実習Ⅱ：保存修復学・歯内治療学

ライター長：歯科保存学講座（う蝕治療学分野） 北條 友宣 助教

## 1. 教育成果（アウトカム）

座学、シミュレーターで取得した修復治療するための知識、技術、態度を応用して、自験症例に対して正確な診査、診断のもと治療計画を立案できるようになる。また、立案した治療計画に従って修復・歯内治療を実施できるようになる。

## 2. 到達目標（SBOs）

### 1) 診察の基本技能

- ① 問診を実施できる。
- ② 視診を実施できる。
- ③ 触診を実施できる。
- ④ 硬組織疾患及び歯内疾患の病態を説明できる。
- ⑤ デンタルエックス線写真を読影し、説明できる。
- ⑥ 患者に治療方針を説明できる。
- ⑦ 患者およびコ・デンタルスタッフとコミュニケーションできる。

### 2) 治療・術式（一般事項）

- ① 診療録を作成できる。（SOAP の記載ができる）
- ② 処方箋を作成できる。
- ③ 患者への病状の説明を実施あるいは説明することができる。
- ④ 歯科技工指示書の作成を実施あるいは説明することができる。
- ⑤ インフォームドコンセントを説明することができる。
- ⑥ 各種手用器具を適切に使用できる。
- ⑦ 歯髄診査を適切に実施できる。
- ⑧ 表面麻酔・浸潤麻酔を実施できる。
- ⑨ ラバーダム防湿を説明し、実施できる。

### 3) 治療・術式（修復処置）

- ① 直接修復の複雑、単純窩洞形成が実施できる。
- ② レジン充填を実施できる。
- ③ グラスアイオノマーセメント充填を実施できる。
- ④ 間接修復（インレー修復）を実施または説明できる。
- ⑤ 仮封および仮着を実施できる。
- ⑥ 象牙質知覚過敏処置を実施できる。
- ⑦ 覆髄法を説明できる。

4) 治療・術式（歯内処置）

- ① 根管孔の明示ができる。
- ② 作業長が測定できる。
- ③ 適切な救急処置ができる。
- ④ 簡単な抜髄・感染根管治療ができる。
- ⑤ 適切な仮封ができる。

5) 臨床推論

- ① 講義、臨床実習で得た知識を用いて、問題を解くことができる。

6) 周術期管理

- ① 周術期管理における歯科医師の役割を理解できる。

**コア・カリキュラム番号**

**E-1-1-）、E-1-2）、E-1-4）-(3)、E-2-4）-(3)、E-3-1）、E-3-2）、E-3-3）、G-3**

**3. 実習内容**

1) 総合歯科自験患者治療ケース：CCC-A 担当患者で、修復処置が必要になった場合

- ① 原則担当学生と、介助で計 2 人で取り組むこと。
- ② アポイント 1 週間前までにセッション計画を作成し、当日の担当ライターの確認をもらう。（治療当日までに最低 2 回以上の確認を行うこと。）
- ③ 診療
  - ・アポイントメントの 20 分前に外来に集合し、ユニットの操作方法の確認、使用する機材の準備を行う。担当ライターの指示で患者誘導を行い、診療あるいは介助を行う。
- ④ 患者および担当ライターと相談し、次回アポイントを取得する。
- ⑤ 後片付け
  - ・総合歯科 B のルール従い使用した器具の片づけ、ユニットの清掃を行う。
- ⑥ レポートの作成
  - ・治療後 1 週間以内に担当ライターに治療内容のレポートを作成して確認を行い、フィードバックを受ける。レポートの確認は原則、外来診療時間の終了後からとする。なお、会議、出張などで不在の場合も予想されるため事前に担当ライターと予定を決めておくこと。

※形成など事前に練習をしておくように指示することもあるため、模型、形成に用いる機材などを各自用意しておくこと。練習場所はライターの指示に従うこと。

2) 総合歯科配属：

- ① 配属当日 8：30 に外来に集合し、当日の担当ライターを決める。
- ② 担当ライターの指示のもと、患者の誘導、診療介助を行う。
- ③ 配属日の予約状況によって、外来での学生対応が難しい場合が予想されるため、形成課題を出す場合もある。実習室にて課題に取り組んだのち、臨床での術式、実際の使用器具、本課題で留意した点をレポートに記載したうえで、模型を提出す

ること。作成されたものは、各種ケースとして承認を行う。

④ レポートの作成

- ・ 介助、見学ケースの場合は2週間以内に担当ライターに治療内容のレポートを作成して確認を受ける。
- ・ 形成課題の場合は課題を受け取った日から3日以内にレポートと形成物を提出すること。

3) 診療実習ケース

- ① ラバーダム防湿
- ② 浸潤麻酔
- ③ 直接修復
- ④ 間接修復
- ⑤ 象牙質知覚過敏症

4) 周術期ケース

- ① 配属日当日の朝8:30に矢巾大学病院歯科外来に集合する。
- ② 当科担当医から1ケース配当を受け、見学、介助を行う。
- ③ 水曜日配属の際は16:30から内丸総合歯科Bにてカンファレンスに参加する。
- ④ 配属後2週間以内にライターにレポートを提出し、口頭試問を受けること。

#### 4. 実習にあたっての注意事項

- ・ Web Class上に月ごとのライターの出張予定日を掲載する。各自確認した上でライターとのアポイントを取得すること。
- ・ 原則当科学生対応は診療終了後の時間とする。その他の時間でのアポイントはライターと要相談すること。
- ・ 必ずアポイントは翌日以降で取得すること。  
(朝や、診療時間にライターを訪問しその日の診療時間終了後に尋ねるのは特別な理由がない限り認めない。)
- ・ ライターに会えない場合はメールでアポイントを取得すること。

#### 5. 身だしなみ等

- ・ 常に清潔な白衣、服装を心がけること。また、頭髪の長さ、色にも注意し、病院スタッフの自覚を持つこと。
- ・ 患者への説明など丁寧でわかりやすい言葉を使用すること。
- ・ においへの配慮も行うこと(タバコ、香水など)
- ・ 上記に対して指導を受けたものは速やかに改善を行うこと。改善されない場合は実習中止とする。また、無断での欠席や配属当日、患者予約日に無断で現れない場合も実習の中止とする。

## 6. 評価方法

SB0s	目的	対象	評価者	時期	方法
1) 2) 3) 4)	形成的評価	臨床実習生 (知識・技能)	教員	自験前後	レポート 口頭試問
4) ①～⑤	形成的評価	臨床実習生 (技能)	教員	中期以降	自験技能試験 (ケース試験)
1) 2) 3) 4)	形成的評価	臨床実習生 (知識)	教員	後期以降	臨床実習試験
5)	総括的評価	臨床実習生 (知識)	教員	年に一回	筆記試験
6)	総括的評価	臨床実習生 (知識)	教員	配属後	口頭試問

## 7. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について 35 点満点で評価する。

- 1) オーバーケース数
- 2) 出席率
- 3) レポート内容

## 8. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	野田 守 浅野 明子 東 兼司 中村 友宣					
午後	野田 守 浅野 明子 東 兼司 中村 友宣					

# 臨床実習Ⅱ：歯周病学

ライター長：歯科保存学講座（歯周療法学分野） 鈴木 啓太 助教

## 1. 教育成果（アウトカム）

歯周疾患は歯周組織を損壊する因子と、その因子に対する宿主の生体応答のバランスの上に成り立つ病変である。歯周組織とその周辺関連組織の形態的および機能的特性を理解するとともに、それらに基づいて歯周組織に生じる病変（lesion）及び疾患（disease）の病態、検査、診断、治療計画立案、治療法を歯科医学の見地から修得することで、歯周疾患の病態を正しく理解、把握し、歯周治療を実施することができる。

## 2. 到達目標（SBOs）

- 1) 歯周病の診査・診断を行うことができる。
  - ① エックス線写真を適確に読影し、説明できる。
  - ② 歯周組織検査が実施できる。
- 2) 歯周基本治療が実施できる。
  - ① プラークコントロール指導ができる。
  - ② スケーリングができる。
  - ③ スケーリング・ルートプレーニングができる。
  - ④ 咬合治療（咬合調整・暫間固定）ができる。
  - ⑤ PMTC ができる。
- 3) 歯周外科治療の種類や術式を理解し、介助を行うことができる。
  - ① 歯周外科治療の各分類や該当する術式の種類・処置の流れ・使用する器具を説明できる。
  - ② 歯周外科治療の準備を行うことができる。
  - ③ 歯周外科治療の介助を行うことができる。
- 4) サポートィブペリオドンタルセラピー（SPT）及びメンテナンスが実施できる。

## コア・カリキュラム番号

D-5-2-3-1~5、E-2-2-5、E-2-5-4、E-5-2-3、E-5-3-3-1~6

## 3. 実習内容

- 1) 先進総合歯科（A）

ライター指導のもとに臨床実習を行い、診療術式を習得する。
- 2) 歯周病外来
  - ① ライター指導のもとに臨床実習を行い、診療術式を習得する。
  - ② 重度歯周炎症例や特殊な歯周疾患について、見学・介助実習を通して診療術式を修得する。
- 3) 歯周外科治療
  - ① 歯周外科治療（分類、各術式・手順）についてのレポートを手術日2日前までに提出させる。

- ② ①を提出後に口頭試問を行う。
- 4) PBL  
配属中に歯周病学の知識と技能が連動することを目的とした問題解決型学習を行う。
- 5) 臨床習熟度評価 (WebClass)  
臨床実習で得られた知識の定着度の評価を行う。
- 6) 自験技能試験  
臨床実習で得られた技能を評価する。
- 7) 実習にあたっての注意事項
- ① 臨床実習後は必ず担当ライターから処置内容やレポートの確認を受け、電子ログブックにて評価・承認を受ける。
  - ② ネームプレートは必ず着用する。また、臨床実習は患者さんのご好意によって行われるため、実習にふさわしくない言動や身だしなみ（髪型、髪の長さ、髪の色、ヒゲ）、服装（汚れた白衣等）の院内生は実習を中止し、外来からの退出を指示する場合もあるので十分に注意する。
  - ③ 長期間通院されている患者さんの中には、自身の基礎疾患や歯科治療の内容について十分な知識を有している方が多いので、担当する際は予め十分に勉強をした上で実習に臨むように心がける。
  - ④ 学生相互実習については、事前に担当ライターに相談する。
  - ⑤ 学生への対応時間について
    - ・基本的に診療終了後（17：00以降）
    - ・教員は会議等で不在の場合があるため、事前にメール等でアポイントを取ることを推奨

#### 4. 評価方法

SB0s	目的	対象	評価者	時期	方法
1)～5)	形成的評価	知識	教員(ライター)	自験前後	口頭試問
1)～5)	形成的評価	知識 技能	教員(ライター)	配属前後期	PBL
1)～5)	形成的評価	態度	教員(ライター)	実習後期	オーバーケース
1)～5)	形成的評価	知識	教員(ライター)	実習前期	前期臨床習熟度評価
1)～5)	総括的評価	知識	教員(ライター)	実習後期	後期臨床習熟度評価
最終実技試験	総括的評価	技能	教員(ライター)	実習後期	自験技能試験

## 5. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について 35 点満点で評価する。

- 1) 自験技能試験 (10 点)
- 2) 臨床習熟度評価 (10 点)
- 3) オーバーケース数 (15 点)

## 6. 実習担当者

臨床実習 (Ⅱ)・・・4 月 14 日～2026 年 2 月 26 日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	佐々木 大輔 村井 治 鈴木 啓太	佐々木 大輔 村井 治	佐々木 大輔 村井 治 鈴木 啓太	村井 治 鈴木 啓太	佐々木 大輔 鈴木 啓太	佐々木 大輔 村井 治 鈴木 啓太
午後	佐々木 大輔 村井 治 鈴木 啓太	佐々木 大輔 村井 治	佐々木 大輔 村井 治 鈴木 啓太	村井 治 鈴木 啓太	佐々木 大輔 鈴木 啓太	

# 臨床実習Ⅱ：有床義歯補綴学

ライター長：歯科補綴学講座（有床義歯・口腔リハビリテーション学分野） 米澤 悠

## 1. 教育成果（アウトカム）

- ① 講義および基礎実習で修得した知識・学理を理解し、臨床の現場で実践することで、補綴歯科治療の導入基盤が形成される。
- ② 有床義歯治療の初診から予後までを見学および自験を行うことで、症例の問題点を抽出し、その解決法を見出すことができるようになる。
- ③ 各学生が自主性と責任をもって補綴治療および患者教育を研修し、歯科補綴治療を行うことができるようになる。

## 2. 到達目標（SBOs）

- ① 全部床義歯および部分床義歯治療の目的と意義および具備条件を説明できる。
- ② 歯の喪失と加齢変化に伴う無歯顎口腔の病態像を説明できる。
- ③ 歯の欠損を有する高齢患者の特徴を説明できる。
- ④ 義歯に起因する口腔粘膜病変の種類と、その特徴を説明できる。
- ⑤ 治療計画を左右する因子を理解し、治療計画の提示と医療面接が実施できる。
- ⑥ 可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内の診察・検査・診断用模型およびエックス線画像等により適切に設計ができる。
- ⑦ 設計に応じて、支台歯の前処置（歯冠形態の修正、レストシートおよびガイドプレーンの形成）を適切に実施できる。
- ⑧ 印象採得に必要な口腔解剖を理解し、印象採得を実施できる。
- ⑨ 下顎位と下顎運動に関する基本的事項を説明できる。
- ⑩ 顎間関係の決定法と、その問題点を理論的背景から説明し、適切に顎間関係の記録を実施できる。
- ⑪ 人工歯の種類と、その特徴を理解し適切に選択できる。
- ⑫ 咬合器の種類と、その特徴を理解し適切に選択できる。
- ⑬ 可撤性義歯に付与する咬合様式と、その意義を説明できる。
- ⑭ ろう義歯試適の臨床的意義と検査項目を説明し、実施できる。
- ⑮ 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明し、各技工操作を適切に実施できる。
- ⑯ 咬合調整の臨床的意義と基本的な方法を説明し、実施できる。
- ⑰ 完成義歯を患者に装着し、患者指導内容を説明できる。
- ⑱ 義歯装着後の定期検診の意義と重要性を理解し、診察事項を説明し実施できる。
- ⑲ 義歯の調整、リライン、および修理を適切に実施できる。

## コア・カリキュラム番号

B-1, 2, 3, D-4, D-5-3-2, E5-3-4-2

### 3. 実習内容

#### 1) 義歯外来自験実習、技工操作

- ・学生は、患者 1 名を数名で担当し、検査～完成義歯装着および予後までのいずれかの治療を行う（義歯外来自験実習 6 点×2 項目=12 点）。
- ・自験実習を行う際は、事前に担当ライターと相談し許可を得る。自験治療後は、原則一週以内に処置内容を担当ライターに提出し確認を受ける。
- ・義歯外来 A で行う治療のみをケースとして認める。
- ・患者未来院や患者数の不足により自験実習が行えない場合は、ライター長の判断で、義歯外来の見学ケースを、自験治療ケースの代替とする（オーバーケース 2 回分を自験 1 回分とする。ただし、原則として義歯外来自験実習を進行させ、ミニマムリクワイアメントを修了することを前提とする）。
- ・技工操作として義歯外来自験実習および介助・見学実習の患者の技工操作を行う。後期の総合試験が終了しても技工ケースがない場合は、ライターの技工操作の見学やレポートで代替する。（5 点×1 項目=5 点）。

#### 2) 有床義歯介助・見学実習

- ・義歯外来 A にて、ライターの検査・概形印象採得から義歯調整および義歯修理・その他の有床義歯治療の症例の介助または見学を行う（4 点×7 項目、顎間関係の記録および義歯調整は 3 ケース）。
- ・介助、見学は 1 ケースにつき原則 3 名までとする。
- ・処置内容の記載は原則不要。ライターの指示があった際は、レポートを提出すること。
- ・同一患者の見学を継続して行うのが望ましいが、場合によってはその限りではない。
- ・義歯外来 A 受付の棚にライターのアポイント帳がある。事前に患者予約を確認し、担当ライターに介助見学の許可を得る。ライターの裁量で当日見学を認める場合もある。
- ・FR 実習等によってライターの多くが不在になる日もあるため、事前に電子カルテやライターのアポイント帳で予約を確認し、前日までにライターの指示を受けること。

#### 3) 新患急患（予診）対応実習

- ・義歯の破損や義歯による疼痛など、有床義歯の主要徴候への対応方法を学ぶ。（2 点×2 回=4 点）
- ・新患急患（予診）対応実習は、原則前日までに希望日に予約を取る。実習は半日を合計 2 回行う。義歯外来 A の新患急患見学実習予約表に番号と名前を記載する。

#### 4) 有床義歯学習

- ・有床義歯に関連する治療の治療計画や手順、臨床操作に基づいた口頭試問や課題提出を行うことで歯科医師として必要な知識を深める。（2 点）

#### 5) オーバーケースについて

- ・外来実習におけるミニマムリクワイアメント以外の実習は、オーバーケースとして扱う。
- ・義歯外来における自験治療のオーバーケースは 6 点とする。介助見学実習は 4 点とする。

技工操作のオーバーケースは5点とする。新患急患対応実習のオーバーケースは、3点とする。

6) 各ケースの評価方法

- ・自験、見学終了後、ライターによるフィードバックを行いケースの検印及びログブックの承認を受ける。レポートや処置内容の提出が必要と指示があった場合は、課せられた内容についてレポートを提出する。提出後、内容が良好であればケース承認となる。

7) 形成的評価（有床義歯治療評価）

- ・義歯治療に関する口頭試問やレポートを行い評価し、有床義歯治療の理解を深める。（3点）

8) 習熟度試験

- ・基礎学力向上、臨床実習中の知識の確認を目的に習熟度試験を年1回開催する。70点以上を合格とし、基準点に満たないものは不合格とする。不合格者が出た場合は再試験を実施する。（10点）

#### 4. 実習にあたっての注意事項

配属実習について

- ・配属実習の際は、8時50分までに義歯外来Aに集合し、当日の来院患者治療内容を把握しておくこと。
- ・配属実習中は義歯外来Aにて終日実習を行う。
- ・実習時間は原則9時～12時、13時～16時とする（混雑により変更になる場合がある）。
- ・レポート提出、検印、ケース承認は、原則月曜日、金曜日の16時～17時とする。
- ・レポートの提出はケース実施より1週以内とし、それ以降提出した場合は無効とする。やむを得ず、期限内での提出が難しいと判断される場合は、事前にライターと相談すること。
- ・配属中のライターの不在や配属人数に対して患者数が少ない場合は、担当ライターの指示に従い義歯外来Bやインプラント外来での実習を認める。また、相互実習や実習室で模型実習を行う場合がある。
- ・配属期間中は、ライターに所在を明らかにすること。
- ・欠席する場合は8時30分～8時40分までに歯学部教務課（内線4117）に連絡すること。連絡なしの欠席は認められない。無断欠席の場合、実習を停止する場合がある。
- ・配属期間中にミニマムリクワイアメントを終了すること。原則追加配属実習は行わない。

#### 5. 身だしなみ等

常に清潔な白衣、服装を心がけ、頭髪の長さや色にも注意し、病院スタッフや患者にも清潔と容易に理解されるように十分に配慮すること。また、タバコやアルコールの臭いなどの悪臭を放つことのないよう、十分に注意すること。

## 6. 臨床実習停止時の対応

有床義歯介助・見学実習の小項目から、班ごとにケースとして承認を得たいケースを選択し、その項目について学習する。班ごとに協力して、PowerPoint に発表時間 10～20 分程度でまとめる。その後、ライターの評価を受け、合格することで介助・見学 1 ケースとして認めることとする。発表は外来診療終了後に行う。

※上記に関しては、当日いるライターに指示を受けることとする。

## 7. 評価方法

SBOs	目的	対象	評価者	時期	方法
①、④、 ⑨、⑬	形成的評価	知識	教員	自験ケース、 義歯外来実習時	レポート 口頭試問
⑤～⑧、 ⑩～⑫、 ⑭、 ⑯～⑲	形成的評価	知識・技能・態度	教員	自験ケース、 義歯外来実習時	観察記録 口頭試問
⑮	形成的評価	知識・技能	教員	技工ケース実施 時	観察記録 口頭試問
①～⑲	形成的評価	知識	教員	義歯外来実習、 自験ケース終了 時(自己申告)	学習評価試験 習熟度試験
①～⑲	総括的評価	知識・技能	教員	後期試験	臨床実習試験 (多肢選択試験)

## 8. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について 35 点満点で評価する。

- 1) オーバーケースの点数に準じて相対評価する。
- 2) 習熟度試験の結果に準じて相対評価する。

## 9. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	原 総一郎 米澤 紗織 米澤 悠 佐藤 宏明 伊藤 凌	米澤 悠	小林 琢也 原 総一郎 米澤 紗織 佐藤 宏明	原 総一郎 米澤 悠 佐藤 宏明 島田 崇史 伊藤 凌	小林 琢也 原 総一郎 佐藤 宏明 島田 崇史 伊藤 凌	佐藤 宏明
午後	原 総一郎 米澤 紗織 米澤 悠 佐藤 宏明 伊藤 凌	米澤 悠	小林 琢也 原 総一郎 米澤 紗織 佐藤 宏明	原 総一郎 米澤 悠 佐藤 宏明 島田 崇史 伊藤 凌	小林 琢也 原 総一郎 佐藤 宏明 島田 崇史 伊藤 凌	

# 臨床実習Ⅱ：冠橋義歯補綴学

ライター長：歯科補綴学講座（冠橋義歯・口腔インプラント学分野） 齊藤 裕美子 助教

## 1. 学修方針（講義概要等）

歯の実質欠損を生じた口腔内は、原因、期間、欠損部位などによりその程度は様々であるが、健全な歯列にみられる生体に調和、適合した要件が失われる。したがって、歯科材料を用いて、冠橋義歯補綴装置を製作し、形態的、機能的、審美的に顎口腔系の回復や改善、回復を図るための理論を理解し、患者の口腔内検査から口腔内装着までの基本的な流れ、知識、技術を習得する。

## 2. 教育成果（アウトカム）

臨床の場で診断、治療計画、治療経過および術後の経過観察までの各段階を通じて歯科技工を含めた冠橋義歯補綴学を理解、修得することで患者の顎口腔系の形態、機能を回復し、健康を維持増進することができる。

ディプロマ・ポリシー項目番号

1～9

## 3. 到達目標（SBO）

### 1) 冠橋義歯外来実習

- ① 学生が診察法を理解することで、適切な診断ができるようになる。D-4-2-1、D-4-2-2、D-4-2-3
- ② 学生が患者とのコミュニケーションをはかることができるようになる。D-4-3-1、D-4-3-1、D-4-3-3、D-4-3-4
- ③ 学生が冠橋義歯補綴学の臨床の流れを理解することで、説明できるようになる。D-5-3-1-1
- ④ 学生が歯の欠損に対する補綴治療を学び、理解できるようになる。D-5-3-1-2
- ⑤ 学生が指導者のもと、冠橋義歯補綴による補綴治療からメンテナンスまでを学び、理解できるようになる。D-5-3-1-1、D-5-3-1-13
- ⑥ 学生が冠橋義歯補綴学の技工操作を学び、理解できるようになる。D-5-3-1-10、D-5-3-1-11
- ⑦ 学生が高度な欠損補綴治療に対して適切な介補ができ、診療を円滑に進めることができるようになる。D-5-3-1-9

コア・カリキュラム番号

D-4-2 D-5-3

## 4. 実習内容

### 1) 冠橋義歯外来実習

- ① 学生が冠橋義歯外来において指導医のもとで介助・見学することで診療術式を理解できるようになる。
- ② 学生が難易度の高い補綴症例、デジタル歯科などについての診療術式を学び、理解できるようになる。
- ③ 介助・見学ケースは4月14日(月)より開始し、各指導医のアポイントで各自確認する。

※指導医は今、深澤、横田、福德、齊藤、佐々木、星、八戸の8名とする。指導医が認める場合は、指導医以外の先生の見学も可とする。

- ④ 見学は3名までとして認める。
- ⑤ 学生本人が指導医へ介助・見学の許可をもらう。
- ⑥ 指導医の所在についてはアポイントまたはシラバスで確認すること。
- ⑦ 見学終了後、処置内容ならびに見学処置に該当する項目について直ちに承認をもらう。進行表を必ず持参すること。
- ⑧ 指導医が必要と判断した場合、レポートを作成し、口頭試問を行う。その上で十分な知識の獲得を確認できた場合、本ケースを終了として承認する。その際、進行表を必ず持参すること。
- ⑨ 処置内容ならびにレポート、進行表には『処置日』『指導医印』を必ず記入すること。

※各ケース実施日より2週間を過ぎて提出、また見学日から1ヵ月以内に承認が得られていないケースは無効とする。

- ⑩ 進行表、処置内容ならびに関連資料は必ず自身で保管しておく。紛失した場合はそれまでの承認を無効とする。

### 2) 形成的評価

学生が、実習中に顎歯模型で左下6の全部金属冠の支台歯形成の練習を5本以上行うことで、支台歯形成ができるようになる。人工歯は指導医より配布予定である。6本目以降はオーバーケースとして認める。

### 3) 総括的評価

実習終了後、指導医1名(前期もしくは後期講義担当者)のもと総合的レポートの作成をおこない、冠橋義歯補綴学の理論を理解できるようになる。指導医が必要と判断した場合は、さらに口頭試問を追加しそれらの結果をもとに評価を行う。十分な知識、技術を修得していない場合は再試験を施行する。

### 4) 教科書、参考書等

クラウンブリッジ補綴学第6版、クラウンブリッジテクニック第2版、冠橋義歯補綴学テキスト第5版

## 5. 実習にあたっての注意事項

- 1) 臨床にふさわしい服装を心がけること。
- 2) 外来介助・見学は、各自が指導医にアポイントをとること。
- 3) アポイント取得や学生対応時間は、事前にオフィスアワー時間に指導医へ尋ねるか、直接会えない場合は、メールなどを利用して確認する。

## 6. 授業日程

臨床講義は1クールに1回設ける。配属期間の前期は1クール最後の木曜日、後期は1クール最後の水曜日にそれぞれ行う。場所については事前に学生の代表が講義担当者へ確認を行うこと。

## 7. 臨床実習停止時の対応

### (基礎実習室・技工室・CAD/CAM センターへの立ち入りが許される場合)

#### 1) 冠橋義歯外来介助・見学ケース

- ① 支台築造：支台築造用の上顎前歯人工歯 5 本に対し、直接法支台歯築造を行い、概形成まで終了させる。指導医の評価に合格することで介助 1 ケースと認める。
- ② 支台歯形成、精密印象・咬合：右下第一大臼歯全部金属冠の支台歯形成を 5 本行い、指導医の評価に合格することで介助 1 ケースと認める。
- ③ 暫間冠作製・調整：右上中切歯の暫間冠作製を、既製冠を用いる方法、レジン泥を用いる方法のそれぞれで 2 本製作し、指導医の評価に合格することで介助 1 ケースと認める。
- ④ 試適・装着：右下第一大臼歯全部金属冠のワックスアップを行い、指導医の評価に合格することで介助 1 ケースと認める。

#### 2) 冠橋義歯外来見学ケース

上記以外の補綴：上記以外の補綴治療に関するレポートを A4 用紙 2 枚程度にまとめ、指導医の評価に合格することで見学 1 ケースと認める。

※臨床実習停止時は上記のいずれを行うか選択できるが班員全員が共通の課題を行うこと。

## 8. 臨床実習停止時の対応（実習室・技工室への立ち入りが許されない場合）

- ・口腔内写真、研究用模型、エックス線写真等の資料からケースプレゼンテーションに準じた症例検討を行う。パワーポイントで発表時間 10 分程度にまとめ、指導医の評価に合格することで介助 1 ケースと認める。

※班ごとに協力して 1 症例のケースプレゼンテーションを製作すること。

※外来診療終了後に指導医に対し発表を行う。

※上記、臨床実習停止時には当日いる指導医に指示を受けること。

## 9. 評価方法

SBO	目的	対象	評価者	時期	方法
①～⑦	形成的評価	知識・技能・態度	教員 (指導医)	介助・見学前後	支台歯形成 (顎歯模型)
①～⑦	総括的評価	知識・技能	教員 (指導医)	ミニマム終了後	レポート 口頭試問

## 10. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について35点満点で評価する。

- 1) 臨床にふさわしい態度
- 2) 総合的な知識・技術の習得

## 11. 実習担当者

臨床実習(Ⅱ)・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 星 美貴 八戸 勇樹	今 一裕 横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 佐々木 溪斗 星 美貴	今 一裕 深澤 翔太 横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 佐々木 溪斗 星 美貴 八戸 勇樹	今 一裕 深澤 翔太 福德 暁宏 佐々木 溪斗 八戸 勇樹	今 一裕 深澤 翔太 横田 潤 齊藤 裕美子 佐々木 溪斗 星 美貴 八戸 勇樹	今 一裕 深澤 翔太 横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 佐々木 溪斗 星 美貴 八戸 勇樹
午後	横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 星 美貴 八戸 勇樹	今 一裕 横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 佐々木 溪斗 星 美貴	今 一裕 深澤 翔太 横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 佐々木 溪斗 星 美貴 八戸 勇樹	今 一裕 深澤 翔太 福德 暁宏 佐々木 溪斗 八戸 勇樹	今 一裕 深澤 翔太 横田 潤 齊藤 裕美子 佐々木 溪斗 星 美貴 八戸 勇樹	

# 臨床実習Ⅱ：口腔インプラント学

ライター長：歯科補綴学講座（冠橋義歯・口腔インプラント学分野） 八戸 勇樹 助教

## 1. 教育成果（アウトカム）

一連のインプラント治療の見学および参加を行うことで、臼歯部の咬合支持が確立しているインプラント治療の知識を習得し、説明できる状態に到達する。

## 2. 到達目標（SB0s）

- 1) 診察・検査の基本的知識・技能
  - ① 患者に治療方針を説明できる。
  - ② 患者およびコ・デンタルスタッフとコミュニケーションがとれる。
  - ③ インプラント治療の方法・期間・予後・リスクについて説明できる。
- 2) 治療の基本的知識・技能
  - ① 適切な診断用模型を製作できる。
  - ② CT写真を適格に読影し、説明できる。
  - ③ インプラント埋入手術について説明できる。
  - ④ 適切な印象採得を行うことができる。
  - ⑤ 暫間補綴装置及び最終上部構造の装着ができる。
  - ⑥ メンテナンスについて説明できる。

## コア・カリキュラム番号

GE-01、D-2-5-9、D-5-3-3

## 3. 実習内容

- 1) インプラント外来実習
  - ・実習期間は4月14日（月）から1月21日（水）まで。この期間中にリクワイアメントを終了させること。
  - ・インプラント外来実習では、インプラント治療を行う患者を通して、診断、治療計画、手術術式、補綴術式を修得し理解を深めることを目的とし見学を行う。
  - ・各班は配属開始前の週にインプラントカンファレンス（原則として毎週水曜 16:30 より 4F 第一講義室で行われるが、日程が変わる場合もあるため、外来の予定表を注意深く確認すること）に出席し、次週より開始される配属実習の指示を仰ぐ。
  - ・手術の見学は必ずカンファレンスまでに本人が担当医に許可を申し出て、カンファレンスに参加した上で行う。カンファレンスは原則実施日より7日以上前の水曜日 16:30 より 4F 第1講義室で実施されるが担当医の出張などで早まる場合があるため、外来にて各自確認する。補綴・メンテナンスは前日までに本人が担当医に見学の許可を申し出る。上記が満たされない場合、原則見学は認めない。見学の許可が得られたら、外来の担当医の予約帳（補綴ケースの場合）あるいは手術・メンテナンスの予約帳（手術・メンテナンスケースの場合）に自分の番号と名前を必ずフリクションのボールペンで記入する。手術の見学は1ケース4名まで、補綴とメンテナンスは2名まで

とする。

- ・見学までにカルテを確認し、処置する部位やインプラントシステム、使用する器具、パノラマX線写真などを確認し、当日行う手技についての事前学習を行う。
- ・アポイントメントはインプラント外来にある予約帳で各自確認する。
- ・見学終了後、担当医より課せられた内容についてレポートを提出する。担当医からの合格をもらった場合にはログブックの承認を行い、そのケースを終了とする。
- ・レポートの提出期限は実施日より1週間程度とするが担当医が指定した日時に本人が提出する。再提出の場合も担当医が指定した日時に提出する。原則提出が遅れた場合、ケースは無効とする。また、承認は見学日から1ヶ月以内とし、承認がもらえない場合のケースは無効とする。承認したレポートはライターが回収する。
- ・インプラント配属中にインプラント見学ケースがない場合には、冠橋義歯のケースを義歯外来やインプラント外来で見学しても問題ない。
- ・既定の配属期間中にミニマムケース数に足るインプラント見学ケースが無い場合においては、手術の録画映像の視聴や印象採得・上部構造装着のレクチャーを受けた上で、担当医の課すレポートを提出することで、見学ケースの代替とする。

## 2) ミニマムケースについて

実習は、以下の項目について行う。

- ① インプラント一次手術 …見学ケースのみ、各症例の手技についての事後レポート
- ② インプラント二次手術 …見学ケースのみ、各症例の手技についての事後レポート
- ③ 印象採得 …見学ケースのみ、見学後に口頭試問を受け、場合によりレポート
- ④ 上部構造装着 …見学ケースのみ、見学後に口頭試問を受け、場合によりレポート
- ⑤ インプラントメンテナンス …見学ケースのみ、見学後に口頭試問を受け、場合によりレポート
- ⑥ 臨床習熟評価（印象採得）…③のケース終了後に学生が模型上で印象採得を行いながら、手順および器具を説明する。
- ⑦ 臨床習熟評価（上部構造装着）…④のケース終了後に学生が模型上で上部構造の装着を行いながら、手順および器具を説明する。
- ⑧ 治療計画立案 …インプラント治療を行う上で必要な埋入シミュレーションを実際の症例で行い、配属中のカンファレンスで発表する。発表は2人または3人1組で行い、患者の概要、既往歴、埋入位置について5分間で発表・質疑応答を行う。
- ⑨ 治療計画立案 …インプラント治療を行う上で必要な埋入シミュレーションを実際の症例で行い、配属中のカンファレンスで発表する。発表は2人または3人1組で行い、患者の概要、既往歴、埋入位置について5分間で発表・質疑応答を行う。

## 3) オーバーケースについて

ミニマムリクワイアメントで既に終了している項目についての見学は、すべてオーバーケースとして取り扱う。

## 4) 臨床実習停止時の対応

実習あるいは症例検討にて対応する。その際、詳細は担当ライターより指示を仰ぐ。

#### 4. 実習にあたっての注意事項

- ・学生の対応時間は水曜 16:30 から行われるカンファレンスの終了後を基本とし、その他指導教員と学生間で相談により対応時間は決定する。

#### 5. 評価方法

SB0s	目的	対象	評価者	時期	方法
1) ①②③ 2) ①	形成的評価	知識・技能・態度	教員 (ライター)	見学後	レポート 口頭試問
2) ④⑤⑥	形成的評価	知識・技能	教員 (ライター)	③④終了後	臨床習熟試験
2) ①②③	総括的評価	知識	教員 (ライター)	配属中	ケースプレゼン テーション

#### 6. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について 35 点満点で評価する。

- 1) ⑥臨床習熟評価（印象採得）にて、印象採得（オープントレー法、クローズドトレー法）に使用する器具および手順について口頭試問・実技試験を行う。
- 2) ⑦臨床習熟評価（上部構造装着）にて、上部構造（スクリュー固定式、セメント固定式）に使用する器具および手順について口頭試問・実技試験を行う。
- 3) ⑧治療計画立案にて、発表内容について 35 点満点で評価する。

#### 7. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	今 一裕 横田 潤 福德 暁宏 野尻 俊樹 佐々木 溪斗 八戸 勇樹					
午後	今 一裕 横田 潤 福德 暁宏 野尻 俊樹 佐々木 溪斗 八戸 勇樹					

# 臨床実習Ⅱ：摂食嚥下・口腔リハビリテーション学

ライター長：歯科補綴学講座（有床義歯・口腔リハビリテーション学分野） 米澤 紗織 助教

## 1. 教育成果（アウトカム）

- ① 講義で修得した知識・技術を理解し、臨床の現場で実践することで、摂食嚥下リハビリテーションを行うことができるようになる。
- ② 他職種とのコミュニケーションを取りながら病棟または訪問診療での治療に参加することができるようになる。
- ③ 患者とその家族・介護者への対応ができるようになる。

## 2. 到達目標（SBOs）

- 1) 摂食嚥下障害患者に対する全身評価と問診ができる。
  - ① 摂食嚥下障害患者に対する全身評価と問診ができる。
  - ② 摂食嚥下障害に対する必要な検査を列挙できる。
  - ③ 摂食嚥下障害の病態を説明できる。
  - ④ 摂食嚥下障害の診断ができる。
  - ⑤ 摂食嚥下障害に対する治療法を説明できる。
  - ⑥ 高齢者の栄養状態の評価ができる。
  - ⑦ 摂食嚥下障害の病態に合わせた食形態の調整を説明できる。
  - ⑧ 要介護高齢者の口腔内能状態を判断できる。
  - ⑨ 要介護者およびその介護者に対して基本的な対応ができる。
  - ⑩ 口腔機能低下症の検査と予防法を説明できる。

## コア・カリキュラム番号

GE-05、IP-01～03、C-1-3-1～3、D-3-1-11-2・5、D-5-7-1～9、D-6-2-1～4、E-5-6-2～5

## 3. 実習内容

- 1) 摂食嚥下機能障害患者に対する診療（10点×4項目=40点）
  - ・病棟や外部施設における訪問歯科治療にチームの一員として参加するために摂食嚥下障害患者の診療について理解を深める。
- 2) 嚥下内視鏡検査・嚥下造影検査実習（5点×2項目=10点）
  - ・外来、病棟において、嚥下内視鏡検査および嚥下造影検査それぞれの介助または見学を行う。
- 3) 摂食嚥下リハビリテーション計画立案（PBL）（10点×1項目=10点）
  - ・摂食嚥下障害を有する患者の治療に必要な基本事項を理解し、検査結果より診断を行い、治療計画の立案を行う。治療計画は各自で立案したものをプレゼンテーションし、意見交換および口頭試問を行い、問題解決型学習を行う。
- 4) 直接訓練・間接訓練・口腔衛生管理見学実習（10点×2項目=20点）
  - ・摂食嚥下障害を有する患者の治療の治療計画に基づいた処置、訓練方法、問題点とその解決法について理解を深める。

- ・病棟における摂食嚥下リハビリテーションの直接訓練・間接訓練・口腔衛生管理を見学する。
- 5) 形成的評価（口頭試問）（10点×1項目=10点）。
- ・摂食嚥下障害を有する患者の治療の治療計画に基づいた口頭試問を行い評価し、理解を深める。
- 6) 総括的評価（習熟度評価試験）（10点×1項目=10点）。
- ・1)～4)の実習が全て終了後に、コア・カリキュラムに基づいて臨床実習の中で習得すべき技能と態度の項目について学習進度を評価するために、試験を行う。
  - ・判定基準は65点以上を合格とする。
- 7) オーバーケースについて
- ・口腔機能低下症の検査，嚥下内視鏡検査・嚥下造影検査実習、間接訓練・直接訓練・口腔衛生管理見学実習について、同様の点数を与える。
- 8) 評価方法
- ・ミニマムリクワイアメントを100%達成した場合、基礎点を65点とする。
  - ・習熟度試験、オーバーケース、実習態度を評価し、総合評価を35点満点で評価して、総合評価点とする。

#### 4. 実習にあたっての注意事項

配属日当日は朝8：45に矢巾大学病院歯科外来に集合すること。

学生対応時間は火曜日または木曜日の16時から17時で内丸での対応とする。他の時間を希望する際は担当教員に各自でアポイントをとりにくること。

#### 5. 身だしなみ等

常に清潔な白衣、服装を心がけ、頭髪の長さや色にも注意し、高齢者にも清潔と容易に理解されるように十分に配慮すること。また、タバコの臭いなどの悪臭を放つことのないよう、十分に注意すること。改善がみられない場合は実習を中止させることがある。配属日に学生が無断で現れなかった場合も実習中止とする。

#### 6. 評価方法

SBOs	目的	対象	評価者	時期	方法
①～④、 ⑧、⑨	形成的評価	知識	教員	病棟 外来実習時	口頭試問
⑤～⑦、 ⑩	形成的評価	知識・技能・態度	教員	病棟 外来実習時 模型実習	観察記録 口頭試問 レポート

## 7. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について 35 点満点で評価する。

- 1) 習熟度試験(20 点)
- 2) オーバーケース(10 点)
- 3) 実習態度(5 点)

## 8. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	小林 琢也 米澤 紗織 島田 崇史	小林 琢也 島田 崇史	小林 琢也 米澤 紗織 島田 崇史	米澤 紗織 島田 崇史	小林 琢也 米澤 紗織	小林 琢也 米澤 紗織 島田 崇史
午後	小林 琢也 米澤 紗織 島田 崇史	小林 琢也 島田 崇史	小林 琢也 米澤 紗織 島田 崇史	米澤 紗織 島田 崇史	小林 琢也 米澤 紗織	

# 臨床実習Ⅱ：口腔外科学

ライター長：口腔顎顔面再建学講座（口腔外科学分野） 鈴木 舟 助教、星 勲 助教

## 1. 教育成果（アウトカム）

- ・口腔・顎・顔面領域の疾患を有する患者の情報聴取するための知識、技能、および態度を習得することで、診断をして治療計画をたてることができるようになる。
- ・口唇・口腔・顎顔面領域の基本的な診察技能についての知識、技能および態度を習得する。
- ・口腔外科の基本的な手技についての知識、技能および態度を習得する。
- ・歯科医師国家試験の問題を解くために必要な知識を習得する。

## 2. 到達目標（SBOs）

### 1) 医療面接

- ① 患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。
- ② 患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。
- ③ 患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。
- ④ 患者のプライバシーに配慮できる。

### 2) 診察の基本

#### 2-1) バイタルサイン

- ① 血圧、脈拍、体温を測定できる。

#### 2-2) 頭頸部の診察

- ① 顔面の色調の変化、対称性を診察できる。
- ② 下顎の開閉口路の診察ができる。
- ③ 顎関節部の診察ができる。
- ④ 頭頸部の筋肉の診察ができる。
- ⑤ 顎下リンパ節の診察ができる。

#### 2-3) 口唇・口腔内状態の診察

- ① 口唇・口腔の診察ができる。

### 3) 診療録の記載と診断結果・治療方針の説明

- ① 医療面接ならびに診察で得られた情報を診療録に記載できる。
- ② 患者に診断結果と治療方針を説明できる。

### 4) 口腔外科の基本的な手技

- ① 清潔操作を実施できる。
- ② 抜歯（小手術を含む）の器材の準備ができる。
- ③ 感染に対する配慮ができる。
- ④ 局所麻酔を安全に実施できる。
- ⑤ 普通抜歯を実施できる。

- 5) 粘膜疾患・顎関節疾患を有する患者の診察
  - ① 粘膜疾患を有する患者の診察ができる。
  - ② 顎関節疾患を有する患者の診察ができる。
- 6) 歯科医師国家試験問題を解くために必要な知識の習得
  - ① 主要な症候について原因と病態生理を理解する
  - ② 主要な症候・病態から原因と病態生理を推論し、想定すべき鑑別疾患名を説明できる。
  - ③ 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解する。
  - ④ 臨床検査結果と疾患の関係を理解する。
  - ⑤ 主要な症候について鑑別診断を検討し、診断の要点を説明できる。
  - ⑥ 患者の服用薬物の歯科治療(局所麻酔、投与薬物)への影響と歯科治療時の対応を理解する。
  - ⑦ 患者の全身状態の評価を理解する。
  - ⑧ 口腔と医科疾患との関連について理解する。
  - ⑨ 医科疾患合併症患者の歯科治療時の注意点を理解する。

### コア・カリキュラム番号

CS-07, 09、CM-01, 02, 03、D-1-2-1、D-2-1-1、D-2-2、D-2-3、D-3-1-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 10、D-4-1-1, 2、D-4-3-1, 2, 3、D-5-4、D-6-1、E-1-1、E-1-2-1、E-1-3-1、E-2-1-1、E-2-2-2、E-2-3-1, 2, 3, 4, 6, 7、E-2-5-1、E-3-1-1、E-3-2-1, 2、E-4-2、E-4-3-1, 2, 4、E-5-3-5

### 3. 実習内容

- 1) 初診患者の医療面接および診察  
口腔外科の初診患者の医療面接ならびに診察を行う。
- 2) 診療録の記載  
医療面接および診察で得られた情報を診療録に記載する。
- 3) 診断結果と治療方針の説明
  - ① 簡単な症例の診断、治療計画の立案を行う。
  - ② 患者に病状、診断結果ならびに治療方針を説明する。
  - ③ インフォームド・コンセントを得る。
- 4) 口腔外科の基本的な手技の実施
  - ① 抜歯および小手術の器材の準備  
清潔操作で、抜歯および小手術の器材の準備を行う。
  - ② 外来での手術時手洗いおよび滅菌グローブの装着
  - ③ 局所麻酔
    - ・普通抜歯において浸潤麻酔を行う。
    - ・下顎孔伝達麻酔の術式について説明できる。
  - ④ 普通抜歯
    - ・簡単な永久歯の普通抜歯を行う。
    - ・抜歯後の経過観察および処置を行う。
  - ⑤ 縫合と抜糸

- ・普通抜歯（小手術を含む）において縫合処置を行う。
  - ・縫合処置した患者の抜糸を行う。
- 5) 抜歯（小手術を含む）後の処方と注意事項の説明
    - ① 抜歯後の処方箋を作成する。
    - ② 抜歯後の注意事項を患者に説明する。
  - 6) 粘膜疾患・顎関節疾患を有する患者の診察  
粘膜疾患・顎関節疾患の再来患者を外来担当医とともに診察する。
  - 7) 入院患者の処置・手術と管理
    - ① 周術期の患者管理について学習する。
    - ② 術後回診に参加する。
    - ③ 術前の症例検討会に参加する。
    - ④ 全身麻酔手術を見学する。
    - ⑤ 手術後の創傷管理について学習する。
    - ⑥ 入院患者の処置の介助を行う。
    - ⑦ 頭頸部腫瘍センターで手術を見学する。
  - 8) 歯科医師国家試験の過去問題を解く  
歯科医師国家試験の過去問題のプリントを渡すので、各自問題を解いて提出する。

外来、病棟実習初日には簡単なオリエンテーションを行う。

外来実習は午前8時30分に内丸3階医局に集合し、朝のカンファレンスに参加する。その後は外来へ移動し、新患もしくは再来の診察、処置の見学もしくは介助を行う。昼の休憩やトイレ以外、無断に外来から離れることは認めない。長時間不在が発覚した時は実習修了を認めない。

病棟実習は午前8時30分に矢巾5階医局に集合し、朝のカンファレンスに参加する。その後は8階病棟処置室に移動し、入院患者の朝の診察、処置の見学や介助を行う。手術は毎週月曜、木曜、金曜の全日と、第2、4、5火曜の午前に行っているため、見学もしくは介助で参加すること。水曜は、朝の処置後に病棟処置室での抜歯などを行うこともあり、また午後1時30分からは千葉俊美教授による内科回診に参加すること。手術時間の合間、もしくは中止などでの空いた時間がある場合は、内丸外来での見学や自習を指示することがある。また実習中に国家試験の過去問をまとめた課題が与えられるので、時間があるときに課題に取り組み、提出期限までに提出すること。

何かしらの事情で病棟実習が中止になった場合は、手術見学については録画した手術映像の見学で代用する場合もある。

手術の症例検討会は月曜午後4時から内丸3階医局と矢巾5階医局で行っているため、外来実習、病棟実習時にそれぞれ参加すること。

頭頸部外科実習時には、午前8時30分に矢巾5階頭頸部外科医局に集合し、大橋先生の指示に従って実習すること。

実習修了に必要なケースのみではなく、積極的に多くの症例を見学して自分の目で確認し、今後の歯科医師国家試験に必要な知識と経験を得ることを各自意識すること。

#### 4. 実習にあたっての注意事項

- ① 清潔域と非清潔域の区別を理解し、清潔域、清潔器材を不潔にしないこと。
- ② 患者に対して不用意な発言をしないこと。
- ③ 病棟見学や手術見学では私語は一切しないこと。
- ④ 実習中に具合が悪くなったときは早めに申し出ること。
- ⑤ 集合時間と場所を守り、節度ある行動をすること。
- ⑥ 処置や見学に入る前に、当日担当医に了解を得ること。
- ⑦ ケースの承認は診療終了後に、見学もしくは自験を担当した教員に受けること。

#### 5. 診療録の記載法

- ① 患者の担当が決定したら、医療面接記載用紙を準備する。
- ② ライターの指導のもと、患者をユニットに誘導し、医療面接、診察を行う。
- ③ 診療録に全身状態、局所状態を正確に、的確に記載する。誰が読んでも理解できるように記載すること。

#### 6. 評価方法

SBOs	目的	対象	評価者	時期	方法
1) ~ 6)	形成的評価 総括的評価	知識・技能・態度 知識	教員	実習中 実習後	レポート 口頭試問
7)	総括的評価	知識・態度	教員	各ケース終了時	レポート 口頭試問

#### 7. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について 35 点満点で評価する。

- 1) 自験で医療面接を行った患者、抜歯または小手術の介助を行った患者において、医療面接で得られた情報、行った検査や治療方針についてのレポートとその内容についての口頭試問
- 2) 見学に入った手術の手術所見とその患者の周術期管理についてのレポートとその内容についての口頭試問
- 3) 課題（歯科医師国家試験過去問題のプリント）の提出

## 8. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）【内丸キャンパス】・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	川井 忠 高橋 美香子 星 勲 鈴木 舟 川又 慎介	古城 慎太郎 鈴木 舟 矢菅 絵里加	川井 忠 野宮 孝之 秋本 祐基 高橋 美香子 星 勲 鈴木 舟	川井 忠 野宮 孝之 秋本 祐基 川又 慎介 矢菅 絵里加	古城 慎太郎 野宮 孝之 星 勲 矢菅 絵里加	川井 忠 野宮 孝之 高橋 美香子 秋本 祐基 鈴木 舟 川又 慎介
午後	川井 忠 高橋 美香子 星 勲 鈴木 舟 川又 慎介	古城 慎太郎 秋本 祐基 鈴木 舟 矢菅 絵里加	川井 忠 野宮 孝之 秋本 祐基 高橋 美香子 星 勲 鈴木 舟	川井 忠 野宮 孝之 秋本 祐基 川又 慎介 矢菅 絵里加	古城 慎太郎 野宮 孝之 星 勲 矢菅 絵里加	

臨床実習（Ⅱ）【矢巾キャンパス】・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	秋本 祐基 平野 大輔 矢菅 絵里加	野宮 孝之	平野 大輔	高橋 美香子 平野 大輔 星 勲 川井 忠	川井 忠 平野 大輔 川又 慎介	平野 大輔 川又 慎介
午後	秋本 祐基 平野 大輔 矢菅 絵里加	野宮 孝之	平野 大輔	高橋 美香子 平野 大輔 星 勲 川井 忠	川井 忠 平野 大輔 川又 慎介	

# 臨床実習Ⅱ：歯科麻酔学

ライター長：口腔顎顔面再建学講座（歯科麻酔学分野） 筑田 真未 講師

## 1. 教育成果（アウトカム）

歯科麻酔臨床全般における実践的な知識、態度、技能を習得することで、口腔外科手術の全身麻酔、歯科治療時の静脈内鎮静法、外来における疼痛管理症例の管理を理解する。

## 2. 到達目標（SB0s）

- ① バイタルサインについて説明できる。
- ② バイタルサインの測定・評価ができる。
- ③ 生体情報モニタの操作ができる。
- ④ 全身麻酔の術前管理について説明できる。
- ⑤ 患者の全身状態について評価できる。
- ⑥ 麻酔計画について説明できる。
- ⑦ 全身麻酔の導入について説明できる。
- ⑧ 全身麻酔の維持について説明できる。
- ⑨ 全身麻酔の覚醒について説明できる。
- ⑩ 全身麻酔の術中管理について説明できる。
- ⑪ 全身麻酔の介助ができる。
- ⑫ 全身麻酔の術後管理について説明できる。
- ⑬ 静脈内鎮静法について説明できる。
- ⑭ 静脈内鎮静法の介助ができる。
- ⑮ 顎・顔面・口腔領域の疼痛治療について説明できる。

## コア・カリキュラム番号

D-1-1、D-1-2、D-2-3、E-1-2、E-1-3、E-2-3

## 3. 実習内容

- 1) 日程：歯科医療センター（内丸）にて3日間（月・水・木）の配属実習  
附属病院（矢巾）にて1日（金）の配属実習
- 2) 全身麻酔・静脈内鎮静法・疼痛治療症例  
附属病院（矢巾）1日配属時に、全身麻酔症例の見学・介助実習を行う。  
歯科医療センター（内丸）の配属実習期間に、全身麻酔術前診察、静脈内鎮静法、疼痛治療症例の見学・介助実習を行う。
- 3) 症例検討会に参加 金曜日午後  
見学に入る全身麻酔症例について理解を深める。
- 4) レポート  
配属期間中に、見学に入る症例についての課題を提出
- 5) 口頭試問  
提出したレポート内容についての口頭試問

#### 6) その他

配属期間内の症例が極端に少ない場合、再配属や白枠を利用した症例の充当がある。

### 4. 知識向上施策

全身麻酔、静脈内鎮静、ペインクリニック見学実習が主体となる。

配属期間中に、近年の国家試験問題を実際に解きながら解説することにより、臨床実習で得た学びをより深い知識として定着させる。

国家試験で正答率の低い臨床実地問題の解説を通して、歯科麻酔学の臨床実地問題の正答率向上を図る。

### 5. 実習にあたっての注意事項

対応時間： 8時30分～17時

対応時間内に外来または医局へ訪問

### 6. 評価方法

SBOs	目的	対象	評価者	時期	方法
①～⑪	形成的評価 総括的評価	臨床実習生	教員	配属期間	レポート 口頭試問
⑫、⑬	形成的評価 総括的評価	臨床実習生	教員	配属期間	レポート 口頭試問
⑭	形成的評価 総括的評価	臨床実習生	教員	配属期間	レポート 口頭試問
⑮	形成的評価 総括的評価	臨床実習生	教員	配属期間	レポート 口頭試問

### 7. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について35点満点で評価する。

- 1) レポート課題 15点
- 2) 口頭試問 20点

## 8. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	佐藤 健一 筑田 真未	佐藤 健一 坂野上 和奏	筑田 真未 佐藤 州	筑田 真未 坂野上 和奏	佐藤 健一 筑田 真未	佐藤 健一 筑田 真未 坂野上 和奏 佐藤 州
午後	佐藤 健一 筑田 真未	佐藤 健一 坂野上 和奏	筑田 真未 坂野上 和奏	筑田 真未 坂野上 和奏	佐藤 健一 筑田 真未	

# 臨床実習Ⅱ：歯科放射線学

ライター長：口腔顎顔面再建学講座（歯科放射線学分野）高橋 徳明 講師

## 1. 教育成果（アウトカム）

放射線関連の検査種、方法、手技を理解、修得し基本となる正常像の読影ならびに疾患の弁別に必要な技量、読影能力を学修し鑑別診断ができる。

（関連するディプロマポリシー：1, 2, 3, 4, 6）

## 2. 到達目標（SBOs）

- ① 口内法撮影の手技（二等分法と平行法、正放線投影と偏心投影、咬翼法、咬合法）を実施できる。また、X線の性質を理解し口内法撮影で起こりうる失敗とその原因について説明できる。
- ② 写真処理（現像、定着、水洗、乾燥）について理解し、自動現像機による写真処理が実施できる。また、CCD、IPによるデジタルエックス線撮影の手技を理解、実施し、画像表示やデンタルマッピング（14枚法）の方法を理解、実施できる。
- ③ CBCT, MDCT, MRIの撮影方法、表示条件、断層像を理解し、正常解剖像を説明できる。また、CBCT画像においてDental MPR画像の再構成を実施できる。
- ④ CBCT, MDCT, MRI、核医学検査(RI)、超音波検査(US)における画像形成原理と検査の適応について説明できる。
- ⑤ パノラマX線撮影を教員の指導のもと実施できる。また、パノラマX線撮影で起こりうる失敗とその原因について説明できる。
- ⑥ 様々な放射線検査の画像所見をもとに鑑別診断を列挙できる。
- ⑦ 疾患別に特徴的な画像所見を列挙できる。
- ⑧ 鑑別診断を行う上で必要となる画像診断法を選択できる。

## コア・カリキュラム番号

E-2-5-1, 2, 3, 4

## 3. 実習内容

### 臨床実習Ⅱ配属

事前学習内容をwebclass上に提示するので学習内容をレポートし、Webで提出、実習時に持参する。提出は実習の前週までに行うこととする。

内容の提示は臨床実習Ⅰ開始後に行う。

### 臨床実習Ⅱ講義

講義は後期配属時に予定する。口腔外科、歯科麻酔科、歯科放射線科の各ライターが交代で講義を担当するが、他配属状況やミニマムケースの進行状況を考慮し参加学生数が変動する。場所は歯科放射線実習室あるいは暗室を予定する。

1) **口内法撮影実習** (歯科放射線学分野第1臨床実習室 117号室および外来)

実習室

- ① シミュレーターにおいて口内法デンタルX線撮影の流れ、方法を確認する(ミニマムケースの設定は無いが、その後の相互撮影実習での成果にかかわるためすべての部位で確認すること)。
- ② 院内生相互で14枚法によるデンタル撮影(**片側8枚の撮影がミニマムケース**)および**咬翼法撮影および咬合法撮影(それぞれ1枚がミニマムケース)**を実施する。実習は2名一組を基本とする。配属奇数名の場合は3名とする。

外来自験

- ③ 外来にて教員の指導のもと**自験患者のデンタル撮影**を行う(ミニマムは1枚)。
- ④ 相互、自験撮影のオーバーケースはデンタル写真1枚につき2点を加算する。
- ⑤ **口内法撮影評価試験**を実習後期(白桦)に行う(2人あるいは3人でそれぞれ2枚撮影を行い評価)。80点以上(100点満点)を合格とする。③にて**自験患者撮影を2枚以上行った場合は口内法撮影試験免除**とする。

2) 施設見学実習 (臨床実習II配属)

- ① CBCT、MDCT、MRI、核医学検査(RI)、超音波検査(US)のうち矢巾内の施設については動画学習にて振り替える。
- ② 実習後に **webclass 上で課題提示された内容について「見学実習レポート」を作成し、指示された日時までに webclass を使い提出**する。

3) 読影実習 (歯科放射線学分野第2臨床実習室 120号室) (**臨床実習I、II配属**)

- ① パノラマエックス線写真をはじめとする口外法単純エックス線撮影の画像を観察し所見を読影し理解する。**(臨床実習Iから引き続き)**
- ② CBCT、CT撮影、MRI撮像の原理および撮影された画像の表示条件、断層像を理解する。**(臨床実習Iから引き続き)**
- ③ CTの水平断、冠状断写真(各2枚)とDental MPR画像を観察、トレースし解剖学的構造を説明する。**(臨床実習Iから引き続き)**
- ④ 読影実習では顎顔面口腔領域疾患の各種画像を読影し、所見を適切に理解した上で診断名と鑑別診断名を列挙する。また、症例の概要と診断に至った理由を教員に説明する。
- ⑤ 読影実習は15症例(典型例穴埋め式5例、自由記載10例)をミニマムリクワイアメントとする。**(臨床実習II配属)**
- ⑥ 16症例目以降はオーバーケースとして1症例につき2点を加算する。**(臨床実習II)**
- ⑦ 読影実習のミニマムリクワイアメント終了後、総括的評価として読影評価試験を行う。読影評価試験は臨床実習Iの正常エックス線解剖と臨床実習IIの疾患読影の内容で実施する。読影評価試験(配点20点)では80%を合格点とする。
- ⑧ 「胸部エックス線写真の基本」は配属時の金曜午前の枠で教授よりレクチャーを受ける。**(臨床実習II配属)**

※**読影実習のオーバーケースについては、多く実施することによって臨床実地問題の読影能力を修得することが可能となるため、多くのオーバーケースを実施できるように努力すること。**

①) 胸部エックス線レクチャー（歯科放射線学分野第2臨床実習室120号室）

- ① 配属金曜日の午前中の実習とする。
- ② 実習開始時間は9:00とする（8:55に出席の確認を行う）。
- ③ **実習中の中座は原則認めない。**

#### 4. 実習にあたっての注意事項

- ・ 口内法撮影実習、疾患読影実習を受ける学生は**ケーシー着用のうえ午前は8:50、午後13:30**に歯科放射線科実習室（120号室）に集合する。実習室においては長白衣の持参、着用は可とする。
- ・ 疾患読影実習には筆記用具、教科書、アトラス等の参考書を持参すること。
- ・ **胸部エックス線写真の基本については原則として中座を認めないものとする。**
- ・ ライターの対応時間は基本的に臨床実習時間内（8時30分～17時）としますが、17時以降に対応が必要な場合は事前にライターにアポイントをし、日時を協議する。アポイントは直接ライターに面会して行うことを原則とするが、外勤等で不在の場合にはライター長に相談する。アポイントは医局、外来、実習室いずれにおいても実習時間内であれば可とし、即時に対応できるように配慮しますが、暫時待ち時間が生じる可能性もあります。

#### 5. 学習方略：第5学年臨床実習学生を対象

SBOs	種類	人的資源	物的資源	時間	備考
①、③、 ④、⑤、 ⑦	相互実習、自験	担当教員 学 生	放射線実習室 外来診療室 教科書、実習書	診療時間内	
②、⑥	見 学	担当教員 学 生	外来診療、検査室 実習書	診療時間内	

## 6. 評価方法

SBOs	目的	対象	評価者	時期	方法
①、③、 ④、⑤	総括的評価 客観的評価	知識 技能 態度	担当教員 診療放射線技師	実習前期を中心として 撮影評価試験は後期	・観察記録 ・事前学習 ・口頭試問
⑦	総括的評価 客観的評価	知識 技能 態度	担当教員	実習すべての時期を通して行うが、読影評価試験はミニマム達成後に行う。	・観察記録
②、⑥	形成的評価	知識	担当教員	実習前期	・レポート提出、 評価 ・口頭試問

## 7. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について 35 点満点で評価する。

- 1) 口内法撮影試験(実技試験 10 点)
- 2) 正常解剖読影試験(口頭試問 10 点)
- 3) 疾患読影試験(口頭試問 15 点)

## 8. 実習担当者

臨床実習(Ⅱ)・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	高橋 徳明 金森 尚城					
午後	高橋 徳明 金森 尚城					

# 臨床実習Ⅱ：歯科矯正学

ライター長： 口腔保健育成学講座（歯科矯正学分野） 菊池 恵美子 助教

## 1. 教育成果（アウトカム）

不正咬合の診察、検査、分析や矯正装置の知識を習得することで矯正歯科治療における治療計画の立案ならびに患者への説明ができる。

## 2. 到達目標（SBOs）

### 1) 担当患者の見学、介補、実技実習

- ① 患者の矯正歯科治療の流れを理解し、説明できる。
- ② 患者に適確な診療を実施できる。
- ③ 患者の資料の分析結果を説明できる。
- ④ 診療に必要な器材を準備できる。
- ⑤ 矯正用器械・器具の使用方法について説明できる。
- ⑥ 矯正装置の使用方法について説明できる。
- ⑦ 矯正歯科治療の概略について説明できる。
- ⑧ 矯正歯科治療中の患者のブラッシング指導が実施できる。

### 2) 症例検討会の参加

- ① 症例の概略を説明できる。
- ② 症例の資料の分析結果を説明できる。
- ③ 症例の診断と予後判定を説明できる。
- ④ 診断に基づいた治療計画を説明できる。
- ⑤ 上記の項目について質疑応答ができる。

### 3) 到達度試験

- ① 頭部エックス線規格写真の計測点について理解し、説明できる。
- ② 頭部エックス線規格写真の計測平面、計測項目を理解し、説明できる。

### 4) 小テスト・口頭試問

- ① ・顎顔面、歯列と咬合の発育と全身成長の関わりについて説明できる。  
・正常咬合の概念と成立の条件、不正咬合の種類、分類と原因について説明できる。
- ② ・不正咬合の診療、検査、分析について説明できる。  
・矯正用材料とその特性、矯正用器械器具、装置について説明できる。
- ③ ・矯正治療の診断、治療計画の立案について説明できる。  
・矯正力と生体反応、固定について説明できる。
- ④ ・代表的な不正咬合の治療法について説明できる。  
・保定、矯正治療に伴う偶発症について説明できる。

## コア・カリキュラム番号

D-2-1-1, D-2-2, D-5-5, E-1-1-2~5, E-2-1-1, E-2-2-1, 4, 6, E-5-2-3, E-5-4

### 3. 実習内容

※集合時間：(午前)8:30、(午後)13:30

#### 1) 担当患者の診療見学、介補、実技実習

- ・下記の15ケースの処置内容の提出を必須とする。

(1) 混合歯列期症例（機能的矯正装置、機械的矯正装置、顎外固定装置）

**5ケース（バンドを用いた装置の症例を最低1ケース含むこと。）**

(2) 成人矯正症例

**4ケース（バンドを用いた加强固定装置、歯科矯正用アンカースクリューを用いた症例をそれぞれ最低1ケース含むこと。）**

(3) 顎変形症症例

**3ケース（術前矯正治療時の症例を最低1ケース含むこと。）**

(4) 口唇口蓋裂症例

**2ケース（乳幼児期、学童期から成人期の症例をそれぞれ1ケースずつ。）**

(5) 睡眠時無呼吸症候群症例

**1ケース**

- ・診療後、処置内容記録を1週間以内に提出し、指導教員とショート・ディスカッションを行う。必要に応じてレポートを課す。
- ・実技実習として学生の習熟度に応じて、診療前の器械・器具の準備及び後片付け、診療内容、治療経過の説明、装置使用時の注意事項の説明、ブラッシング指導、ブラケット周囲のクリーニング、診療の介補を実施し、適切な実技の実施がなされたと指導教員が判断した際にケースとして認める(最低10ケース)。

#### 2) 症例検討会の参加

- ・最低1回

・日 時：木曜日 17:10 開始

・場 所：歯学部 4F 第1講義室

(変更もあり得るため各自確認すること)

症例検討会参加予約表(外来)に参加日を記入し予約すること。

#### 3) 到達度試験

- ・1回

・日 時：配属期間中に行う。

① 頭部エックス線規格写真の計測点

② 頭部エックス線規格写真の計測平面・計測項目

③ Tweedの分析

- ・90%以上の正解率で合格とし、合格点に満たないものは再試験とする。

#### 4) 小テスト

- ・日 時：配属時に行う。
  - ① ・顎顔面、歯列と咬合の発育と全身成長の関わり
    - ・正常咬合の概念と成立の条件、不正咬合の種類、分類と原因
  - ② ・不正咬合の診察・検査、分析
    - ・矯正用材料とその特性、矯正用器械器具、装置（製作法を含む）
  - ③ ・矯正歯科治療における診断および治療計画の立案
    - ・矯正力と生体反応、固定
  - ④ ・代表的な不正咬合の治療法
    - ・保定、矯正歯科治療に伴う偶発症
- 90%以上の正解率で合格とする。小テストが合格点に満たないものには再試験とする。

#### 5) 講 義

矯正装置及び器具の基本的な知識を問う。

歯科医師国家試験の臨床実地問題対策を行う。

#### 4. 実習にあたっての注意事項

- ・教員の対応可能時間についてはオフィスアワーを確認し、必要に応じてアポイントを取ること。
- ・常に清潔な身だしなみと服装を心がける。臨床実習にふさわしくないと判断した場合、実習を中止する場合もあるので十分に注意する。
- ・矯正歯科診療室（診療室）への入退室時は受付からではなく、**常に診療室横の出入り口を使用すること。**
- ・**診療室で患者を待つ場合、出入り口脇のファイルキャビネット前に整列して待機すること。**
- ・持参した実習帳等は、出入り口正面キャビネットに設けた専用棚を使用し、見学時には両手を自由な状態にしておくこと。
- ・ユニットの診療準備、患者の誘導、見学、介補、後片づけ等は、必ず指導教員あるいは担当医の指示に従うこと。
- ・実習時間内に無許可で診療室を離れた場合は、欠席扱いにすることがある。
- ・指導教員あるいは担当医の指示なしに患者のファイルやエックス線写真、その他の資料を勝手に閲覧したり診療室から持ち出してはならない。
- ・**守秘義務を遵守すること。**
- ・**実習日から1週間以内**に処置内容を記載し、指導教員の評価を受けること。  
正当な理由無く遅れた場合には、実習の回数に算定しない。

## 5. 矯正歯科における臨床実習の評価法

- 1) 小テストならびに到達度試験により知識を評価する。
- 2) 最終評価として患者の口腔内、顎顔面を診査し、患者および保護者に現状と今後の治療方針についての説明を OSCE 形式で評価する。

## 6. 評価方法

SB0s	目的	対象	評価者	時期	方法
1) ①～⑧	形成的評価 総括的評価	知識・技能・態度	指導教員	自験前後	レポート 口頭試問
1) ②④⑤⑧	総括的評価	知識・技能・態度	指導教員	自験後	実技技能試験 口頭試問
2) ①～⑤	形成的評価 総括的評価	知識・態度	指導教員	症例検討会 参加後	レポート 口頭試問
3) ①②	総括的評価	知識	指導教員	実習期間中	到達度試験 レポート
4) ①～④	総括的評価	知識	指導教員	実習期間中	小テスト 口頭試問 レポート

## 7. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について 35 点満点で評価する。

- 1) 診療見学、介補、実技実習における習熟度およびオーバーケース
- 2) 小テストの試験結果
- 3) 到達度試験の試験結果

## 8. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法
午後	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 間山 寿代 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	

# 臨床実習Ⅱ：小児歯科学

ライター長：口腔保健育成学講座（小児歯科学・障害者歯科学分野）齊藤 桂子 助教

## 1. 教育成果（アウトカム）

小児歯科診療に必要な診査、診断、治療計画、歯科的対応、処置法、口腔管理の手順について基本的な知識、技術および態度を修得することで小児歯科診療をスムーズに行えるようになる。

## 2. 到達目標（SBOs）

### 1) 外来実習

- ① 患児の確認・診療室への誘導ができる。
- ② 小児の口腔内診査の項目を実施できる。
- ③ 歯列、咬合および歯の発育と異常が理解できる。
- ④ 治療の準備ができ、選択した器材について説明することができる。
- ⑤ 治療の手順について理解することができ、介助ができる。
- ⑥ 小児または保護者に口腔衛生指導を実施できる。
- ⑦ フッ化物塗布を実施できる。
- ⑧ 予防填塞を説明することができる。
- ⑨ 小児または保護者に治療後の説明（注意点なども含む）や予後について説明ができる。
- ⑩ 小児歯科三角を説明できる。
- ⑪ 小児患者への歯科的対応ができる。
- ⑫ ラポールの形成について説明ができる。
- ⑬ 見学内容を迅速に学生用診療録に記載することができる。

### 2) 診断・治療計画の立案

- ① 齲蝕治療に関連するデンタルエックス線画像の読影ができる。
- ② 診断し、治療法を選択し説明できる。
- ③ 治療に用いる薬剤・材料を選択し、その根拠を説明できる。
- ④ ブロック治療を説明できる。
- ⑤ 適切な治療順序を説明できる。
- ⑥ 治療後の口腔衛生管理を説明できる。
- ⑦ 定期健診について説明できる。
- ⑧ 小児の歯科的対応法について説明できる。

### 3) 到達度試験・習熟度試験・口頭試問

- ① 到達度試験・習熟度試験に合格できる。
- ② 口頭試問に合格できる。

## コア・カリキュラム番号

C-2-1, 2, 3, 4, 5, 6、D-2-1, 2、D-5-6、E-1-1、E-2-1-2、E-5-5

### 3. 実習内容

#### 1) 外来実習

実習形態：配属実習（日程については各自で表参照すること）

集合場所：小児歯科外来

集合時間：（午前）8時30分 （午後）13時00分

#### 2) 実習内容：下記について実習を行う。

##### 1) 外来実習

##### ① 小児の治療

「齲蝕治療」：介助1症例、見学3症例

「器材準備」：介助4症例

「定期健診」：自験1症例、見学4症例

「ブラッシング指導」「齲蝕予防処置」：自験2症例、見学4症例

「その他」（上記に当てはまらない症例）：見学3症例

について、ライターの元で見学を行い、学生用診療録に必要事項を記載しライターの検印を受けること（目安2週間以内）。

② 自験症例については、各自に患児の配属を行うので、担当する患児の状態を電子カルテ等で確認し、歯科的対応法を適時用いて、対応すること。

##### 2) 課題

① **リーフレット作成**：小児患者向けの歯磨き指導用**リーフレット作成**する。  
はがきサイズの専用紙に手書きあるいはPC等を用いて作成してもらうので、**後半配属日初日までに作成しておくこと。**

② **到達度試験**：前半配属期間初日に到達度試験を実施する。  
**試験の範囲は、臨床実習Ⅰにて提示するので確認すること。**

③ **レポート**：課題に対するレポートを作成すること。  
期限は、**配属後半初日まで**とする。

《レポートの内容》

1. 小児の成長・発達
2. 歯の発育・萌出の異常
3. 小児に対する歯科的対応法
4. 歯内療法（乳歯・幼若永久歯）
5. 保隙
6. 小児の外傷
7. 小児歯科領域でみられる全身疾患
8. 発達障害（自閉症スペクトラム障害など）

以上の9項目から3項目選択し、1項目A4レポート用紙3枚以上にまとめること。なお、レポートは、諸事情がない限り、手書きで記載すること。

### 3) PBL

臨床実習期間中の知識向上施策として、PBL形式の講義・演習を2回実施する。

実施場所：小児歯科医局

持参物：教科書・実習書・問題集・参考書・筆記用具等

### 4) 形成的評価

形成的評価を行うため、**習熟度試験**を行う

習熟度試験では、PBLにて学修した範囲について試験を行う。なお、合格点は80%以上とする。

### 5) 総括的評価

臨床実習の総括的評価として、**口頭試問**を配属最終日に行う。

口頭試問の範囲は、レポート作成をしている部分を中心に、臨床実習で学修した範囲全般とする。

## 4. 実習にあたっての注意事項

### ・ 処置内容等のチェック・学生対応時間：診療時間終了後～19：00

(ただし、講義や出張等で不在の場合もあるので、緊急時はメールを送付すること)

- ・ 配属期間中に、処置内容等の記録はライターに提出をすること
- ・ 配属期間中に他科の実習で抜ける場合には、ライターに事前に伝えること。
- ・ 遅刻・欠席等する場合には、連絡をすること
- ・ 患児とその保護者に好印象を与えるような服装、髪形、態度で実習に臨むこと。
- ・ 実習に臨む際には、事前学修を必ず行い、知識の確認をしておくこと

## 5. 評価方法

SB0s	目的	対象	評価者	時期	方法
1) ①	形成的評価	態度	教員	臨床実習中	観察記録
1) ②～⑬	形成的評価	技能・態度	教員	臨床実習中	観察記録
1) ②～⑬	総括的評価	知識	教員	臨床実習中	口頭試問
1) ①～⑬	形成的評価	技能・態度	教員	臨床実習中	観察記録 自験技能試験
2) ①～⑧	形成的評価	知識・態度	教員	実習期間中	口頭試問 観察記録
3) ①	総括的評価	知識	教員	実習期間中	試験
3) ②	総括的評価	知識	教員	実習期間中	口頭試問
1) ～ 3)	形成的評価	知識	教員	後期試験	多肢選択試験

## 6. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について 35 点満点で評価する。

- 1) 配属実習中の外来での積極性
- 2) 配属実習時に提出する課題の提出状況と内容
- 3) 習熟度テスト・口頭試問の評価

## 7. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	齊藤 桂子					
午後	齊藤 桂子					

# 臨床実習Ⅱ：障害者歯科学

ライター長：口腔保健育成学講座（小児歯科学・障害者歯科学分野） 菊池 和子 講師

## 1. 教育成果（アウトカム）

障害者歯科の臨床を体験することにより、障害者における口腔内の疾病の予防および治療について具体的に述べることができる。

## 2. 到達目標（SB0s）

定期診査、口腔衛生指導

- ① 障害者の医科学的特徴・歯科学的特徴を理解し安全面に配慮しながら、ユニットへの誘導や移乗の介助ができる。
- ② 診査・指導中の行動調整法の理論を理解し、円滑に進めることができる。
- ③ 手順を理解し、必要な準備ができる。
- ④ 口唇・口腔内状態の診察ができる。
- ⑤ 口腔衛生指導ができる。
- ⑥ 分かりやすい言葉使いと聞き取りやすい話し方ができる。
- ⑦ 患者の不快感に配慮した操作や声かけができる。

## コア・カリキュラム番号

D-5-8-1～5

E-5-7-1, 2

## 3. 実習内容

- 1) 前期 定期診査 3日間で3症例、レポート1症例
- 2) 後期 定期診査 3日間で3症例、レポート1症例  
配属1日目に習熟度試験  
配属2日目あるいは3日目に口頭試問
- 3) 配属日程中に講義（学習時間を含む）を行う。前期 1回、後期 1回
- 4) レポート提出について  
配属実習中の提出が望ましい。用紙はA4手書き。  
遅くとも前期と後期の配属実習後、それぞれ2週間以内に提出。

## 4. 実習にあたっての注意事項

- 1) 患者の誤解や恐怖を招かぬよう、言動や行動に注意を払う。
- 2) 患者やその家族と接するときには、障害を有する者とその家族の気持ちを十分に思いやる。
- 3) 対応可能な時間 月・水曜日 16:00～18:00

## 5. 評価方法

SB0s	目的	対象者	評価者	時期	方法
①～⑦	形成的	技能・態度	教員	臨床実習中	観察記録
①～⑦	形成的	知識	教員	臨床実習中	形成的評価 レポート
①～⑦	総括的	知識	教員	臨床実習中	総括的評価 習熟度試験 口頭試問
①～⑦	総括的	知識	教員	前期・後期試験	多肢選択試験

## 6. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について35点満点で評価する。

- 1) 習熟度試験と口頭試問の結果をもとに評価を行う

## 7. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	熊谷 美保 菊池 和子	熊谷 美保 菊池 和子	菊池 和子	菊池 和子	熊谷 美保 菊池 和子	熊谷 美保 菊池 和子
午後	熊谷 美保 菊池 和子	熊谷 美保 菊池 和子	熊谷 美保 菊池 和子	菊池 和子	菊池 和子	

# 臨床実習Ⅱ：内科学

ライター長：口腔医学講座（関連医学分野） 千葉 俊美 教授

## 1. 教育成果（アウトカム）

内科における診断アプローチと治療戦略の立て方を理解する。また、歯科医師として必要な診察技術と内科救急の基礎的手技を修得する。

## 2. 到達目標（SBOs）

ユニット名 一般目標	到達目標
外来診察室において内 科的診察法と診断戦略 について理解する。 また、歯科医師として必 要な診察技術と内科救 急の身体所見の習得と 基礎的手技を修得する。	① 外来診察室において問診法および内科的診察法について説明できる。 ② 歯科医師として必要な診察技術の取得。 ・ バイタルサインについて説明できる。 ・ 脈拍、血圧測定、聴診（I音、II音）ができる。 ・ 頭頸部、胸腹部の身体的所見を説明できる。 ③ 自己の心電図所見を説明できる。 ④ 自己の血液検査、生化学、HBs抗原、HBs抗体所見について説明できる。 ⑤ 内科救急の身体所見の習得とBSLの手技（AEDなど）を説明できる。

## コア・カリキュラム番号

E-2

## 3. 実習内容

### ■実習概要

外来で脈拍、血圧測定、聴診（I音、II音）、頭頸部、胸腹部の身体的所見についての相互実習を行う。

### ■集合場所・時間：歯学部1階内科診療室・実習予定日の午後2時集合

☆問診法および歯科医師として必要な診察の実践（必須—\*実習加算点）

☆心電図記録（必須—\*実習加算点）

・実習1週間前の月曜日午後4時～5時

・標準12誘導心電図記録：本院循環機能検査室（2F）

☆自己採血（必須—\*実習加算点）

・実習の1週間前の月曜日 午後2時～4時 本院採血室に検査依頼書を持参

・採血場所：本院 採血室（2F）

・検査依頼書記入は、ガイドンスで説明する。

#### 4. 実習にあたっての注意事項

「指導教員への連絡方法、対応時間はオフィスアワーと同様」

#### 5. 評価方法

SBOs	目的	対象	評価者	時期	方法
①～⑤	形成的評価	知識 技能 態度	教員 (ライター)	実習時 *レポートのみ実習後	観察、口頭試問、 レポート
②、③	形成的評価	技能 態度	教員 (ライター)	実習時	観 察
④	形成的評価	知識 知識	教員 (ライター)	実習時	口頭試問
②、④	形成的評価	知識	教員	後期試験	臨床実習試験 (多肢選択試験)

#### 6. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について35点満点で評価する。

- 1) バイタルサインについて説明できる。聴診（I音、II音）ができる。頭頸部、胸腹部の身体的所見を説明できる。
- 2) 自己の心電図所見を説明できる。
- 3) 自己の血液検査、生化学、HBs抗原、HBs抗体所見について説明できる。

#### 7. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前						
午後	千葉 俊美					

# 臨床実習Ⅱ：臨床薬学

ライター長： 薬剤部 和久井 珠里 薬剤長

## 1. 教育成果（アウトカム）

医薬品の取り扱いに関する知識を整理し、医薬品の適正使用に必要な情報の収集方法を習得する。また処方箋を正しく作成することができ、有効かつ安全な薬物療法を行うための注意事項を認識できる。

## 2. 到達目標（SBOs）

- 1) 医薬品の取り扱い
  - ① 医薬品の分類、保管方法などを説明できる。
  - ② 法的規制のある医薬品（毒薬、劇薬、麻薬、向精神薬、特定生物由来製品など）の取扱いに係る規定について説明できる。
- 2) 医薬品情報
  - ① 医薬品添付文書の法的位置づけや記載事項について説明できる。
  - ② 医薬品に関する情報の入手方法を説明できる。
  - ③ 健康被害救済制度について説明できる。
- 3) 歯科繁用医薬品
  - ① 解熱鎮痛薬、抗生物質、口腔用剤など歯科領域で使用する主な医薬品について、種類や特徴などを説明できる。
  - ② 妊婦・授乳婦、小児、高齢者など特別な配慮が必要な患者において、薬剤の選択や投与方法に適切な対応ができる。
- 4) 処方箋の書き方
  - ① 処方箋の記載事項を説明できる。
  - ② 処方箋を正しく書くことができる。
  - ③ 電子カルテで処方オーダーができる。
- 5) チーム医療における薬剤師との関わり
  - ① 薬剤師の業務や役割について説明できる。
  - ② 歯科用院内製剤の種類と特徴を説明できる。
- 6) 歯科医師による服薬指導
  - ① 歯科専用医薬品の使用方法を説明できる。
  - ② 持参薬、お薬手帳の確認の要点を説明できる。
  - ③ 処方薬の効能・効果、用法・用量、使用上の注意を説明できる。

コア・カリキュラム番号

A-6、C-1-3、D-1-2-1、D-2-1

### 3. 実習内容

\*内丸 MC 薬剤部で1日間の実習を行う。

\*医薬品の取り扱い、医薬品情報、歯科繁用医薬品、処方箋の書き方・オーダの仕方、処方の薬剤選択について、スライドを用いた講義とシミュレーション実習を行う。

SB0s	種類	人的資源	物的資源		時期	備考
			場所	媒体		
1) ①～② 2) ①～③ 3) ①～②	講義	ライター 学生	薬剤部	実習書 スライド	臨床実習Ⅱ	1グループにつきライター 1名。
4) ①～③	講義 シミュレーション実習	ライター 学生	薬剤部	実習書 スライド 電子カルテ	臨床実習Ⅱ	
5) ①～②	講義 見学	ライター 学生	薬剤部	実習書 スライド	臨床実習Ⅱ	
6) ①～③	講義 シミュレーション実習	ライター 学生	薬剤部	実習書 患者用指導箋	臨床実習Ⅱ	

### 4. 実習にあたっての注意事項

\*対応時間 月～金曜日 8:30～17:00 (レポート提出、電話対応など)

\*ライターとの連絡方法 内線番号 2013

\*レポート提出先 地下1階薬剤部

### 5. 評価方法

SB0s	目的	対象	評価者	時期	方法
1) ①～② 2) ①～③ 3) ①～② 4) ①	形成的  総括的	知識 態度	ライター	臨床実習  臨床実習Ⅱ 実習後 1週間以内に提出	観察記録  レポート
4) ②～③	形成的	知識 技能	ライター	臨床実習Ⅱ	観察記録
5) ①～②	形成的	知識 態度	ライター	臨床実習Ⅱ	観察記録
6) ①～③	形成的	知識 技能 態度	ライター	臨床実習Ⅱ	観察記録
1)～6)	総括的	知識	ライター	臨床実習Ⅱ	到達度試験

## 6. 評価基準・配点等

臨床実習の到達度評価は以下の項目について 35 点満点で評価する。

- 1) レポート提出 5 点
- 2) 到達度試験 30 点

## 7. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月14日～2026年2月26日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前			和久井 珠里 牧口 礼			
午後			和久井 珠里 牧口 礼			

# 1. 総合歯科学

## (歯学教育部門)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法	備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数		
診療参加型実習	医療面接	80	10	8	0	0	0	0	医療面接の態度や技能、診療録の記載項目を担当ライターが評価する。	
	自験メンテナンス	50	10	5	0	0	0	0	メンテナンス時の態度、技能を担当ライターが評価する。	
ケースプレゼンテーション	発表	50	50	1	0	0	0	0	プレゼンテーションの内容、質疑応答の状況を考慮して担当教員が評価する。	
	予演会	20	10	2	0	0	0	0	プレゼンテーションの準備状況を考慮して担当教員が評価する。	
合計		200		16		0		0		

## 2. 予防歯科学

(予防歯科学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
定期口腔管理	硬組織検査の記録	6	2	3					
	硬組織検査の実施	6	4	1	2	1			
	PCR測定の実施	10	4	1	2	3			
	ブラッシング指導の実施	10	5	1	2	1	1	3	
	口腔ケアの実施	11	5	1	2	2	1	2	
	機械的歯面清掃の実施	15	5	2	2	2	1	1	
講義	前期) 講義	1					1	1	
	後期) 講義	1					1	1	
形成的評価	定期口腔管理レポート提出	5	5	1					
	周術期口腔管理レポート提出	15	15	1					
総括的評価	前期) 課題提出・試験	10	10	1					
	後期) 課題提出・試験	10	10	1					
合計		100		13		9		8	

### 3. 歯内治療学 4. 保存修復学

(う蝕治療学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
修復/歯内	ラバーダム	25	10	2	0	0	5	1	
	浸潤麻酔	10	5	1	0	0	5	1	
	直接修復	15	10	1	5	1	0	0	
	象牙質知覚過敏症	10	0	0	5	1	5	1	
	間接修復	10	5	2	0	0	0	0	
	歯髄疾患の診査	10	10	1	0	0	0	0	
	抜髄法・感染根管処置 (初回)	20	0	0	10	2	0	0	
	根管充填	10	0	0	10	1	0	0	
	根管拡大・根管形成	10	10	1	0	0	0	0	
総括的評価	その他の歯内ケース (口頭試問)	10	0	0	2	5	0	0	
	その他の修復ケース (口頭試問)	10	0	0	2	5	0	0	
形式的評価	臨床推論 (修復・歯内)	20	20	1	0	0	0	0	
周術期管理 矢巾病院	①周術期の見学、レポート	30	30	1	0	0	0	0	
	②カンファランス出席	10	10	1	0	0	0	0	
合計		200		11		15		3	

## 5. 歯周病学 (歯周療法学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
診査	口腔内写真・研究模型採得・咬合診査	5	5	1	5		0	0	ミニマムケースは、1回の診療につき、1つの小項目のみ認める。ミニマムケース以外の処置は全てオーバーケースとする。
	エックス線写真読影	5	5	1	5		0	0	
	歯周組織検査	5	5	1	5		0	0	
歯周基本治療	TBI	10	5	2	3		0	0	
	スケーリング(超音波)	10	5	2	3		0	0	
	SRP	10	5	2	5		0	0	
	PMTC	10	5	2	4		0	0	
	咬合(調整・固定)	5	5	1	5		0	0	
歯周外科治療	準備・介助	10	10	1	13		0	0	
PBL	歯周知識・技能問題解決	10	5	2					
形成的評価	習熟度試験(前期)	7	7	1					
総括的評価	習熟度試験(後期)	7	7	1	0	0	0	0	
自験技能試験		6	6	1	0	0	0	0	
合計		100		18		0		0	

オーバーケース点数 1回につき

## 6. 有床義歯補綴学

(有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
義歯外来自験実習	概形印象・精密印象 ・顎間関係記録・試適	6	6	1	0	0	0	0	有床義歯治療のい ずれかの自験を行 う。
	義歯調整	6	6	1	0	0	0	0	
技工操作	技工操作	5	5	1	0	0	0	0	義歯関連の技工を行う。
義歯外来介助 ・見学実習 (一部自験も含む)	検査・診断、 概形印象採得	8	0	0	0	0	4	2	義歯外来Aにて義歯 補綴治療の介助見 学を行う。
	精密印象採得	8	0	0	0	0	4	2	
	顎間関係の記録	12	0	0	0	0	4	3	
	ろう義歯試適	8	0	0	0	0	4	2	
	完成義歯の装着	8	0	0	0	0	4	2	
	義歯調整	12	0	0	0	0	4	3	
	義歯修理、フェイスボウ、その他の 補綴治療	8	0	0	0	0	4	2	
新患急患対応実習 (義歯外来A)	新患急患対応	4	0	0	0	0	2	2	急患見学半日×2
有床義歯学習	口頭試問、課題提出、学習	2	2	1					
形成的評価	有床義歯治療評価	3	3	1					
総括的評価	習熟度試験	10	10	1	0	0	0	0	
合計		100		6		0		18	

## 7. 冠橋義歯補綴学 (冠橋義歯・口腔インプラント学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		ミニマム検印		オーバーケース 検印(+10)		実習停止時	
			点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数						
中項目	小項目													
クラウン・ブリッジ治療	支台築造	10	0	0	5	2	0	0						
	支台歯形成	10	0	0	5	2	0	0						
	精密印象・咬合	10	0	0	5	2	0	0						
	暫間冠作製・調整	10	0	0	5	2	0	0						
	試適・装着	10	0	0	5	2	0	0						
外来見学	上記項目以外	4	0	0	0	0	4	1						
PBL	知識・技能問題解決	26	13	2	0	0	0	0						
形成的評価	支台歯形成（顎歯模型5本以上）	10	10	1	0	0	0	0						
総括的評価	レポート・口頭試問	10	10	1	0	0	0	0						
合計		100		4		10		1						

## 8. 口腔インプラント学

(冠橋義歯・口腔インプラント学分野)

実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		ミニマム ケース印 (日付)				備考
		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数					
インプラント一次手術 (骨移植、CTG、FGG)	20	0	0	0	0	10	2	/	/	/	/	
インプラント二次手術	10	0	0	0	0	10	1	/	/	/	/	
印象採得	10	0	0	0	0	10	1	/	/	/	/	
上部構造装着	10	0	0	0	0	10	1	/	/	/	/	
インプラントメンテナンス	10	0	0	0	0	10	1	/	/	/	/	
臨床習熟評価:印象採得 (形成的評価)	10	10	1	0	0	0	0	/	/	/	/	
臨床習熟評価:上部構造装着 (形成的評価)	10	10	1	0	0	0	0	/	/	/	/	
治療計画立案 (統括的評価)	10	10	1	0	0	0	0	/	/	/	/	
PBL:知識・技能問題解決 (講義・学習)	10	5	2	0	0	0	0	/	/	/	/	
合計	100		5		0		6					

## 9. 摂食嚥下・口腔リハビリテーション学

(有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
摂食嚥下機能 障害患者に 対する診療	姿勢調整	10	0	0	0	0	5	2	
	口腔内診査	10	0	0	0	0	5	2	
	スクリーニング検査	10	0	0	0	0	5	2	
	口腔機能低下症の検査	10	10	0	0	0	10	1	
嚥下内視鏡検査 嚥下造影検査	嚥下内視鏡の準備、操作	0	0	0	5	0	0	0	
	嚥下内視鏡検査（介助）	10	0	0	5	0	5	2	
	嚥下造影検査（介助）	0	0	0	0	0	10	0	
	摂食嚥下リハビリテーション計 画立案（PBL）	10	10	1	0	0	0	0	
直接訓練 間接訓練 専門的口腔ケア	間接訓練 口腔衛生管理 のいずれか	20	0	0	10	0	10	2	
	直接訓練	0	0	0	0	0	10	0	
形成的評価	口頭試問	10	10	1	0	0	0	0	
総括的評価	習熟度試験	10	10	1	0	0	0	0	
合計		100		3		0		11	

オーバーケース

# 10. 口腔外科学

## (口腔外科学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
医療面接・診察・説明	医療面接・診察（自験）	8	4	2	0	0	0	0	
	診療録の記載（自験）	8	4	2	0	0	0	0	
	拔牙についての説明（自験）	2	2	1	0	0	0	0	
普通拔牙	拔牙機材の準備（自験）	2	2	1	0	0	0	0	
	浸潤麻酔・拔牙操作（介助）	6	0	0	2	3	0	0	
	浸潤麻酔・拔牙操作（自験）	2	2	1	0	0	0	0	
	拔牙後の注意事項（自験）	6	2	3	0	0	0	0	
	拔牙後の処方（自験）	6	2	3	0	0	0	0	
	拔牙後の経過観察、処置（自験）	2	2	1	0	0	0	0	
外来小手術	器械器具の準備（自験）	3	2	1	0	0	1	1	
	器具の片づけ（自験）	6	2	3	0	0	0	0	
	機械器具のダブルチェック（自験）	7	2	3	0	0	1	1	
	手術の介助（介助）	8	0	0	2	3	2	1	
一般診療	粘膜疾患の診療	4	0	0	0	0	2	2	
	顎関節疾患の診療	4	0	0	0	0	2	2	
	教授の診療見学	1	0	0	0	0	1	1	山田教授 または 川井准教授
	講義	1	0	0	0	0	1	1	毎週月曜3階医局
病棟実習	術後回診（見学）	2	0	0	0	0	2	1	
	症例検討会（見学）	2	0	0	0	0	2	1	
	全身麻酔手術（見学）	8	0	0	0	0	2	4	
	頭頸部腫瘍センターの手術（見学）	4	0	0	0	0	4	1	大橋特任准教授 (不在時はライター長が承認)
形成的評価	レポート課題（全麻手術）（自験）	2	2	1	0	0	0	0	執刀医に提出
	レポート課題（外来）（自験）	2	2	1	0	0	0	0	木曜カンファランス後
総括的評価	教授の口頭試問	4	2	2	0	0	0	0	執刀医に提出
合計		100		25		6		16	

# 11. 歯科麻酔学

## (歯科麻酔学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
鎮静法	麻酔チャート記録	5	0	0	0	0	5	1	
	診療録記載	5	0	0	0	0	5	1	
	モニタ装着	5	0	0	0	0	5	1	
	点滴回路準備	5	0	0	0	0	5	1	
	術後指示	5	0	0	0	0	5	1	
全身麻酔	医療面接（病歴聴取）	5	0	0	0	0	5	1	
	診療録記載	5	0	0	0	0	5	1	
	術前指示	5	0	0	0	0	5	1	
	人工呼吸	5	0	0	0	0	5	1	
	喉頭展開	5	0	0	0	0	5	1	
疼痛治療症例	医療面接（病歴聴取）	5	0	0	0	0	5	1	
	清潔操作	5	0	0	0	0	5	1	
	星状神経節ブロック	5	0	0	0	0	5	1	
	トリガーポイント注射	5	0	0	0	0	5	1	
PBL	麻酔知識・技能問題解決	10	10	1	0	0	0	0	
形成的評価	レポート	10	10	1	0	0	0	0	
統括的評価	口頭試問	10	10	1	0	0	0	0	
合計		100		3		0		14	

## 12. 歯科放射線学

### (歯科放射線学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験(相互)		介助		見学		①形成的評価 ②総括的評価	備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数		
エックス線検査口内 法撮影	二等分法	16	2	8	0	0	0	0	①	
	咬翼法	2	2	1	0	0	0	0		
	咬合法	2	2	1	0	0	0	0		
	事前学習レポート	2	2	1	0	0	0	0		
	口内法撮影評価試験	10	10	1	0	0	0	0		
エックス線検査口外 法撮影	パノラマX線撮影	4	2	1	2	1	0	0		
	頭部エックス線規格撮影	2	0	0	0	0	2	1		
	顎関節撮影 (シュラー)	2	0	0	0	0	2	1		
	(オルビトラムス)	2	0	0	0	0	2	1		
	他単純エックス線撮影	2	0	0	0	0	2	1		
	胸部エックス線撮影	2	0	0	0	0	2	1		
胸部エックス線写真 の基本	放射線画像診断基礎、 胸部エックス線写真の基本	3	3	1	0	0	0	0	※CBCT再構成は 配属期間で行 う。	
エックスCT検査	CBCT	2	0	0	0	0	2	1		
	CBCT再構成	2	2	1	0	0	0	0		
	MDCT	2	0	0	0	0	2	1		
MR I 検査	造影、非造影	2	0	0	0	0	2	1		
核医学検査	骨、腫瘍シンチグラフィ	2	0	0	0	0	2	1		
超音波検査	頭頸部超音波検査	2	0	0	0	0	2	1		
施設見学レポート	事後レポート	4	4	1	0	0	0	0	①	
疾患読影	疾患読影 (典型例共通穴埋め式)	5	1	5	0	0	0	0	②	
	疾患読影	10	1	10	0	0	0	0		
臨床習熟評価	口頭試問	10	10	1	0	0	0	0	②	
画像診断	講義	10	5	2	—	—	—	—	②	
合計		100		34		1		10		

# 13. 歯科矯正学

## (歯科矯正学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自 験		介 助		見 学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
患者の見学・介助	患者の見学・介助	45	3	15	0	0	0	0	
実技実習	実技実施ケース	20	2	10	0	0	0	0	
症例検討会の参加	症例検討会	4	4	1	0	0	0	0	
総括的評価	到達度試験	5	5	1	0	0	0	0	
形成的評価	小テスト①	4	4	1	0	0	0	0	a. 顎顔面、歯列と咬合の発育と全身成長の関わり、b. 正常咬合の概念と成立の条件、不正咬合の種類、分類と原因
形成的評価	小テスト②	4	4	1	0	0	0	0	c. 不正咬合の診察・検査、分析、d. 矯正用材料とその特性、矯正用器械器具、装置（製作法を含む）
形成的評価	小テスト③	4	4	1	0	0	0	0	e. 矯正治療における抜歯、診断、治療計画の立案、f. 矯正力と生体反応、固定
形成的評価	小テスト④	4	4	1	0	0	0	0	g. 代表的な不正咬合の治療法、h. 保定、矯正治療に伴う偶発症
講義	講義	10	5	2	0	0	0	0	
合計		100		33		0		0	

# 14. 小児歯科学

(小児歯科学・障害者歯科学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
小児の治療	齲蝕治療	9	5	0	3	1	2	3	定期健診・ブラッシング指導・齲蝕予防については同一の患児のケースも可
	器材準備	12	5	0	3	4	2	0	
	定期健診	11	3	1	2	0	2	4	
	ブラッシング指導	14	3	2	2	0	2	4	
	齲蝕予防処置	14	3	2	2	0	2	4	
	その他	6	5	0	3	0	2	3	
小児歯科課題	リーフレット作成	5	5	1	0	0	0	0	後半、配属時まで に作成
	レポート	5	5	1	0	0	0	0	
	到達度試験	5	5	1	0	0	0	0	WebClass使用
PBL	小児歯科知識・技能問題解決	10	5	2	0	0	0	0	2回実施
形成的評価	習熟度試験	4	4	1	0	0	0	0	後半配属時、合格 するまで
総括的評価	口頭試問	5	5	1	0	0	0	0	後半配属時 実施
合計		100		12		5		18	

オーバーケース点数 1回につき

# 15. 障害者歯科学

(小児歯科学・障害者歯科学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		実習停止時
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
定期診査	口唇・口腔内の診察	30	5	6	0	0	0	0	スライド説明 および 相互実習
	口腔衛生指導	30	5	6	0	0	0	0	
	口腔疾患予防処置	6	0	0	3	2	0	0	
	移乗	6	0	0	3	2	0	0	
講義	講義 (学習時間)	8	4	2	0	0	0	0	
形成的評価	レポート提出 (定期診査症例)	10	5	2	0	0	0	0	
総括的評価	習熟度試験	5	5	1	0	0	0	0	
総括的評価	口頭試問	5	5	1	0	0	0	0	
合計		100		18		4		0	

# 16. 内科学

(関連医学分野)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
内科的診察	血圧測定の方法と臨床的意義の説明	10	10	1	0	0	0	0	
	聴診のI音、II音の聴診と触診	10	10	1	0	0	0	0	
心電図記録 および判読	自己の12誘導心電図の所見	10	10	1	0	0	0	0	
	代表的不整脈（心室細動、心静止、 心房細動）	10	10	1	0	0	0	0	
採血と検査の意義	血液検査より貧血と血液疾患の説明 ができる。	5	5	1	0	0	0	0	
	生化学検査より腎臓疾患、肝臓疾患、糖尿 病、メタボリック症候群の説明ができる。	10	10	1	0	0	0	0	
	感染症－ウイルス肝炎の診断を対応	5	5	1	0	0	0	0	
実習事項に関する口答 試問		20	20	1	0	0	0	0	
実習事項に関するレ ポート		20	20	1	0	0	0	0	
合計		100		9		0		0	

# 17.臨床薬学

## (薬剤部)

実習項目		ミニマム 合計	自験		介助		見学		備考
中項目	小項目		点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
医薬品の取り扱い	医薬品に関する基礎知識	5	0	0	0	0	5	1	
	法的規制のある医薬品	5	0	0	0	0	5	1	
医薬品情報	添付文書	5	0	0	0	0	5	1	
	医薬品情報の入手	5	0	0	0	0	5	1	
	健康被害救済制度	5	0	0	0	0	5	1	
歯科常用医薬品	歯科領域で使用する薬剤	10	0	0	0	0	10	1	
	高齢者、妊産婦・授乳婦、 小児への投与	5	0	0	0	0	5	1	
処方箋の書き方	処方箋の記載事項	5	0	0	0	0	5	1	
	処方箋の作成	10	10	1	0	0	0	0	
	電子カルテでの処方オーダー	10	10	1	0	0	0	0	
チーム医療における 薬剤師との関わり	薬剤師の役割	5	0	0	0	0	5	1	
	歯科用院内製剤	5	0	0	0	0	5	1	
歯科医師による 服薬指導	歯科専用医薬品	5	0	0	0	0	5	1	
	持参薬・お薬手帳の確認	10	10	1	0	0	0	0	
	処方薬の説明	10	10	1	0	0	0	0	
合計		100		4		0		11	

## 57期生 臨床実習 実施要領

### 1. 実習期間

臨床実習Ⅰオリエンテーション…… 3月28日

実習期間…… 3月31日～4月9日（8日間）

臨床実習Ⅱオリエンテーション…… 4月11日

実習期間…… 4月14日～2月26日（147日間）

総実習日数……（155日）

### 2. 実習科目と担当診療科

- ・実習科目は17科目とする。
- ・担当診療科は別紙の通りとする。（別紙1）

### 3. 実習形式

#### 1) 実習Ⅰ

- ・摂食嚥下・口腔リハビリテーション学、内科学、臨床薬学を除く14科目で行う。
- ・実習Ⅰは班別ローテート方式とする。
- スケジュールは別紙の通り。（57期生臨床実習Ⅰ日程表による）※調整中

#### 2) 実習Ⅱ

- ・17科目で行う。
- ・実習Ⅱは完全配属方式とする。
- 実習の科目、班分け、日程は別紙の通り。（57期生スケジュール一覧表による）  
※調整中
- ・火曜日は、総合講義Ⅰ・医科学がある場合は、臨床実習は行わない。
- ・第1・4土曜日は、総合講義Ⅰ（復習試験等）がある場合、もしくは学事予定入った場合、臨床実習は行わない。

### 4. リクアイアメント

総合歯科学200点、その他の科目を各100点とし、17科目合計1800点とする。

### 5. 修了要件および評価方法

#### 1) 修了要件

下記の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の要件を満たしていることを臨床実習修了の要件とする。

(1) 全科目のリクアイアメントを100%以上達成していること。

- ・前期リクアイアメント：原則として7月末の時点で全科目合計650点を達成すること。

- ・中期リクアイアメント：原則として12月末の時点で全科目合計1500点を達成すること。  
上記が達成できない場合は夏期、冬期休暇中の補習等を課す場合がある)
- (2) 臨床実習開始日(2025年4月11日)から臨床実習終了日(2026年2月26日)までの臨床実習の全日程において、4/5以上出席していること。
- (3) 臨床実習後臨床能力試験「一斉技能試験」および「臨床実地試験」に合格していること。
- (4) 介護体験実習および地域医療体験実習を修了していること。
- (5) 岩手医科大学附属病院総合安全教育プログラム研修を2回以上受講していること。

## 2) 評価法

### (1) 基礎点

- ① 修了要件の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)を満たしている場合、基礎点を65点とする。
- ② 修了要件の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)のいずれか一つを満たしていない場合、基礎点を0点とする。

### (2) 総合評価点

- ① 各科目において、臨床実習の到達度評価を行い35点満点で評価する。
- ② 17科目の総合評価の点数の平均を臨床実習の総合評価点とする。

### (3) 臨床実習の評価点

- ① 基礎点に総合評価点を加えた点数を臨床実習の評価点とする。
- ② 評価点が65点以上を臨床実習修了とする。

第57期生臨床実習 実習科目・担当分野

	科 目	担当分野
1	総合歯科学	歯学教育部門
2	予防歯科学	予防歯科学分野
3	歯内治療学	う蝕治療学分野
4	保存修復学	
5	歯周病学	歯周療法学分野
6	有床義歯補綴学	有床義歯・ 口腔リハビリテーション学分野
7	摂食嚥下・ 口腔リハビリテーション学	
8	冠橋義歯補綴学	冠橋義歯・ 口腔インプラント学分野
9	口腔インプラント学	
10	口腔外科学	口腔外科学分野
11	歯科麻酔学	歯科麻酔学分野
12	歯科放射線学	歯科放射線学分野
13	歯科矯正学	歯科矯正学分野
14	小児歯科学	小児歯科学・ 障害者歯科学分野
15	障害者歯科学	
16	内科学	関連医学分野
17	臨床薬学	薬剤部

## 2025 年度 歯学部 看護・介護体験実習 実施要領

実施責任者：石河 太知 教授（分子微生物学分野）

### 教育成果（アウトカム）

学外連携教育プログラムの一環として実施する看護・介護体験実習の学内・外施設での実習を第1学年において実際に体験することにより全人的医療とその意義を理解できる。また、介護体験実習を第5学年で再体験することにより全人的医療ならびにチーム医療とその意義をより深く理解できる。

### 実習期間

2025年10月7日（火）～10月17日（金）のうち、医学部、看護学部と連携し

1年生：看護体験4日間・介護体験4日間

5年生：介護体験実習2日間

### 実習施設

【看護体験】 本学附属病院

【介護体験】 盛岡市近郊の介護保険施設等

※実習先は医学部、看護学部と調整したうえで最終決定する。

### 実習方法

【看護体験】・1年生を班毎に各病棟に配属し、4日間の実習とする。

【介護体験】・1年生を班毎に各施設に配属し、4日間の実習とする。

・5年生（臨床実習生）を班毎に各施設に配属し、2日間の実習とする。

※一班あたりの人数は、受入側と調整したうえで決定する。

### 評価方法

<1年生>

【看護体験】・看護部からの評価

【介護体験】・介護施設からの評価

・補填課題による評価

※それぞれの実習取り組み状況及び発表会の内容・態度を上記評価に加味して最終評価とする。

<5年生>

【介護体験】・評価は実習取り組み状況及びレポート等により行う。

・本実習を臨床実習の修了要件の一つとする。

## 2025 年度 第 5 学年地域医療体験実習 実施要領

実施責任者：浅野 明子 准教授（う蝕治療学分野）

### 1. 教育成果（アウトカム）

学外連携教育プログラムの一環として実施する第 5 学年地域医療体験実習を通じて地域における歯科医療の実情を認識できるようになり、その意義についても理解できるようになる。

### 2. 到達目標

- （1） 歯科医療と地域社会との連携を説明できる。
- （2） 地域社会における歯科医療の多彩な役割を具体的に説明できる。
- （3） 種々の歯科の診療形態とチーム医療について説明できる。

コア・カリキュラム番号 C-7-2、E-6-1、E-6-2

### 3. 実習概要

- （1） 実習期間      2025 年 9 月 1 日（月）～11 月 28 日（金）  
                         ※上記期間の内 1 日ないし 2 日
- （2） 実習施設      岩手県内の国保歯科診療所他      9 施設  
                         秋田県内病院                              1 施設  
                         青森県内病院                              1 施設

### 4. 実習にあたっての一般的注意事項

- ・ 実習生としての言葉づかい、態度、服装に注意を払うこと。
- ・ 自己の所在を常に明確にし、遅刻、欠席の際には必ず連絡をとること。
- ・ 実習に際しては、指導者の指示に従うこととし、勝手な行動はとらないこと。  
    万一、不測の事態等が生じた場合は、直ちに指導者に報告し、指示を仰ぐこと。

### 5. 評価方法

施設指導者による実習評価及びレポートにより評価し、臨床実習修了要件の一つとする。

## 2025 年度 第 5 学年高次臨床実習 実施要領

実施責任者：歯科医療センター長

第 5 学年 高次臨床実習は、「学外の施設・機関との連携のもと、地域歯科医療、全人的医療および先進的医療についての理解を深める」ことを目的とする学外連携教育プログラムの一環として実施する。高次臨床実習は、学外の歯科医療機関あるいは他大学における実習を原則とするが、学内での実習も可とする。但し、学内講座・分野での実習も高次臨床実習というプログラムの中で行うものであることから、受講した学生のリクワイアメント等には反映させない。

### 【教育成果】（アウトカム）

学外の歯科医療機関あるいは他大学における実習を通じて、先進的歯科医療について説明できる。

### 【実施方法】

#### 1. 対象者

第 5 学年 臨床実習において、2025 年 10 月末日で 1150 点以上のリクワイアメントを達成のうえ、出席良好（2025 年 10 月末日で欠席率 5%未満）で成績優秀（専門科目の前期試験成績が 75 点以上であり、必修試験を合格または再試験を継続して受験していること。）かつ高次臨床実習に強い熱意を有する学生で、受入れ機関の承認が得られた学生とする。歯学部臨床実習運営委員会からの推薦者の決定は、歯科医療センター長及び総ライター長による面接を経て行う。

資格判定は臨床実習運営委員会からの推薦のもとに教務委員会で行い、教授会の承認を得る。

#### 2. 実習期間

2026 年 2 月から 3 月までの期間のうちの 2 週間以内とする。

#### 3. 受入れ機関

高次臨床実習の受入れが承認された学外の歯科医療機関あるいは他大学及び学内講座・分野とする。

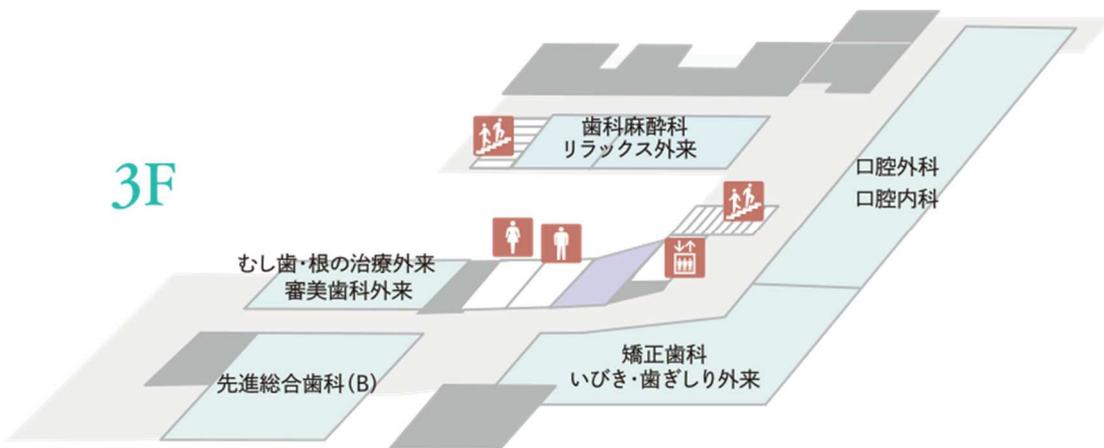
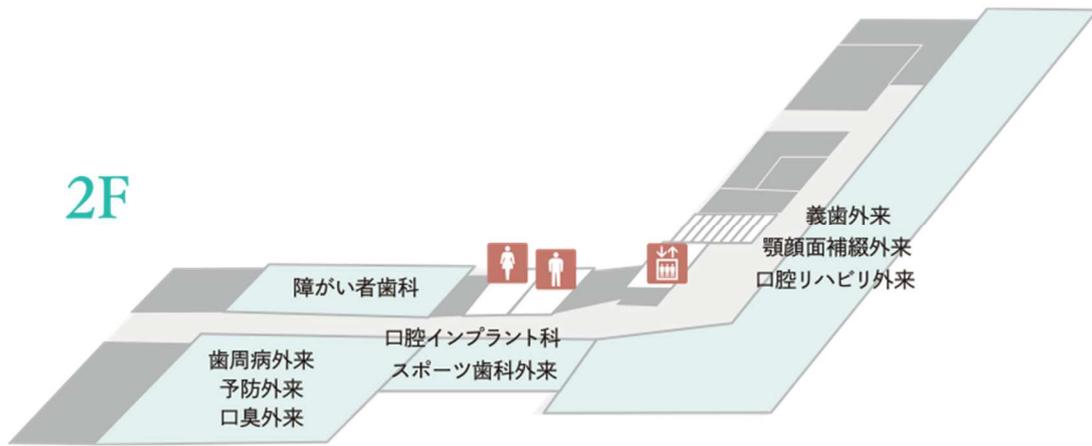
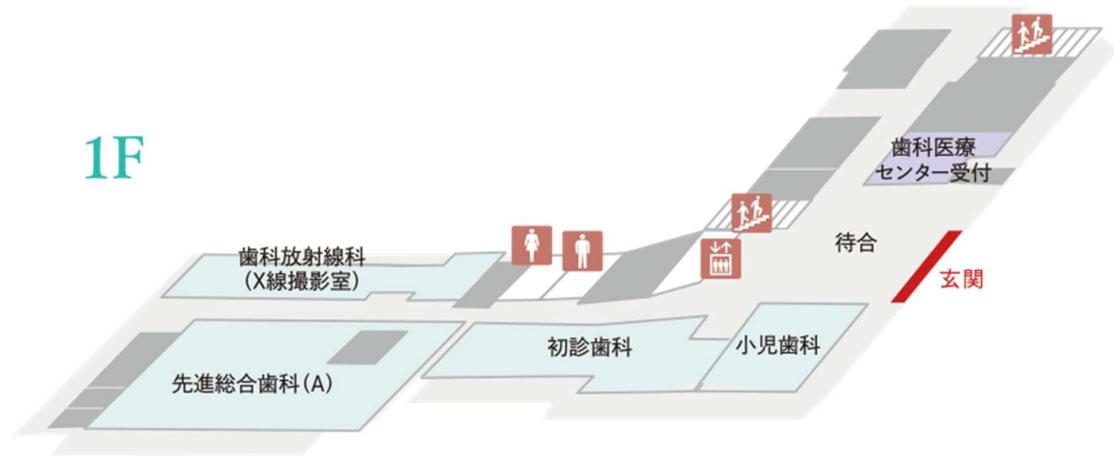
#### 4. 実習内容

受入れ機関に一任する。学内で受け入れる場合は、事前に教育プログラムを作成し、それに則り実施する。

#### 5. その他

- ・一機関へ希望者が集中した場合、教務委員会で調整、選抜を行い、教授会の承認を得た後、学生に通知する。
- ・高次臨床実習を行う学生は保険に加入する。（個人負担）
- ・高次臨床実習にともなう準備費、交通費・滞在費等は個人負担とする。
- ・予防接種抗体価検査等の証明が義務付けられている場合は、受入機関の指示に従うこと。

# 歯科医療センター 平面図



## 授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
----------------	----	------	------

### 総合歯科学

LED光照射器 デミウルトラ		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習において学生外来での自験時にレジンやセメントの重合に使用するため
可撤式歯科用ユニット ユーティリオII	ユーティリオII	2	基礎実習・研究用機器 臨床実習・診療用機器	臨床実習における自験・見学・介助、また相互実習等の実習全般に使用する
歯科用ユニット シグノG20	シグノG20	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習・診療用機器	臨床実習における自験・見学・介助、また相互実習等の実習全般に使用する
オサダエナック	OE-11W	2	臨床実習・診療用機器	臨床実習における自験に使用する
キャビトロンセレクトSPS		3	臨床実習・診療用機器	臨床実習における自験に使用する
ルートZX mini		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における自験に使用する

### 予防歯科学

卓上オートクレーブ(簡易カスト附属)	PS220	1	基礎実習・研究用機器	実習機材の滅菌
複写機	MEDIOir3300F	1	基礎実習・研究用機器	資料の作成・印刷
超音波スケーラーソルフィZX	Ser. SG707	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
インスツルメント専用オートクレーブ*	DA-5L452280	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
歯科ユニット(スマイリー)	Z-L251LL	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
ノートパソコン	LetsnoteB3/ノートCF-E5KW8AAXS	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
パソコン一式	ThinkPadT43P2668-Q2J	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
歯面清掃器(エアフロー)一式	SI	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
デジタルカメラ一式(F2.8レンズ+フラッシュ+アダプタ)	D5000他	1	臨床実習用機器	口腔内写真撮影実習及び症例収集
LED光重合器ペンキュアー	107-360 Ser. XI0111	1	臨床実習用機器	臨床実習用
一眼レフ・デジタルカメラ・EOS	K-x	1	臨床実習用機器	臨床実習用資料(口腔内写真)撮影用
マイクロモータートルクタイプ	LM-III	1	臨床実習・診療用機器	口腔の外傷予防に関する臨床実習でデモに使用
デジタル一眼レフカメラ 一式	EOS 8000D	1	臨床実習・診療用機器	演習用問題作成、臨床実習用および診療用機器
デスクトップパソコン	Endeavor MR4800E	1	視聴覚用・基礎実習用機器	講義資料の作成
デスクトップパソコン	Endeavor AT994E	1	視聴覚用・基礎実習用機器	講義資料の作成
デスクトップパソコン一式	MR4800E	1	視聴覚用・基礎実習用機器	講義資料の作成
ノートパソコン Dell latitude-9410	NBLA096-401N3	1	視聴覚用・基礎実習用機器	講義資料の作成、学生への講義・プレゼンテーション
バイオ冷凍庫	ALS-657HC	1	研究用・基礎実習・臨床実習用機器	実験、実習試料及び試薬の保存

### 歯内治療学

リングファーン	TMF-500	1	臨床実習・診療用機器	鋳造修復物作製用
根管長測定機能付根管拡大装置一式	Ser. SE5092	1	臨床実習・診療用機器	歯内療法学の臨床実習及び診療用
生態情報モニター式	BX-10ne	1	臨床実習・診療用機器	患者のモニタリング用
無針注射器	シジレット	1	臨床実習・診療用機器	局所麻酔用
インフォームドコンセント用口腔内カメラ	クリスタルカムII	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
ハイパースターオーバルジェットLクリーナー一式	SHB-QJI	1	臨床実習・診療用機器	鋳造修復物作製用

モノクロ複写機	IR2230F	1	視聴覚用機器	講義・実習資料作成用
オートルーパー式	V260509	1	臨床実習・診療用機器	切削用ハンドピースのメンテナンス用
ネスパーキャスコー式	ヒーター加熱真空加圧鑄造機	1	臨床実習・診療用機器	鑄造修復物作製用
超音波スケラー（バリオス）	VA560 標準	1	臨床実習・診療用機器	スケーリングに使用
パソコン	2133	1	視聴覚用機器	講義・実習用の資料提示用
歯科用実体顕微鏡	DMS25ZC30	1	臨床実習・診療用機器	学生への症例術野の提示 外科的歯内療法の治療
ノートブックパソコン MacBookPro	MC026J/A	1	視聴覚用機器	講義・実習用のプレゼンテーション
歯面漂白用加熱装置・コスモブルー式	プレミアムホワイト	1	臨床実習用機器	臨床実習に於いて光重合型 充填材の重合に使用
エンドマスター	#1060 ISO-E	1	臨床実習用機器	臨床実習における歯内療法 で使用
ケア3プラスC1タイプ大学仕様		1	臨床実習用機器	臨床実習におけるタービン・ エンジンのメンテナンス に使用
スリムプロジェクター	XJS68	1	視聴覚用機器	講義・実習のプレゼンテー ションに使用
ノートパソコン	LL750VGW	1	視聴覚用機器	講義・実習のプレゼンテー ションに使用
デジタルカメラ・オーラショットⅢ	261-003	1	臨床実習用機器	症例の記録に使用
歯科用重合用光照射器ブルーショット		7	臨床実習用機器	光重合型及び光硬化型の材 料を用いた成形修復で使用
ノートパソコン	FMVLM10W2	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 及び実習のデモに使用
カラーレーザープリンター	LBP7200CN	1	視聴覚用（学部授業他）機 器	講義の資料作成
スキャナー	GT-X970	1	視聴覚用（学部授業他）機 器	講義の資料作成
デスクトップパソコン一式	S713A5B/21W2	1	視聴覚用（学部授業他）機 器	講義の資料作成
カラーレーザープリンター一式	LBP7200CN	1	視聴覚用（学部授業他）機 器	講義の資料作成
iPad 一式	128GB	1	視聴覚用機器	講義・実習時の資料提示
トロリー	O7E-01	1	臨床実習用機器	Dream EGG保管台として使用 学生に見易く提示する
クリスタルアイ エコノミーセット	CE100-DC/JP	1	臨床実習用機器	学生外来での側色
咬合器 H20型	602-002	2	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診 断・治療に使用
超音波スケラー キャピトロンセレクト トSPS	667-127	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診 断・治療に使用
咬合器 ディナーマークⅡ		2	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診 断・治療に使用
咬合器フェイスボウ		2	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診 断・治療に使用
歯科用ユニット スマイリー 一式	GMP2-MS1211	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療 に使用
Xスマートプラス		1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療 に使用
電熱式根管プラグ・ダイアベン	630-200	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療 に使用
歯科根管材料電気加熱注入器・ダイヤガ ン	630-100	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療 に使用
ベッドサイドモニタ	DSL-8001R	1	臨床実習用機器	生体モニターの取扱いを体 得（臨床実習）
i p a d A i r W i - F i 32 G B	MD789JA	2	臨床実習用機器	患者への説明、レントゲン 等に使用
歯科用口腔内カメラ・デンタルアイ・S	EJ-CA01NP	1	臨床実習用機器	臨床実習の口腔内撮影時に 使用
歯科用ユニット・スマイリーGP2- MS1211		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習自験用ユニット
オープン保管庫	L5-G210EW4	3	基礎実習・研究用機器	講義実習の資料保存
根管充填システム（ゼネシスフィル ー式）		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における治療手技 の説明

デンタポート根管測定モジュール	DD-RCM2	10	基礎実習・研究用機器 臨床実習・診療用機器	臨床実習における治療手技の説明 見学 自験に使用
オサダエナック10W	OE-10W	4	臨床実習・診療用機器	臨床実習における治療手技の説明 見学 自験に使用
高精度根管長測定器 ルートZxmini	201070390	5	基礎実習・研究用機器 臨床実習・診療用機器	歯内療法学基礎実習における治療手技の説明 臨床実習における 見学 自験に使用
ノートパソコン Lavie一式	NEC	1	基礎実習・研究用機器 視聴覚用(学部授業他) 機器	講義 実習の資料提示用
アイススペシャル デジタル口腔撮影装置	C-3	2	臨床実習用機器	臨床実習における症例記録のため
ゼネシスフィルター式		1	臨床実習用機器	臨床実習における垂直加圧 充填法の見学、体得に使用する
ゼネシスパック式		1	臨床実習用機器	臨床実習における垂直加圧 充填法の見学、体得に使用する
一眼レフカメラ EOS kiss X10	EOS KissX10 ブラック	1	臨床実習用機器	臨床実習で患者口腔内を撮影し資料採取するため

## 保存修復学

リングファース	TMF-500	1	臨床実習・診療用機器	鑄造修復物作製用
生態情報モニター式	BX-10ne	1	臨床実習・診療用機器	患者のモニタリング用
無針注射器	シシジェット	1	臨床実習・診療用機器	局所麻酔用
インフォームドコンセント用口腔内カメラ	クリスタルカムII	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
ハイプラスターオーバーキャストLクリーナー式	SHB-0JI	1	臨床実習・診療用機器	鑄造修復物作製用
モノクロ複写機	IR2230F	1	視聴覚用機器	講義・実習資料作成用
オートループ一式	V260509	1	臨床実習・診療用機器	切削用ハンドピースのメンテナンス用
ネオスパーキャスト一式	ヒーター加熱真空加圧鑄造機	1	臨床実習・診療用機器	鑄造修復物作製用
超音波スケーラー (バリオス)	VA560 標準	1	臨床実習・診療用機器	スケーリングに使用
パソコン	2133	1	視聴覚用機器	講義・実習用の資料提示用
歯科用実体顕微鏡	DMS25ZC30	1	臨床実習・診療用機器	学生への症例術野の提示
ノートブックパソコン MacBookPro	MC026J/A	1	視聴覚用機器	講義・実習用のプレゼンテーション
歯面漂白用加熱装置・コスモブルー一式	プレミアムホワイト	1	臨床実習用機器	臨床実習に於いて光重合型 充填材の重合に使用
エンドマスター	#1060 ISO-E	1	臨床実習用機器	臨床実習における歯内療法 で使用
ケア3プラスC1タイプ大学仕様		1	臨床実習用機器	臨床実習におけるタービン ・エンジンメンテナンス に使用
スリムプロジェクター	XJS68	1	視聴覚用機器	講義・実習のプレゼンテーション に使用
デジタルカメラ・オーラショットIII	261-003	1	臨床実習用機器	症例の記録に使用
歯科用重合用光照射器ブルーショット		7	臨床実習用機器	光重合型及び光硬化型の材料 を用いた成形修復で使用
ノートパソコン	FMVLM10W2	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 及び実習のデモに使用
歯面漂白用加熱装置・コスモブルー一式	プレミアムホワイト	1	臨床実習用機器	漂白治療及びその教育
自動精密切断機一式	アイメット1000	1	基礎実習・研究用機器	研究用試料、教育試料作成
ケア3プラスC1タイプ大学仕様		1	臨床実習用機器	回転器具整備とその教育
ノートパソコン	VS586PC-AAAA	1	視聴覚用機器	講義のデモ・資料作成
ハードディスクレコーダー	NYXスーパー・120GBブラック	1	視聴覚用機器	講義のデモ・資料作成 (ビデオ作成)
デスクトップパソコン一式	PCs5550.jp	1	視聴覚用機器	講義のデモ・資料作成

パソコン	FMV BIBLO NF70Y	1	視聴覚用機器	講義および配布資料作成用
自動精密切断機一式	プレミアムホワイト	1	基礎実習・研究用機器	研究用試料、教育用試料作成
エンドマスター	#1060 ISO-E	1	臨床実習用機器	歯内治療及びその教育
ケア3プラスC1タイプ大学仕様		1	臨床実習用機器	回転器具整備とその教育
ノートパソコン	VS586PC-AAAA	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のデモ、資料作成
ハードディスクレコーダー	NYXスーパー・120GBブラック	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のデモ・資料作成 (ビデオ作成)
デスクトップパソコン一式	PCs5550jp	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のデモ・資料作成
ノートパソコン	FMVP775A	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のデモ・資料作成
生体情報モニター・一式	HBP-2070-NEXT	1	臨床実習用機器	臨床実習時の治療・見学用
双眼ルーペ	EyeMag <sup>+</sup> タイプ	1	基礎実習・臨床実習用機器	臨床実習時の治療・見学用
自動注油装置・オートループ	OAL-1	1	臨床実習用機器	臨床実習使用機器のメンテナンス用
歯科用顕微鏡・デンタ300 フロアスタンド式	フロアスタンド <sup>+</sup> 式	1	臨床実習用機器	臨床実習時の治療・見学用
デスクトップパソコン	VPCJ136FJW1	1	視聴覚用機器	授業配布資料作成用
デスクトップパソコン	iMac 27インチ	1	視聴覚用機器	授業配布資料作成用
ノートパソコン・レッツノートプレミアムエディション	J10 CF-J10DELP	1	視聴覚用機器	授業配布資料作成用
拡大鏡・マイクロアジャスタブルTT LルーペII 2.5倍	Kat00001	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
ロクラクII Limitedスーパー・シルバー	ROKU2-LU-300G-SS	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
双眼ルーペ・フリップアップタイプ		1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
カラープリンター	LP-S7100R	1	視聴覚用機器	授業配布資料作成
汎用歯科用照明器・MiCDルーペライト一式	LL-LED	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
技工用エンジン・アルチメイトXL トルクセット	UMXL	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
光重合レジン照射器	ブルーショット	2	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
超音波洗浄器・エナック10W	超音波洗浄器・エナック10W	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
アルコン型半調節性咬合器・顔弓	マークII・フェイスボウ	3	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
生体情報ライブモニター	OPV-1510	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
加熱根管充填システム・システムBスターターキット	P0034050	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
超音波洗浄器スピードソニック	2510-MT	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
歯科用電動注射器・みずいらずF&FDC-1801カートリッジタイプ	729-756	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
高周波電気メス プログ-F横型	103-250	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
根管長測定器デンタポートモジュールDR-RCM2	107-380	2	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
超音波スケーラー・キャビトロンセレクト		1	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストラーション
技工用電気レーズ・ラボラトリーレーズ	LL2	1	基礎実習・臨床実習用機器	相互体験実習
サージテルオクリーレーター	AsianMode	1	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストラーション
手術用マイクロスコープ アレグラ330 顕微鏡一式	アレグラ330	1	臨床実習用機器	症例提示用
プロジェクター 一式	LV-8225	1	臨床実習用機器	症例プレゼン用
ビデオカメラ	HDR-CX590V	1	臨床実習用機器	症例資料作成
歯科用電動注射器・カートリーエースプロ	729-290	1	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストラーション

口腔外サククション・フリー亜ムーフオルテS		2	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストレーション
コンダイラー型半調節性咬合器・ハノー咬合器	H20	3	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストレーション
生体モニター架台	KC-012P	1	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストレーション 相互体験実習
オートクレーブ滅菌器・プチクレーブ	DA-8	1	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストレーション 相互体験実習
ハンドピースメンテナンス装置	107475	1	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストレーション 相互体験実習
超音波スケーラー・キャビトロンセレクト		2	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストレーション 相互体験実習
歯髄診断器・パルプテスター		1	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストレーション 相互体験実習
iPad 一式	128GB	1	視聴覚用機器	講義・実習時の資料提示
トロリー	OPE-01	1	臨床実習用機器	Dream EGG保管台として使用 学生に見易く提示する
クリスタルアイ エコノミーセット	CE100-DC/JP	1	臨床実習用機器	学生外来での側色
咬合器 H20型	602-002	2	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診断・治療に使用
超音波スケーラー キャビトロンセレクトSPS	667-127	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診断・治療に使用
咬合器 ディナーマークⅡ		2	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診断・治療に使用
咬合器フェイスボウ		2	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診断・治療に使用
歯科用ユニット スマイリー 一式	GMP2-MS1211	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療に使用
X スマートプラス		1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療に使用
電熱式根管プラグ・ダイアペン	630-200	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療に使用
歯科根管材料電気加熱注入器・ダイヤモンド	630-100	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療に使用
ベッドサイドモニタ	DSL-8001R	1	臨床実習用機器	生体モニターの取扱いを体得（臨床実習）
i p a d A i r W i - F i 32 G B	MD789JA	2	臨床実習用機器	患者への説明、レントゲン等に使用
歯科用口腔内カメラ・デンタルアイ・S	EJ-CA01NP	1	臨床実習用機器	臨床実習の口腔内撮影時に使用
歯科用ユニット・スマイリーGP2-MS1211		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習自験用ユニット
オープン保管庫	L5-G210EW4	3	基礎実習・研究用機器	講義実習の資料保存
咬合器（プロターEV07）	EV07	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における、咬合の診査や補綴・修復物作成
フリーアーム、アルテオS（口腔外用サククション）	フリーアーム、アルテオS	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習見学、自験時に口腔外で発生する切削片を吸引する。
オサダエナック10W	OE-10W	4	臨床実習・診療用機器	臨床実習における治療手技の説明 見学 自験に使用
ノートパソコン Lavie一式	1Y1708231004NR	1	基礎実習・研究用機器 視聴覚用（学部授業他）機器	講義 実習の資料提示用
アイスペシャル デジタル口腔撮影装置	C-3	2	臨床実習用機器	臨床実習における症例記録のため
レーザープリンター	LBP651C	1	基礎実習・研究用機器 視聴覚用（学部授業他）機器	実習、講義の配布資料作成
一眼レフカメラ EOS kiss X10	EOS KissX10 ブラック	1	臨床実習用機器	臨床実習で患者口腔内を撮影し資料採取するため

## 歯周病学

コンピュータ制御麻酔注射器ワト		1	臨床実習・診療用機器	無痛的麻酔
診療用ユニット一式	SPシェラユニット	1	臨床実習・診療用機器	歯周治療用

液晶プロジェクター	LV-7355	1	視聴覚用機器	症例のプレゼンテーション用
歯科用ユニット(エステオフレックス)	KF-F	1	臨床実習・診療用機器	外来診療に使用する
超音波スケーラー	キャビトロンSPS	2	臨床実習・診療用機器	歯石の除去処置
キセノン式無影灯	XL-1P	1	臨床実習・診療用機器	歯周外科処置時の照明
全自動血圧計	BP-203RVIII C	1	臨床実習・診療用機器	歯周外科における術中管理
生体情報モニタ	OPV-1512	1	臨床実習用機器	高血圧患者の歯周治療時及びオペ時のモニタリング
ミニタワーPC	OptiPlex360カスタマイズ	1	視聴覚用機器	症例及び講義の編集・プレゼンテーション用
デスクトップパソコン	PC-MJ18XC278	1	視聴覚用機器	症例及び講義の編集・プレゼンテーション用
スキャナー	GT-X970	1	視聴覚用機器	症例及び講義の編集・プレゼンテーション用
デスクトップパソコン・Inspiron	One19・プレミアムパッケージ	1	視聴覚用機器	症例及び講義の編集・プレゼンテーション用
ノートパソコン・一式	Inspiron1564	1	視聴覚用機器	症例及び講義の編集・プレゼンテーション用
ノートパソコン一式	VPCS11AGJ	1	視聴覚用機器	症例及び講義の編集・プレゼンテーション用
デスクトップパソコン・一式	3.02GHz9400M	1	視聴覚用機器	症例及び講義の編集・プレゼンテーション用
外科録画システム・オペ録		1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の録画、学生へのプレゼンテーション用
デジタルハイビジョン液晶モニター一式	アケオス26インチ	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の解説用
ノートパソコン・一式	CF-S9LWEJDS	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション用
液晶ディスプレイ	S2243W-HXBK	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション用 症例提示用
Er・YAGレーザー装置 アーウィンアドベール	MEY-1	1	臨床実習用機器	適応症例への使用と学生教育用
液晶プロジェクター	LV-8320	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	学生への講義及びケースプレゼンテーション用
ソニックテクノ 歯科用デジタルカメラ	DC17-PRO	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習用機器	講義・実習時の資料作成用
ノートパソコン	PV83228HNMS	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習用機器	講義・実習時の資料作成用
サージテルライト Microオデッセイ		1	臨床実習用機器	臨床実習に於ける術野の説明
ノートパソコン 一式	SVP1121A2J	1	視聴覚用機器	実習(講義)の資料提示用
マイクロスコープ ブライトビジョン	LED5011	1	臨床実習用機器	臨床実習における手術野の明示
コピー機 imageRUNNER ADVANCE	C5235F	1	基礎実習・研究用機器	講義の配布資料作成
ノートパソコン	CF-LX3HEQBP	1	視聴覚用機器	実習(講義)の資料提示用
歯科用デジタルカメラ・CanonEOS 70D仕様一式	DC-PRO/GP3	1	臨床実習用機器	臨床実習に於ける患者データ(口腔内写真)取得用
デスクトップパソコンiMac21.5 カスタマイズZOPE一式	ZOPE/MD5642M/A	1	臨床実習用機器	臨床実習に於ける臨床症例データ解析用
歯科用ユニット	G20	1	臨床実習・診療用機器	外来診療に使用
ソニックフレックスLIX	2003L	5	臨床実習・診療用機器	臨床実習における、歯石除去、口腔清掃などに使用 自験・見学に使用
フリーアーム、アルテオS(口腔外用サクシオン)	フリーアーム、アルテオS	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習見学、自験に口腔外で発生する切削片を吸引する。
iPad mini Wf-fi256G	MUU32J/A	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	ケースプレゼンテーション用
ノートパソコン	CF-LV8SDKVS	1	視聴覚用機器	講義の資料提示用(プレゼンテーション)
歯科用ユニット	EOM-REGARO-CSS	1	臨床実習用機器	臨床実習(歯周治療)

## 有床義歯補綴学

レーザープリンター	LP-9400	1	視聴覚用機器	講義および実習の配布資料作成用
-----------	---------	---	--------	-----------------

レーザープリンタ	SATERA LBP3800	1	視聴覚用機器	講義および実習の配布資料 作成用
デナーマークII (50台)		1	基礎実習専用機器	補綴学の基礎実習で使用
パソコン	デimonジョン9150	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習の配布資料 作成用
パソコン一式	DellPrecision	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習の配布資料 作成用
ノートパソコン	XPSM1210	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習の配布資料 作成用
デジタルハイビジョンDVDビデオカメラ	HDC-SX5-S	1	視聴覚用機器	講義および実習の配布資料 作成用
ノートパソコン一式	VGN-AR94US	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習の配布資料 作成用
ノートパソコン Lets note LIGHT	CF-W5MW8AAJR	1	視聴覚用機器	講義および実習の配布資料 作成用
パソコン	Vostro Desktop 400TM	1	視聴覚用機器	講義および実習の配布資料 作成用
実験用ミニふるい振とう機	MVS-1	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における咀嚼能率 試験の判定に使用
マイクロモーターパル	103-240	1	基礎実習・研究用機器	基礎実習・臨床実習時のデ モを行う際に使用
定温乾燥機	1-7477-01	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における咀嚼能率 試験の判定に使用
咀嚼嚙下舌圧計測システム		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における嚙下動態 のデモを行う際に使用
パソコン	Vostro Desktop	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテー ションに使用
吸引器	ミニックDC	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における摂食嚙下 リハビリテーションのデモ に使用
センサーインターフェイス	PCD-350B	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における義歯床下 粘膜の動態をモニターし供 覧
フィットレジンインジェクター	1	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における義歯製作 のデモに使用
スブラゾンP-MAX	プラス	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における予後管理 のデモに使用
歯科用ユニット	R582812	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における診療全般 のデモに使用
生体情報モニター	OPV-1512	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における患者全身 管理のデモ用
カメラヘッド	OYV-S7H-1N	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	摂食嚙下障害の臨床診査の 説明
デジタルビデオカメラ	TG1	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	実習デモ製作や臨床実習に おける症例提示
パソコン 一式	90NS	1	視聴覚用機器	症例提示
パソコン 一式	VGN-TZ93US(Ultimate)	1	視聴覚用機器	症例提示
ビデオシステムセンター	OTV-S1	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 用
インプランターNeo	Neo	1	臨床実習用機器	症例術式の説明
ノートパソコン	Macbook 13インチ アルミニウムZOFU	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション用
ノートパソコン一式	Macbook 13インチ アルミニウムZOFU	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション用
デナーマークII 咬合器バック	760206	1	臨床実習用機器	症例術式の説明
HDビデオカメラ	IVIS HF20	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 用
HDD (NAS)	TS-X4.0TL/R5	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 用試料保存
大容量ハードディスク (RAID対応)	HD-QS4.0TSU2/R5	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 用試料保存
i Mac 24インチPC	iMac 24インチ	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 用製作
パソコンMacBook 2.13GH z Core2Duo/13.3	MC240J/A	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 用製作
フィットレジンマルチキュア		1	臨床実習用機器	技工操作の術式説明
大判プリンターImagePROGRAF	iPF8100	1	臨床実習用機器	配布資料の作製用

オクルーザ709		1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	臨床実習における診査・診断説明
PCカード型高速データ収集システム一式	NR-350	1	臨床実習用機器	講義プレゼンテーション資料収集と保存
パーソナルコンピュータ VAI0	VGN-FW73JGB	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例プレゼンテーション用資料の作製
アルチメイトXT標準セット	UMXL-GT	1	臨床実習用機器	臨床実習の術式説明
HDビデオウォークマン	GV-HD700	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション資料収集と保存
PENTAXファイバースコープビデオシステム一式		1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	摂食嚥下障害の臨床診査の説明
パーソナルコンピュータVAIO	VGN-TT93HS	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例プレゼンテーション用資料の作製
CAPT-PLUS・チェアサイド義歯調整用サクションLEDライト付		1	臨床実習用機器	技工操作の説明
デナー・マークⅡ咬合器		3	臨床実習用機器	症例術式の説明
筋電アンプ一式		1	臨床実習用機器	顎機能検査を用いた診査・診断説明
ボルバー	3 5 RV	1	臨床実習用機器	義歯製作のデモに使用
冷蔵庫	R-S31XMV	1	臨床実習用機器	臨床実習使用材料の保管
頭蓋骨模型	P-10-SB. 12	1	臨床実習用機器	義歯製作のデモに使用
デジタルビデオカメラ	HDCTM300	1	臨床実習用機器	臨床実習時のデモに使用
デジタル液晶モニター13V	LC-13SX7A	1	臨床実習用機器	臨床実習での摂食嚥下リハビリテーションのデモに使用
RAIDハードディスク	HD-QS2. 0TSU2/R2	1	臨床実習用機器	資料の保管
HDビデオカメラ	ivis HFR10(RD)	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーションに使用
デスクトップパソコン一式	FRM90621A	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習配布資料の作成
液晶ディスプレイ	SX2262WPXBK	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習配布資料の作成
デナー・マークⅡ	760327	2	臨床実習用機器	臨床実習における補綴治療の際に使用
ノートパソコン	PATX66LRTWH	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習配布資料の作成
デスクトップパソコン	HPE-290jp/CT	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習配布資料の作成
電子辞書	XD-A5900MED	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習配布資料の作成
MICDルーペ	レキ ュー-R60	1	臨床実習用機器	臨床実習での治療の際に使用
ROHS8. 4液晶モニター	CM-840Ⅱ	1	臨床実習用機器	臨床実習での治療の際に使用
デスクトップパソコン	VPCJ11AFJ	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習配布資料の作成
カラーレーザープリンター	SateraLBP7200C	1	基礎実習・研究用機器	授業配布資料の作成
内視鏡用光源装置（ハロゲン光源装置）	LH-150PC	1	臨床実習用機器	臨床実習での治療の際に使用
アルチメイトXL	UMXL-GT	1	臨床実習用機器	臨床実習での治療の際に使用
デジタルビデオカメラ	ivis HFS21	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーションに使用
集塵機	CAPT-PULUS	1	臨床実習用機器	臨床実習における技工操作時での使用
アルコン型半調節性咬合器	デ ィナーマークⅡ	5	臨床実習用機器	臨床実習での補綴治療の際に使用
患者説明用模型・ティースモデル	保険・自費対比型	1	臨床実習用機器	臨床実習での補綴治療の際に使用
歯科用ユニットGコンパクトi オーバーアームタイプ		1	臨床実習用機器	臨床実習での補綴治療の際に使用
拡大鏡・EyeMagPRO	Sタイプ 3. 6×350		臨床実習用機器	臨床実習での補綴治療の際に使用
筋電アンプ一式	EMG-02100	1	臨床実習用機器	臨床実習での補綴治療の際に使用

デスクトップコンピュータ	MDV-AGG9210X	1	基礎実習用機器	授業および実習配布資料の作成
ノートパソコン	VAIO・typeS・VPCS13AGJ_Pro	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーションに使用
LEDヘッドライト	H60	1	臨床実習用機器	臨床実習での補綴治療の際に使用
デスクトップパソコン	Inspiron580S	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料作成用
デスクトップパソコン	StudioXPS8100	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料作成用
ノートパソコン	MC516J/A Education	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
一眼レフカメラ・EOS	KISSX5 LKIT	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
味噌用測色計カラーリーダー	CR-13	2	基礎実習用機器	授業および実習配布資料作成用
ノートパソコン・VAIO 一式	VPCZ21AJ	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
内視鏡用ビデオシステム	PSV-4000	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
デナー・マークⅡ咬合器		3	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究症例治療用
光照射器 GライトプリマⅡ		1	臨床実習用機器	臨床実習における補綴治療の際に使用
パルプテスター	20T26-40818	1	臨床実習用機器	臨床実習における補綴治療の際に使用
HDビデオウォークマン	GV-HD700	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーションに使用
プロジェクター	EB-X12	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーションに使用
みきさん2 アルギン酸練和器		1	臨床実習用機器	臨床実習時のアルギン酸印象材の練和に使用
スプラソン P-MAX+		1	臨床実習用機器	臨床実習時の患者メンテナンス等に使用
口腔外バキューム フリーアームアルテオ	S	2	臨床実習用機器	臨床実習時の義歯等の切削片を吸引する。
義歯作成・イボベースシステム一式		1	臨床実習用機器	有床義歯製作及び学生への示説、見学に使用
歯科用ユニット・特別仕様一式	EOM-REGARO-0ss	1	臨床実習・診療用機器	診療参加型臨床実習における患者診察および見学に使用する。
デジタルビデオカメラ Handycam 一式	HDR-CX680	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
フリーアーム、アルテオS（口腔外用サクシオン）	フリーアーム、アルテオS	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
キュート カートリッジタイプ	DC2C	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
低温冷凍冷蔵庫	DF25	1	臨床実習機器	臨床研究の説明の為の試料保存

## 冠橋義歯補綴学

リングファース	TMF-500	1	臨床実習・診療用機器	技工物の作成
歯科診療用ユニット一式	スマイリーノベル21L-231LL	1	臨床実習・診療用機器	補綴診療に使用
ディスプレイ	SDM-M81	1	臨床実習・研究用機器	実習・講義の資料作成用
ナハキガラー一式	JM-1000G	1	臨床実習・診療用機器	下顎運動（顎関節症）の観察・評価に使用する
デジタルカメラ一式	CoolPix995	1	臨床実習・診療用機器	外来診療における症例の記録に使用する
ノートパソコン（MOドライブ付）	PCG-FX55V/BP	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション用
シミュレーションユニット		1	基礎実習および臨床実習用機器	臨床実習・基礎実習におけるシミュレーション実習に使用
支台歯形成技能評価システム		1	基礎実習および臨床実習用機器	支台歯形成の評価用
切削シミュレーション装置	ESC-2	1	基礎実習および臨床実習用機器	支台歯形成のシミュレーション実習に使用
デジタルカメラ一式	Canon EOS KISS Digital	1	臨床実習・診療用機器	症例説明およびプレゼンテーション用
ノートパソコン	VAIOPCG-ZIX/P	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション用

歯科用視野拡大装置	EVW200N	2	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
ハイパスタースターボジェットLクリーナー一式	SHB-0JI	1	臨床実習・診療用機器	外来診療の技工操作に使用
歯科用ユニット一式	EOM-Σ0S	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
ホーレーザ-PRO	200225	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
ノートパソコン	CF-W5KWAXR	1	臨床実習・診療用機器	歯冠色データの解析に使用する
歯科用CAD/CAMシステム	DECSYSCAN	1	臨床実習・診療用機器	外来診療における技工物製作に使用
ハンディマルチス外肋メラー式	CE-N9019099	1	臨床実習・診療用機器	歯冠色構築システムとして使用する
プロターevo7咬合器一式	PROTAR evo 7	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
デジタルカメラ式	D80	1	基礎実習および臨床実習用機器	講義・実習のための資料収集と作成
クリスタルアイエコノミーセット	CE100-PC/JP	1	基礎実習および臨床実習用機器	色彩の歯科に関する講義・実習のための資料収集と作成
ノートパソコン一式	PATX64H2LP	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション
HPワークステーション	RV725AV-AUYS	1	臨床実習用機器	講義・実習の資料ならびに症例のデータベース
携帯型筋電計バイオフィードバック装置	DL-3	1	臨床実習用機器	顎関節症患者の検査データの分析方法の理解のため
クイックビュー卓上タイプ	091-0010	1	臨床実習用機器	症例提示用
ビデオカメラ	HDCTM350	1	臨床実習用機器	臨床実習
ノートPC	PARX2T8KLJ	1	視聴覚用機器	症例プレゼン用
ビデオカメラ	HDR-CX520V	1	臨床実習用機器	支台歯形成中の画像記録
スライドスキャナ・パワースライド		1	視聴覚用機器	スライド整理・症例プレゼン用
アイマブプロ（双眼ルーペ）	Fタイプ	1	臨床実習用機器	臨床実習における術式見学
プロジェクター	NP610J	1	視聴覚用機器	症例プレゼン用
一眼レフカメラ	D700 L24120KIT	1	臨床実習用機器	症例プレゼン用
液晶テレビ（モニター）	32H9000	1	視聴覚用機器	術式等説明用
カラーレーザープリンター IPS10・一式	SPC720	1	基礎実習・研究用機器	資料作成
液晶ディスプレイ	MDT221WTF	1	臨床実習用機器	グループ学習時のプレゼン用
KaVo_CAD/CAMエベレストシステム一式		1	臨床実習用機器	CAD, CAMによるクラウンブリッジ作製法を理解する
バリオス750標準セット	VA750LUX	1	臨床実習用機器	支台歯形成・スケーリングのために使用
電気エンジン・サクセス40	OS-40	2	臨床実習用機器	技工練習
歯科重合用光照射器・ブルーショット	BS-01	1	臨床実習用機器	レジン築造法の習得
歯科用電気回転駆動装置・メルサージュプロセット		1	臨床実習用機器	技工練習
半調節性咬合器	プローチIV	1	基礎実習・研究用機器	咬合器使用法の習得
集塵機	CAPT-PULUS	1	臨床実習用機器	外来での技工物調整用
プロジェクター・長焦点レンズ付	LP-WM5500・LNS-T20	1	視聴覚用機器	症例提示用
口腔撮影用カメラ・Steri-1・一式	GX200	1	臨床実習用機器	臨床実習症例記録用
咬合器・KAVO PROTER EVO5 一式	EVO5	1	臨床実習用機器	臨床実習時の補綴装置作成のため
咬合器・KAVO PROTER EVO7	EVO7	1	臨床実習用機器	臨床実習時の補綴装置作成のため
歯科用拡大鏡・サージテル・スルーザレンズ・ルーペ一式	EVXiM250NオーグリHJブラック	1	臨床実習用機器	

ノートパソコン・V E680A V	4520S/CT	1	基礎実習・臨床実習用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
ノートパソコン	VPCYA19FJB	2	基礎実習・臨床実習用機器	実習（講義）の資料作成
ノートパソコン	PCLS550CSW	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習（講義）の資料作成
ジルコニア焼結用ファーネス一式（K a v o E v e r e s t T h e r m）	4180	1	基礎実習・臨床実習用機器	ジルコニアフレーム（実習用）製作用
標準カラーカメラユニット・一式	VW-300C	1	基礎実習・臨床実習用機器	相互実習時の口腔内写真撮影用
i P a d ・ 一 式	64GB Wifi	1	視聴覚用機器	実習（講義）資料作成用
サージタル・スルーザレンズ・ルーペ	EVCiM300NオーケリHJブラック	1	基礎実習・臨床実習用機器	
サージタルライトシステムコンパクトLEDライト	オクセイライト	1	基礎実習・臨床実習用機器	
BSAソラリスミニ		1	基礎実習・臨床実習用機器	
デスクトップパソコン・FMVXDBTH2Z ESPRIMO	D581/CX	1	基礎実習用機器 視聴覚用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
歯科用拡大鏡・サージタルルーペ・オーケリレーザー	EVK450	1	基礎実習・臨床実習用機器	
デスクトップパソコン・MateJ・一式	PC-MJ31LLZTJESC	1	基礎実習用機器	実習（講義）用資料作成
ノートパソコン	PT45159DBFB (SSS)		視聴覚用機器	実習（講義）用資料作成
A3カラーレーザー複合機・一式	C810DNT	1	基礎実習・臨床実習用機器	授業配布資料作成
歯科用デジタルカメラ 一式	DCN11-LV/GP2	2	基礎実習・臨床実習用機器	実習（講義）用資料作成
カラーレーザー複合機	C810DNT	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習資料作成用
ノートパソコン	13インチカスタマイズ	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習資料作成用
ノートパソコン	PC-VJ25MLNLTLC	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習資料作成用
MiCDルーペ TTLタイプ	SL-S-R	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習資料作成用
サージタルライトシステムMicroオデッセイLEDライト		1	基礎実習・臨床実習用機器	実習指導用
サージタルルーペレーザーフレーム	EVK550	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習指導用
サージタルルーペオーケリレーザー	EVK650	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習指導用
サージタルライトシステムMicroオデッセイ		1	基礎実習・臨床実習用機器	実習指導用
ノートパソコン LaVieZ	PC-LZ550MSS	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義資料提示用
バイトアイ 咬合接触面測定器	BE- I	1	臨床実習用機器	咬合接触状態の可視化および観察、分析のため
内視鏡用C C Dカメラ	PSV-4000	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	嚥下に関わる機器、内視鏡検査の説明用
オサダサクセス40	OS-40	1	臨床実習用機器	臨床実習に於いてレジン等の切削を行うため
ハンディーラボII	168-1070	6	臨床実習用機器	臨床実習に於いて補綴装置の切削に使用
ARCTICAオートスキャン / アルクスディグマ2 一式		1	臨床実習用機器	顎運動の解析、学生への示説に使用
デジタル一眼レフカメラ 一式	EOS 80D	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
デンタポートOTR 根管拡大キット	DP-ZX	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
プロターEV07一式（咬合器）	EV07	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
3Shape TRIOS 3 Color Pod		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。

## 口腔インプラント学

歯科用ユニット	Plus-0SLS	1	臨床実習・診療用機器	インプラント補綴治療用
無影灯	34Cam	1	臨床実習・診療用機器	インプラント埋入手術時の照明
全自動血圧計	DS-7100	1	臨床実習・診療用機器	インプラント埋入手術時の全身管理

シャーカステン	AICH-D32	1	臨床実習・診療用機器	初診時説明用、またインプラント埋入手術時のCT説明用
OPELASER	LA12	1	臨床実習・診療用機器	インプラント埋入手術後の創傷治癒促進、また二次手術時の切開
処置無影灯スカイルックスブラネット	34CAM 4 灯式	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に於ける手術デモンストラーション及び見学用
ノートパソコン	Pavilion dv7	1	臨床実習・診療用機器	症例のデータ管理及びプレゼンテーション用
ビデオレコーダー (ブルーレイ)	DMR-BW770	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に於ける手術見学用
咬合器・PROTARシステム一式	EVO7	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習時のデモンストラーション用
一眼レフカメラ・EOS	KissX4Body	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習時のデモンストラーション用
歯科用ユニット・レフィード		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に使用
一眼レフカメラ・EOS	KISSX4	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に使用
3Dデジタルスキャナー・3M Lava COS	68901INS	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に使用
歯科用ユニット・EOM-REGAROCs		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習時の説明用
手術用顕微鏡・デンタ300フロアスタンド式		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に於ける術野説明用
歯科用ユニット トリートメントセンター	C8+	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に於けるインプラント手術見学時に使用
半調節性咬合器プロターEVO7・一式		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習での模型診査に使用
インプラント埋入ナビゲーションシステム Navident		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習インプラントの埋入実習のため
細菌カウンタ	DU-AA01NP-H	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
TRIOS用 ノートパソコン 一式	CDM10222	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
ノートパソコン Macbook Pro 一式	Apple	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
タブレットパソコン iPad Air2Wi-Fi 128GB 一式	MGTY2J/A	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
3Dデジタルモデリングシステム Geomagic FreeForm Touch	データ.デザイン	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
ノートパソコン Lavie Hybrid ZERO 一式	P C-H Z 750GAS	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
細菌カウンタ	DU-AA01NP-H	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
TRIOS用 ノートパソコン 一式	CDM10222	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
LEDライト ファイヤーフライ一式		1	臨床実習・診療用機器	インプラント補綴見学時に使用
歯科用ユニット エステチカ	E80T Vision	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に使用
マイクロエッチャー2ブローキット		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に使用

## 摂食嚥下・口腔リハビリテーション学

舌圧測定器	TPM-1	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における測定の練習用
タブレットパソコン iPadPro Wi-Fi 64GB 一式	MTXP2J/A	1	視聴覚用機器	症例提示用
ノートパソコンVAIO SX12	VJS1211/S1211	1	視聴覚用機器	臨床実習における配布資料等の作成用
ポータブル歯科用X線装置 ポートエックスⅢ	PORT-XIII	1	臨床実習・診療用機器	訪問診療実習に使用
訪問診療用ポータブルユニット ポータキューブ+SV一式	HLU-P	1	臨床実習・診療用機器	訪問診療実習に使用
ビジネスプロジェクター一式	EB-W06	1	臨床実習用機器	臨床実習における講義用画像提示用
JMS舌圧測定器	TPM-02	1	臨床実習用機器	臨床実習における検査方法習得のため
バイタルスティムプラス 一式	Mar-23	1	臨床実習用機器	臨床実習における訓練方法習得のため

# 口腔外科学

液晶プロジェクター	LV-7355J	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション用
DVDビデオカメラ	DZ-MV380	1	視聴覚用機器	症例撮影用
プレゼンテーションスタンド	RE-450X	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション用
デスクトップパソコン	V7280jp/CT	1	視聴覚用機器	講義資料の提示用
デジタル一眼レフカメラ	D40X	1	視聴覚用機器	症例写真撮影用
パソコン	CF-W7DJAJS	1	視聴覚用機器	講義資料の提示用
パソコン Mac mini 一式	MC238J/A	1	視聴覚用機器	実習の資料提示用
ノートパソコン	CF-S9KYFEDR	1	視聴覚用機器	実習の資料提示用
カラー複合機 ADVANCE 一式	C5045F	1	視聴覚用機器	講義・実習の資料作成
パワープロジェクター	LV-7385	1	視聴覚用機器	実習・講義の資料作成
歯科用ユニット・シグノタイプ	G40	1	臨床実習用機器	臨床実習における治療
ノートパソコン一式	I Book 466/12	1	視聴覚用機器	症例の提示用・症例データベース作成
パソコン一式	PowerMac G4/867DVDR	1	視聴覚用機器	症例の提示用・症例データベース作成
デジタルカメラ	EOS D-30	1	視聴覚用機器	症例データベース作成
ノートパソコン一式	PowerBookG4	1	視聴覚用機器	症例の提示用・症例データベース作成
シャカステン一式	MS-J3	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
内視鏡用記録装置一式	DCR-PC300K	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
ノートパソコン一式	iBOOKG4/COMBO	1	視聴覚用機器	症例の提示用・症例データベース作成
内視鏡手術器械用DVDレコーダー	PRV-R55	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
咬合診断装置	Ser. 435362	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
歯科用吸引装置	フリーームフォルテS単体移動型	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
レントゲンサクションユニット	LSU4000 78001005	2	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
高周波ラジオ波メス	デントサージ IEC	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
パソコン	MacminiM9686J/B	1	視聴覚用機器	症例の提示用・症例データベース作成
歯科用ユニット(エクシード)	II型オーパ-アーム	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
技工用マイクロモーター搭載集塵機	Ser. 9797	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
歯科用ユニット一式	シグノレファートスタンダードステップタイプ	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
咬合診断装置	Ser. 435362	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科診療時(咬合診断)に使用
歯科用ボータブル診療ユニット	ボータブ-21タイプM	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
パソコン一式	ApplePowermacG5一式	1	視聴覚用機器	症例の提示用・症例データベース作成
耳鼻咽喉ファイバースコープ 一式	FNL-10RBS	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
インバーター式シャカステンNE080	409-030-07	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
パソコン	Imac2GHz IntelCore 2 Duo/17	1	視聴覚用機器	症例の提示用・症例データベース作成
T P S 電動マイクロドリルシステム一式	T P S 基本セット	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時(手術)に使用
2チャンネル低周波治療器	E S - 420	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
内視鏡CCDカメラ装置一式	P S V - 4000	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用

クアトロケアー	2104A	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
マイクロプレートリーダー	680XR	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
オーラルショットⅡ	261-002	1	視聴覚用機器 臨床実習・診療用機器	講義・実習のための病態像撮影・保存用
ホギールーペ	1	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における術野の説明用
プチクレープ	DA-5	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における器具滅菌消毒の説明
パソコン	MB403J/A	1	視聴覚用機器 臨床実習・診療用機器	講義のプレゼン用
パソコン 一式	dx7400SF/CT	2	視聴覚用機器	パソコン 一式
Canon モノクロ複合機 Satera ペディスタル Type B 1段カセットユニット	Stera MF7330	1	臨床実習用機器	臨床実習、患者データ資料作成用
パソコン 一式	MacBook Z0FV1J/A	1	視聴覚用機器	講義のデモ及び研究データ解析用 講義・実習の資料提示用
双眼ルーペ・専用LED BLIセット 一式	BLS-3 スポットフレーム	1	臨床実習用機器	臨床実習（口腔外科手術）用
マイオモニターJ5	615-104ser662483	1	臨床実習用機器	臨床実習用（顎関節症患者）
ナーステーブル	1500H	1	臨床実習用機器	口頭試問実施用
光ファイバー照明装置（高輝度ハロゲンランプ）	PICL-500V KN3320295	1	臨床実習用機器	臨床実習（口腔外科手術）用
電子辞書	SR-A10001M	1	臨床実習用機器	講義の資料作成用
パソコン Mac mini 一式	MC238J/A	1	臨床実習用機器	講義の資料作成用及び資料提示用
ノートパソコン	MC207J/A	1	臨床実習用機器	講義の資料作成用及び資料提示用
デスクトップパソコンMacMini	MC238J/A2.26GHz	1	臨床実習用機器	講義の資料作成用及び資料提示用
ノートブックパソコン・MacBookPro	カスタマイズ Z0J5	1	視聴覚用機器	講義の資料作成用及び資料提示用
医学系電子辞書	SR-A10002	1	臨床実習用機器	講義の資料作成用
レーザービームプリンタ	Satera LBP9500C	1	臨床実習用機器	講義配布資料作成用
清拭車	B-15NS05240	1	臨床実習用機器	臨床実習指導用
生体情報モニター	DS-7110	1	臨床実習用機器	臨床実習指導用
歯科用ユニット・シグノタイプ	G40	1	臨床実習用機器	臨床実習指導用
デスクトップパソコン・一式	S5750.jp/CT	1	臨床実習用機器	臨床実習時の資料（症例写真等）の提示用
LEDヘッドライト・バッテリーバック充電用アダプター付		1	臨床実習用機器	臨床実習時の症例提示用
LEDヘッドライト		1	視聴覚用機器	臨床実習時の症例提示用
カラー複合機・DocuCentre IV	C3370P	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義資料作成用
ノートパソコン・MacBook Air 一式	11インチ MC505J/A	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義資料作成用
シャーカステン・ユニット取付型		3	臨床実習用機器	臨床実習時の患者資料提示用
ノートブックパソコン・MacBookAir・一式	CTO Education Z0JK	1	基礎実習用機器	講義資料作成・提示用
ノートパソコン・VAIO	VPCS149FJ/B	1	基礎実習用機器	講義資料作成・提示用
顕微鏡用デジタルカメラ・パソコン 一式	DS-Fi1-U3	1	臨床実習用機器	臨床実習症例資料提示用
電気味覚計	TR-06	1	臨床実習用機器	臨床実習症例資料提示用
デスクトップパソコン・MacPro	2.4GHz 8Core Xeon Z0LG	1	基礎実習用機器	実習・講義資料作成用
頭蓋・神経表示モデル	W19018	1	臨床実習用機器	臨床実習用資料
液晶テレビ	LC52Z5	1	臨床実習用機器	臨床実習用資料提示用

頭蓋・神経表示モデル	W19018	1	臨床実習用機器	臨床実習での解剖の説明
中軽量棚	6H64LTZ269	1	臨床実習用機器	臨床実習における手術見学の際に使用する。
歯科用ユニット シグノG40	シグノG40	1	臨床実習用機器	臨床実習時の診療
i Pad Wi-Fi 32G一式	MD514JA	5	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例提示用
i Pad Wi-Fi 64G一式	MD515JA	5	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例提示用
オーラルショットV	261-005	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例提示用
歯科用ユニット一式 大学型特別仕様	EOM-REGALO	1	臨床実習用機器	
EOM-REGALO		1	臨床実習用機器	
デジタルカメラ	D5300	1	臨床実習用機器	
プレゼンテーションマウス	ELAMGU91	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
メディカルビデオレコーダー	UR-4MD	1	視聴覚用機器	実際の手術式の供覧
デスクトップパソコン・27インチ iMac Retina 5Kディスプレイ一式	ZOSC Academic	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
ノートパソコン 一式	PC-NS150CA	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
ノートパソコン	CFSZ5HDKRP	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
CEチェア RXタイプ	CE68RXP794	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
Macmini CoreI5	MGEQ2JA (SSS)	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
一眼レフカメラ	EOS80D (SSS)	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧
マクロリングライト	MR14EX2	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧
窓用エアコン	CWA1816	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
ポータブル内視鏡システム	11101CMM	1	臨床実習・診療用機器	咽頭部の膨張の評価
炭酸ガスレーザー	GL-III Fine	1	臨床実習・診療用機器	口腔粘膜疾患の治療
歯科用ユニット	G20	1	臨床実習・診療用機器	患者の治療（臨床実習）
ガリレアンルーペ、メデビューフレームセット	G-2542, KMV-F-S	1	臨床実習・診療用機器	患者の治療（臨床実習）
ワイナー I-7.4 LEDライトセット	キーラー、アンド、ワイナー	1	臨床実習・診療用機器	患者の治療（臨床実習）
マイオモニター	J5	2	臨床実習・診療用機器	患者の治療（臨床実習）
液晶テレビ一式	65HL210X、CR-PL51	1	視聴覚用機器	症例供覧のため
デスクトップパソコン	595-p0105.jp	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の資料提示用
デスクトップパソコン	24-xa0174.jp	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の資料提示用

## 歯科矯正学

デスクトップパソコン一式	PCV-RX72K	3	臨床実習・診療用機器	患者の症例分析用
ノート型パソコン一式	PC-VY21GWZ75	1	臨床実習・診療用機器	患者の症例分析用
矯正用電子カルテ	ディープラスICDR	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習・診療用機器
A4スキャナー一式	ES-2200	1	臨床実習・診療用機器	患者の症例分析用および資料の取り込み用
ノート型パソコン一式	PowerBook G4/500	1	臨床実習・診療用機器	患者の症例プレゼンテーション用
デジタルカメラ一式	FinePix S2PRO他	1	臨床実習・診療用機器	患者の写真撮影用
患者説明用スライドコンバーター一式	TRS-35XG	1	臨床実習・診療用機器	患者の病態写真の説明用
レーザープリンター	LBP-1910	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成

咬合器(オソナティックオクルーサーリレーター)	SAM2C用・300002C	1	臨床実習・診療用機器	外科的矯正治療の診断用
レーザープリンター	LBP-1820	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
ノートパソコン	PCG-FR55E/B	2	視聴覚用機器	講義・実習の資料提示用
歯科用診療用ユニット	スペースラインスピリットⅢ	1	臨床実習・診療用機器	外来での患者実習時に使用する
臨床画像ファイリングシステム一式	DS2003ServerDental他	1	臨床実習・診療用機器	臨床で得た画像をファイリングし、臨床実習・講義・研究用に加工する
ノートパソコン一式	iBook M9848J/A	1	臨床実習・診療用機器	診療における画像データの処理およびプレゼンテーション用
プロジェクター	VPL-CX21	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における症例提示ほか
クライアント用ノートパソコン一式	MA254J/A	2	臨床実習・診療用機器	臨床で得た画像をファイリングし、臨床実習・講義・研究用に加工する
デジタルカメラ	D80B	1	臨床実習・診療用機器	患者の写真撮影用
パソコン一式	VGC-RM51PL9	2	基礎実習・研究用機器 視聴覚用機器	講義・実習の資料作成用
ノートパソコン一式	CF-W5AWDBJR	1	視聴覚用機器	講義・実習の資料提示用
レーザープリンター	LBP5300	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の配布資料作成用
パソコン一式	MA970J/A	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成用
ノートパソコン	PC-VY21GWZ75	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における症例分析実習用
矯正歯科用電子カルテD+	ディープラスICDR	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における症例分析実習
パソコン一式	FMV-FB70T	1	基礎実習・研究用機器	演習および試験問題の作成
ダミーヘッド装着用口腔模型	D50FE-EP. A. 7	3	臨床実習用機器	臨床実習におけるマルチブラケット装着実習
ノートパソコン	PST422 FCWZR1U/M	3	臨床実習用機器	臨床実習における症例分析実習
歯科用重合用光照射器	ブルーショット	2	臨床実習用機器	臨床実習におけるボンディング実習
デスクトップパソコン・iMac	MC413J/A	2	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
レーザープリンター	LBP8620	1	基礎実習・研究用機器	実習、授業の配布資料作成
レーザープリンター	LBP5910F	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
歯科用重合用光照射器・ブルーショット		2	臨床実習用機器	臨床実習におけるボンディング実習
デスクトップパソコン・一式	VPCL138FJ/S	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料作成
カラーレーザープリンター	LBP5400	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料印刷
ノートパソコン・一式	CF-J10EWHDS	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料提示
歯科重合用光照射器 ブルーショット		4	臨床実習用機器	臨床実習における重合手技と使用法習得のため
歯科用ユニット スペースライン スピリットV		1	臨床実習用機器	
レーザープリンター・一式	LBP9950CI	1	基礎実習・研究用機器	講義プリント
i Pad Air2 16GB	MGLW2JA	1	臨床実習・診療用機器	電子カルテのX-P閲覧
i Pad Air2 16GB	MHOW2JA	1	臨床実習・診療用機器	電子カルテのX-P閲覧
i Pad Air2 16GB	MGLI2JA	1	臨床実習・診療用機器	電子カルテのX-P閲覧
ノートパソコン	PT75VGP-BJA	3	臨床実習・診療用機器	症例検討会
舌圧測定器	TPM-01	1	臨床実習・診療用機器	患者機能検査
A3プリンター	PIXUSPR100S	1	基礎実習・研究用機器	講義プリント

ノートパソコン	PCNS850FAB	1	基礎実習・研究用機器	講義
ノートパソコン MacBook Air	MQD32J/A	1	臨床実習用機器 視聴覚用機器	矯正装置の説明・示説
Dolphin Imaging / Aquarium		1	臨床実習・診療用機器	症例分析、治療シミュレーション用
デスクトップパソコン	RS7J-D180/T3	1	臨床実習用機器	セファロデータ分析用
音響鼻腔測定器・鼻腔通気度計セット	A1 EXECUTIVE 他	1	臨床実習用機器	臨床実習時患者の検査に使用

## 小児歯科学

NIKON COOLSCAN IV EDスキャナー一式	LS-40ED	1	視聴覚用機器	臨床症例写真の取り込み
リングファーン	TMF-500	1	臨床実習・診療用機器	鋳造時の加熱
デジタルビデオカメラ一式	DCR TRYV30	1	視聴覚用機器	臨床症例を撮影し、基礎実習のデモ用、講義資料用に使用
歯科診療用ユニット一式	スマイリ-NR231LL	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
スキャナー	ES-2200	1	視聴覚用機器	症例、図表の取り込み
ノートパソコン	PC-MTI-H3	1	視聴覚用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
パソコン一式	FMV-DESKPOWER M8	1	視聴覚用機器	資料分析用、講義・実習のプレゼンテーション用
パソコン一式	MatePC-MY30YGZEG	1	視聴覚用機器	資料分析用、講義・実習のプレゼンテーション用
エレクトロサージェリー	G750200	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
オートループ一式	V260513	1	臨床実習・診療用機器	インスツルメントのメンテナンス
E d uClick50エディター用一式	4-807-3002	2	視聴覚用機器	双方向授業で使用
アイスペシャル	C-1	1	視聴覚用機器	
パソコン	CF-W7DWJNUR	1	視聴覚用機器	講義・実習での症例のプレゼンテーション用
プロジェクター	EMP1715	1	視聴覚用機器	講義・実習での症例のプレゼンテーション用
パソコン	MY-28A/A-5	1	視聴覚用機器	講義資料作成用
パソコン	MY-31A/E-5	1	視聴覚用機器	講義資料作成用
パソコン	MX2832SDXP	1	視聴覚用機器	講義資料作成用
デジタル一眼レフカメラ	D60	1	視聴覚用機器	講義用臨床写真撮影
インクジェットプリンタ	PIXUS Pro9500	1	視聴覚用機器	講義用資料作成
ドクターチェア11型	DS-11	4	臨床実習用機器	
ノートパソコンV A I O	VPCX11ALJ	1	視聴覚用機器	講義デモ、研究データ解析
ビデオカメラ一式	HDRCX370VT	1	視聴覚用機器	症例プレゼン用
ドクターチェア・DS-11	I605932	1	臨床実習用機器	
電動麻酔器・アネジエクト ホワイト	513-600 Ser.10710303	1	臨床実習用機器	
電動麻酔器・アネジエクト ブルー	513-603 Ser.10210024	1	臨床実習用機器	
電動麻酔器・アネジエクト ピンク	513-604 Ser.10810412	1	臨床実習用機器	
口腔内撮影用デジタルカメラ・一式	EOS5DMark II	1	臨床実習用機器	
歯科用根管測定器 ルートZX	107-390	1	臨床実習用機器	臨床実習に於ける根管長測定用
歯科重合用照射器 ペンキュア2000	VL-10	3	臨床実習用機器	臨床実習に於けるレジン重合用
デジタルカメラ EOS 一式	5D MARKIII EF24-105LIS	1	臨床実習用機器	臨床実習に於ける口腔内写真撮影用

レストレイナー SR-7	特別仕様	1	臨床実習用機器	臨床実習に於ける不協力小児の歯科治療用
コードレスハンドピース メルサージュプロセット	1/4減速スクリュー	2	臨床実習用機器	臨床実習に於ける小児患者の歯面清掃
デスクトップパソコン・Mate J	MJ35M/E-J	1	視聴覚用機器	講義資料作成用
ノートパソコン・レッツノート	CFSX3VEYWR	1	視聴覚用機器	講義資料作成およびプレゼン用
シリンジポンプ	TE-371	1	臨床実習・診療用機器	外来に実際に施行しているところを見学させたり介助させたりして機器の使用法、有用性を体得させる。
内視鏡用光源装置	TO-237LED	1	臨床実習・診療用機器	外来に実際に施行しているところを見学させたり介助させたりして機器の使用法、有用性を体得させる。
ソルフィーFボトルライト付	201070905	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における自験・見学・介助に使用する
鼻腔抵抗計測装置ライノグラフ	RG-301	1	臨床実習用機器	検査用機械

## 歯科放射線学

デジタルビデオカメラ	DCR-TRV30	1	視聴覚用機器	実際のX線撮影、CT、MRI撮影の様子を提示
ノートパソコン	iBook M7692J/A	1	視聴覚用機器	講義のプレゼンテーション用
ネットワークプリンター	DocuCentre230型	1	視聴覚用機器	授業の配布資料作成
デジタルレントゲン	GX-60NM II	4	臨床実習・診療用機器	X線撮影実習
パソコン一式	Endeavor	4	基礎実習・研究用機器	読影実習
モニター	RadiForce	4	基礎実習・研究用機器	読影実習
プリンター	PX-6000	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
パソコン一式	PowerMac G5	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
ポータブル超音波診断装置用リアプロローフ一式	10Lb-RS	1	臨床実習・診療用機器	画像診断
超音波診断装置一式	LOGIQBook	2	臨床実習・診療用機器	画像診断
液晶ディスプレイ	FlexScanS2100	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
X線撮影装置	KX0-32S	1	臨床実習・診療用機器	X線撮影実習に使用
デスクトップパソコン	200ST	1	視聴覚用機器	講義資料作成
歯科用コンビームCT装置一式	3D Accuitomo	1	臨床実習・診療用機器	画像診断
パソコン	1525	1	視聴覚用機器 臨床実習・診療用機器	講義資料作成およびプレゼン用
パソコン	MB325J/A	1	視聴覚用機器 臨床実習・診療用機器	講義資料作成用
前方投影型プロジェクタースクリーン40型	J BMA # 0 4 0 S	1	視聴覚用機器	臨床実習における画像のプレゼンテーション用
ハードディスク	RHDUXE2.0	1	臨床実習用機器	臨床実習用画像データの保存
ノートブックパソコン MacBook Pro	MB985J/A	1	視聴覚用機器	症例提示用
ノートパソコンMacBook	2.26GHzCore2Dup	1	基礎実習・研究用機器	講義のデモ及び研究データ解析
外付型ハードディスク	RHD4-UXE2.0	1	臨床実習用機器	症例提示用
フルカラーデジタル複合機	DocuCentre IVC2270PFS	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成
ノートパソコン一式・MacBook Air 11インチ	MacBook Air 11インチ	1	基礎実習・研究用機器	講義の資料提示用
635型GSベッド	TB-635	1	臨床実習用機器	臨床実習における超音波検査見学用
コンビームCT用サーバーシステム・一式	KAVO OP 3DDental	1	臨床実習用機器	臨床実習時の読影実習に使用
歯科用X線撮影装置 ペラビューエポックス	CR A-5	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習用機器	パノラマX線撮影

放射線情報システム 端末	PSP、ZIO station	1	臨床実習用機器	臨床実習時の画像閲覧用
CBCT画像サーバーPC	DELLDELL, OnDemand 3 DDental	1	基礎実習・研究用機器	実習の資料提示用
デジタルカメラ	D3300 18-55VR II	1	基礎実習・研究用機器	実習の資料提示用
A4ドキュメントスキャナ	CANON	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
デジタル口内法撮影システム	arcana mira	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における撮影練習
複合機 ApeosPort	C3570 (Model-PFS)	1	視聴覚用機器・臨床実習用機器	授業, 実習の配布資料作成

## 歯科麻酔学

Ciscoルーター一式	CISCO1605-R	1	視聴覚用機器	実習および講義の資料作成
パルス計測器付経皮血中ガス分圧モニター一式	9900MK-II 本体	1	臨床実習・診療用機器	麻酔時のモニター管理用
生体現象用BNCコネクタ中継ボックス	11	1	臨床実習・診療用機器	モニター管理の提示
呼吸管理モニター	12	1	臨床実習・診療用機器	麻酔時のモニター管理用
液晶プロジェクター	TH-LC80	1	視聴覚用機器	症例の提示用
パソコン	iMac1, 25GSD17FPT	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション用
ベッドサイドモニターLifeScope	BSM-9510	1	臨床実習・診療用機器	麻酔時のモニター管理用
A-Vインパルスシステム	AV6000	1	臨床実習・診療用機器	麻酔時のモニター管理用
喉頭ファイバースコープ一式	FI-9RBS他	1	臨床実習・診療用機器	気管の解剖及び挿管法
EMG麻酔ガスユニット一式	M1013A	1	臨床実習・診療用機器	患者の麻酔
ノートパソコン	CF-W5MWAJR	1	視聴覚用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
生体情報モニター一式	MP-50	1	臨床実習・診療用機器	術中時のモニター管理用
生体情報モニター一式	D S -7640	1	臨床実習・診療用機器	周術期におけるモニター管理用
パソコン	FMVXA50D	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料提示用
シリンジポンプ	TE-371	2	臨床実習・診療用機器	外来および病室にて鎮静全身麻酔を見学させ機器の有用性、使用法を体得させる。
パソコン 一式	MINI9	1	視聴覚用機器	講義・実習用資料の提示
パソコン 一式	EeePCS101	1	視聴覚用機器	講義・実習用資料の提示
一眼レフ交換レンズ IS-USM	EF-70-300F4-5.6	1	視聴覚用機器	症例撮影、提示用
AEDトレーナー 2	94005005	2	臨床実習用機器	蘇生実習時に使用
デジタルカメラEOS	KissX	1	視聴覚用機器	症例撮影、提示用
パソコン・OptiPlexモニターなしパッケージ一式	OptiPlex960	1	基礎実習・研究用 臨床実習用機器	資料作成
ノートパソコン・VAIO	XVPCX-11AVJ	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義配布資料の作成
ノートパソコン・VAIO・Wシリーズ	261-003	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例提示用 研究データ解析用
口腔内撮影用デジタルカメラ・オーラルショット	261-003	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の記録 講義用症例収集のため
レサシベビースキルガイドモデル	14001105	3	基礎実習機器 臨床実習用機器	救急蘇生法実習
チョーキングチャーリー	102-00001	1	基礎実習機器 臨床実習用機器	救急蘇生法実習
レサシジュニアスキルガイドモデル	18001105	2	基礎実習機器 臨床実習用機器	救急蘇生法実習
デスクトップパソコン (モニター無モデル)	Vostro430モニター	2	基礎実習・研究用 臨床実習用機器	資料作成
ノートパソコン・高速ブルーレイパッケージ	Studio15	1	臨床実習用機器	講義資料作成

ファミリーコピア	DPC990	1	臨床実習用機器	臨床実習資料作成
ノートパソコン dynabook	TX/77MBL	1	臨床実習用機器	資料作成、症例整理・分析
ノートパソコン	VPCP11ALJ	1	視聴覚用機器	講義資料提示
PMTc用コードレスハンドピース	メルサージュ <sup>®</sup> P1/4減速タッチタイプ <sup>®</sup>	2	臨床実習用機器	外来での歯科治療及び実習
iPad 一式 (オフィスソフトインストール他)	with WiFi 16G	1	臨床実習用機器	症例提示・説明用
デスクトップPC一式 (27インチLEDディスプレイ)	MacPro	1	視聴覚用機器	講義資料作成
ノートパソコン	PC-LL750CS6W	1	臨床実習用機器	講義資料作成 研究資料収集・分析・作製
マルチ電気治療器	インテクトアド <sup>®</sup> ハンズコンボ 2762ccイオン導入仕様	1	臨床実習用機器	ペインクリニック治療及び実習
カラー複合機・一式	imagio MPC3301	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義資料作成用
ノートパソコンL e t s note B10	CF-B10 CWHDR	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義プレゼンテーション用
ノートパソコン・MacBookAir		1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義プレゼンテーション用
携帯型喉頭ファイバースコープ・一式	LF-TP	1	臨床実習用機器	臨床実習における気管挿管の説明・練習用
デスクトップパソコン	MD007J/A	1	臨床実習用機器	臨床実習の症例提示用
ノートパソコン	LB-D711B	1	臨床実習用機器	実習資料作成およびプレゼンテーション用
心電計 Cardiofaxm	ECG-1350	1	臨床実習用機器	臨床実習時の相互実習および患者実習用
ノートパソコン MacBook Pro	ZON4 Education	1	臨床実習用機器	実習資料作成およびプレゼンテーション用
デスクトップパソコン	MD007J/A	1	視聴覚用機器	講義・実習用資料作成用
心電計 Cardiofaxm	ECG-1350	1	臨床実習用機器	臨床実習でのECG記録法の修得
iPad Air	Wi-Fi 16GB	1	臨床実習用機器	臨床実習に於ける病棟での電子カルテ接続用
デジタルカメラ一式	OM-D E-M10	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例提示資料の作成
薬用保冷庫	MPR-414FR-PJ	1	臨床実習用機器	相互実習用の薬品保管
ノートパソコン・MacBook Air 11インチ		1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション
歯科用ユニット スマイリー 一式	GMP2-MS1211	1	臨床実習用機器	全身管理、精神鎮静法の実習
SimPad 患者用モニター 一式	200-09205	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	全身管理、全身麻酔の実習
全身麻酔装置Fabius Plus一式		1	臨床実習・診療用機器	外来で実際に施行しているところを見学させ、機器の有用性や実際の使用法を体得させる。
ノートパソコン・MacBookAir	13インチZORJ Academic	1	基礎実習・研究用機器	授業の資料提示用
デスクトップ型パソコン	XPS89000	1	基礎実習・研究用機器	授業の資料作成及び研究データ解析用
冷蔵庫	SJS17B	1	基礎実習・研究用機器	実験、実習試料及び試薬の保存
LED喉頭鏡	136-054-71	1	臨床実習・診療用機器	全身麻酔時に使用しているところを見学または実際に使用させることで機器の使用法を習得させる。
カーディアレックスキューRQ-5000トレーナーセット	RQ-5000	2	臨床実習・診療用機器	臨床実習時にAEDの使用法を習得させる。
アンプ気道管理トレーニングモデル一式	10208160	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習時に気道確保法、気管内挿管法を習得させる。
継続定電流治療器 ノーマライザ			臨床実習・診療用機器	口腔領域の神経痛に対する治療法を習得させる。
デスクトップパソコン Inspiron 一式	3650	1	視聴覚用 (学部授業他) 機器	症例プレゼンテーション用
タブレットパソコン YOGA BOOK一式	ZA160037JP	1	視聴覚用 (学部授業他) 機器	症例プレゼンテーション用

レーザー血流計	ALF21D	1	臨床実習・診療用機器 基礎実習・研究用機器	
ノートパソコン	OneMix 2s	1	視聴覚用（学部授業他）機器	授業のデモ及び研究データ解析用
液晶テレビ 50型	FL50U3010	1	視聴覚用（学部授業他）機器	視聴覚用機器
ノートパソコン MacBookPro	MPXQ2JA	1	視聴覚用（学部授業他）機器	授業のデモ及び研究データ解析用

## 障害者歯科学

全身麻酔器	PRO-45S型	1	臨床実習・診療用機器	酸素・麻酔薬の投与
生体情報モニター一式	BP-608EV II	1	臨床実習・診療用機器	術中患者のモニタリングに使用
HDハンディカム	HDR-SR11	1	視聴覚用機器 臨床実習・診療用機器	症例の提示、プレゼン、記録用
歯科ユニット一式	モリタ障害者用歯科診療セット	1	臨床実習・診療用機器	歯科治療に使用
経皮的酸素飽和度測定装置	Radical 7	1	臨床実習・診療用機器	術中患者のモニタリングに使用
SMARTバイフェージック除細動器 ペースング付	M4735A	1	臨床実習・診療用機器	救急の不整脈治療及び見学実習用
インスツルメントメンテナンス装置	アトメック2104A	1	臨床実習・診療用機器	器具の後始末・洗浄について説明
余剰ガス吸引ポンプ	104-10-10	1	臨床実習・診療用機器	実習時の説明用（麻酔ガスの排気）
デスクトップパソコン	PD732V9GBHW	1	臨床実習・診療用機器	症例プレゼンテーション用
生体情報モニター一式		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に於ける症例の説明
シリンジポンプ	TE-352Q	1	臨床実習・診療用機器	
内視鏡用光源装置 LED 一式	TU-237LED	1	臨床実習・診療用機器	
レストレイナー	CR-1P特寸	1	臨床実習・診療用機器	
Masimo Raainbow SET	Radical7	1	臨床実習・診療用機器	
Masimo Raainbow SET パルスCOオキシメーター	Radical7	1	臨床実習・診療用機器	

## 内科学

デジタルHDビデオカメラ	CX520V	1	視聴覚用機器	内科診療及び救急蘇生などの実習撮影
ノートパソコン一式	7465-CTO	1	視聴覚用機器	高分解能心電図解析用 講義用
高分解能心電アンブ (プロトタイプ)	IB-81 (心電インプットボックス)	1	臨床実習用機器	高分解能心電図記録のための入力ボックス
デスクトップパソコン・Pavilion	PCHPE-190JP	1	視聴覚用機器	高分解能心電図プログラム 開発と解析
高分解能心電アンブ一式	IB-81	1	臨床実習用機器	高分解能心電図記録（ヘッドアップ）
サーバー (Windows)	ML110G6	1	視聴覚用機器	高分解能心電図プログラム 開発と解析サーバー
レーザープリンター	LBP7200C	1	臨床実習用機器	実習用資料印刷
キャプチャー・パソコンセット	HOBIA	1	臨床実習・診療用機器	授業のデモ及び研究データ 解析用
液晶プロジェクタ	LV-WX310ST	1	視聴覚用機器	症例提示用
2ch 節電2ch 音声収録システム	ADPod	1	基礎実習・研究用機器	実習において嚙下機能を解析する。
携帯型マルチヘルスマニター	チェックミー、プロS	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における測定値の 実際を把握するために用いる。
マルチ周波数体組織計 プリンター 一式	MC-780A	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習において体組織を 把握するために用いる。
携帯型マルチヘルスマニター	チェックミー、プロS	4	臨床実習・診療用機器	臨床実習における測定値の 実際を把握するために用いる。